# HP Designjet Z6100シリーズ プリンタ

hp

# HP Designjet Z6100シリーズ プリンタ

---

## プリンタの使い方

### 法律に関する注記



このマニュアルに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。HP製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。明示された保証書の記載内容とは異なる別のセクション中のいかなる内容も、付加的な保証として解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上および編集上の誤りまたは欠落について、一切責任を負うものではありません。

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、およびPostScript®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

PANTONE®* is *Pantone, Inc.'s check-standard trademark for color.

# 目次

## 4 使用方法（用紙）



## 5 使用方法（インクシステム）

## 7 カラーマネジメント

## 8 実際の印刷（例）



## 9 プリンタの保守



## 10 アクセサリ



## 11 トラブルシューティング（印刷品質）

## 15 フロントパネルのエラー メッセージ

## 16 ヘルプ



## 17 プリンタの仕様



## 18 法律情報



## 付録 A シナリオ（無人印刷ジョブ）



## 付録 B シナリオ（予約なしで入った緊急ジョブ）

# 1 はじめに

# 安全に関する注意事項

次の注意事項に従うことにより、プリンタを適切に使用してプリンタの故障を防ぐことができます。常にこれらの注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。
- プリンタが接地していることを確認します。プリンタを接地しないと、感電、発火、電磁妨害の影響を受ける可能性があります。
- プリンタを分解または修理しないでください。サービスについては、HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。
- プリンタ付属のHPが提供する電源コード以外は使用しないでください。電源コードの破損、切断、修理は避けてください。破損した電源コードは、発火や感電の恐れがあります。破損した電源コードはHP純正の電源コードと交換してください。
- 金属または液体（HPクリーニング キットで使用するものを除く）がプリンタの内部部品に触れないようにしてください。発火、感電、またはその他の重大な事故の原因となる可能性があります。
- 次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
  - プリンタ内部に手を入れる場合
  - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする場合
  - プリンタが通常の動作中には発生しない異常なノイズを発生する場合
  - 金属や液体（クリーニングおよび保守手順の一部ではなく）がプリンタの内部部品に触れた場合
  - 雷雨時
  - 停電時

# このガイドの使用方法

HP スタートアップ キット CDには本製品の情報の詳細が収められており、以下の章で構成されています。

## はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

## 使用方法と保守

これらの章では、通常のプリンタ操作手順を説明します。以下の項目が含まれます。


- 15 ページの 「接続およびソフトウェア手順 」
- 27 ページの 「セットアップ オプション (基本)」
- 35 ページの 「使用方法 (用紙)」
- 73 ページの 「使用方法 (インクシステム)」
- 99 ページの 「印刷オプション」
- 135 ページの 「カラーマネジメント」
- 159 ページの 「実際の印刷 (例)」
- 173 ページの 「プリンタの保守」


## トラブルシューティング

これらの章では、印刷中に発生する可能性のある問題の解決策を説明しています。以下の項目が含まれます。


- 191 ページの 「トラブルシューティング (印刷品質)」
- 231 ページの 「トラブルシューティング (インクシステム)」
- 221 ページの 「トラブルシューティング (用紙)」
- 241 ページの 「トラブルシューティング (その他)」
- 255 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ 」


## サポートおよび仕様

これらの章では、HPカスタマー・ケアやプリンタの仕様などのリファレンス情報を参照できます。


- 259 ページの 「ヘルプ」
- 269 ページの 「プリンタの仕様」
- 279 ページの 「法律情報」


## 付録

付録では、ユーザが直面する可能性のあるより一般的な印刷シナリオの一部を取り上げています。各付録では、順を追ったアプローチを使用して特定の印刷シナリオに沿った作業を行い、よりタスクに特化した情報や手順を提供している本ガイド内のセクションを紹介します。

## 用語集

この章には、このマニュアルで使用する印刷およびHP用語の定義が記載されています。

## 索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

## 警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用してプリンタの破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

**警告！** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

**注意：** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

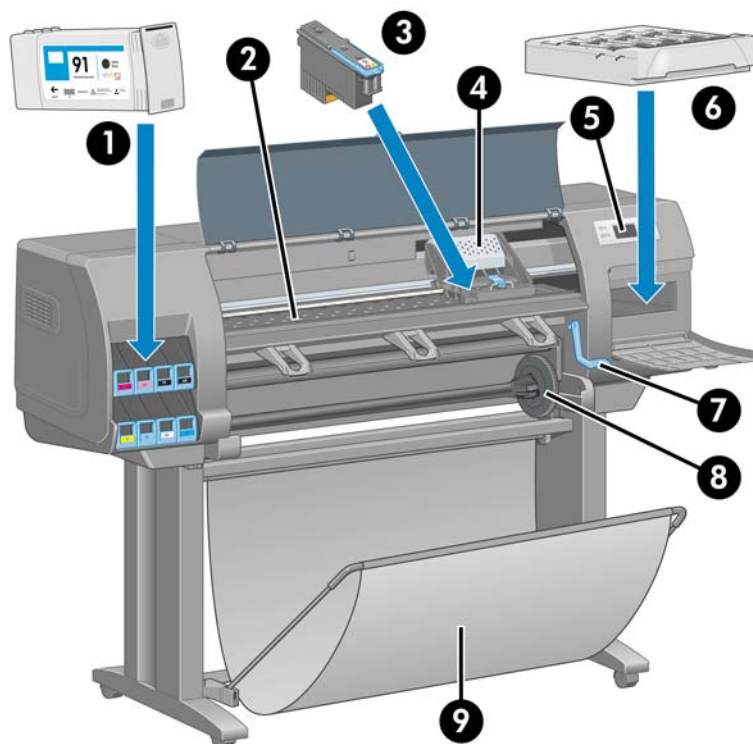
# プリンタの主な機能

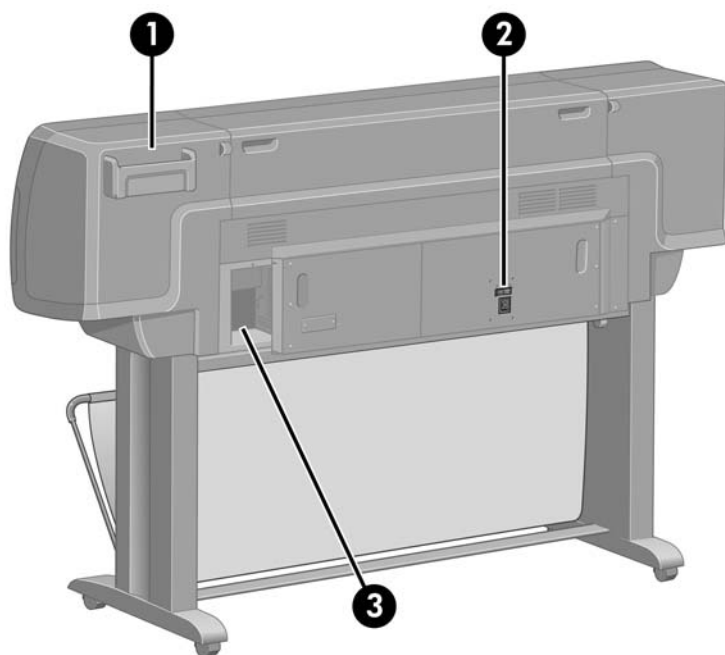
主な機能を以下に示します。

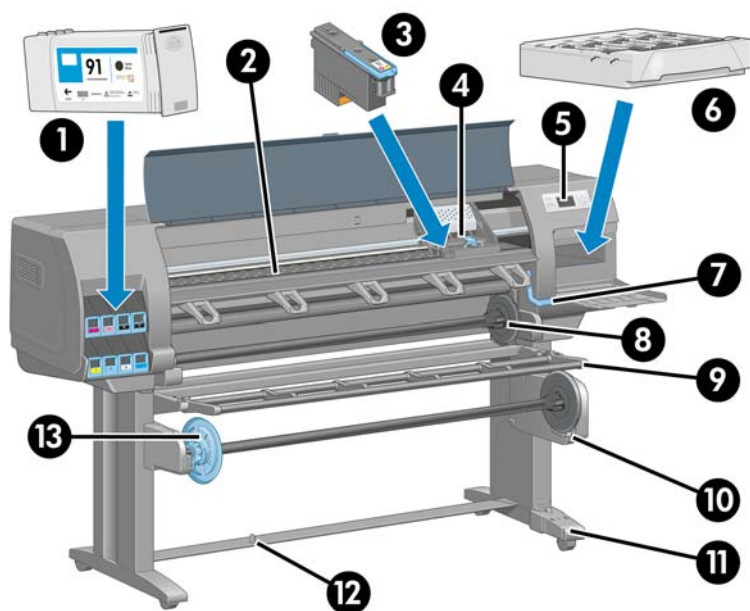
- 入力時1200 × 1200dpiのイメージを最大2400 × 1200dpiの最適化された解像度で印刷（フォト用紙、[高品質] 印刷品質オプション、[高精細] オプション、および [フォト用紙での最大解像度] オプションを使用した場合）
- HP Easy Printer Care (Windows®) およびHP プリンタユーティリティ (Mac OS)。14 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) およびHP プリンタユーティリティ (Mac OS) の主な機能 」を参照してください。
- 正確で一貫したカラー再現機能
  - 米国、ヨーロッパ、日本標準の印刷エミュレーション、およびカラー モニターのRGB (Red-Green-Blue) エミュレーション
  - 自動カラーキャリブレーションおよびプロファイリング
- 8色インク システム。写真印刷およびグラフィック アート印刷においてつや消しファインアート紙と光沢フォト用紙で広い色の範囲を実現します。また、このインク システムは、プリプレス アプリケーションでのカラー精度において、ISO（国際標準化機構）およびSWOP (Specifications for Web Offset Publications) 色域を完全に網羅します。
- HP 内蔵分光測光器。用紙および環境の変化においても一貫した正確なカラーを提供し、カスタムICC（国際カラーコンソーシアム）プロファイルを簡単に作成します。141 ページの 「i1カラー テクノロジ搭載 」を参照してください。
- インクと用紙の使用状況は、フロントパネルおよび内蔵Webサーバによるweb上で確認可能です。31 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」を参照してください。
- 柔軟な用紙対応と簡単な自動取り付け機能。情報およびプロファイルは、フロントパネル、HP Easy Printer Care (Windows)、およびHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) から利用できます。

# プリンタの主なコンポーネント

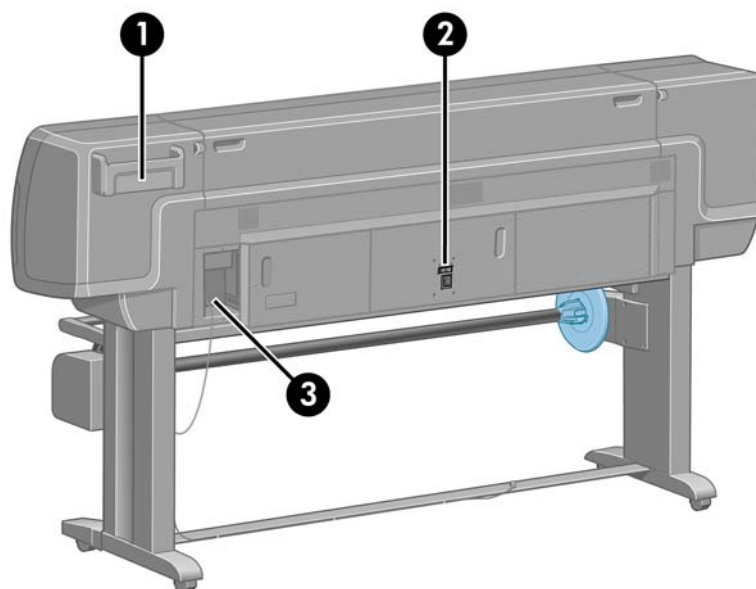
以下の図で、HP Designjet Z6100 42インチ プリンタおよび60インチ プリンタの主なコンポーネントについて説明します。

## 前面図（42インチ プリンタ）

1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド
4. プリントヘッド キャリッジ
5. フロントパネル
6. 保守カートリッジ
7. 用紙取り付けレバー
8. スピンドル
9. 用紙スタッカ

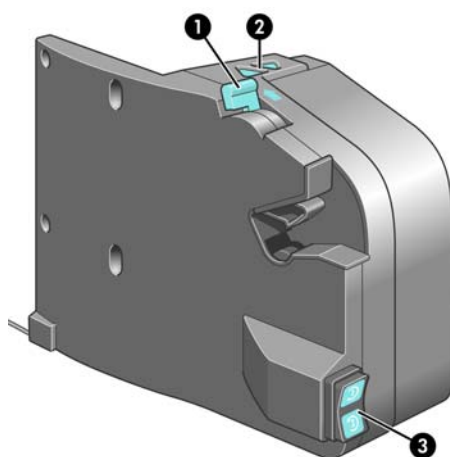
## 背面図（42インチ プリンタ）

1. 『クイック リファレンス ガイド』ホルダー
2. 電源および電源コード差し込み口
3. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット

## 前面図（60インチ プリンタ）

1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド

4. プリントヘッド キャリッジ
5. フロントパネル
6. 保守カートリッジ
7. 用紙取り付けレバー
8. スピンドル
9. 巻き取りリール デフレクタ
10. 巻き取りリール モーター
11. 巻き取りリール ケーブルおよびセンサー格納ユニット
12. 巻き取りリール センサー
13. 巻き取りリール スピンドル ハブ

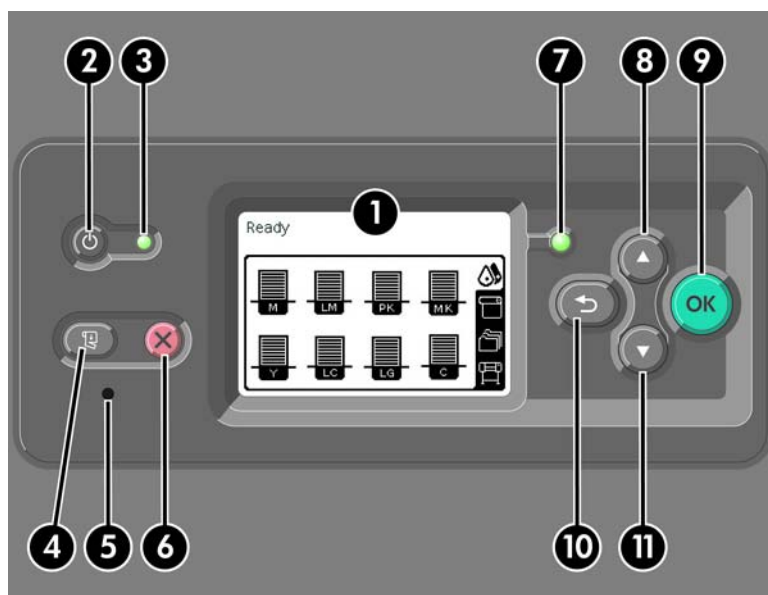
## 背面図（60インチ プリンタ）

1. 『クイック リファレンス ガイド』ホルダー
2. 電源および電源コード差し込み口
3. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット

## 巻き取りリール モーター

**注記：** 巻き取りリールはHP Designjet Z6100 60インチ プリンタの標準機能です。HP Designjet Z6100 42インチ プリンタでは別売オプションとなります。189 ページの 「アクセサリ」を参照してください。

1. 巻き取りリール スピンドル レバー
2. 手動巻き取りボタン
3. 巻き取り方向スイッチ

## フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって右側にあります。以下の機能があります。

- 用紙の取り付け、取り外しなどの操作を実行する際に使用します。
- プリンタ、インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジ、用紙、印刷ジョブ、およびその他の部品や処理のステータスに関して、最新情報が表示されます。
- プリンタの使用手順が表示されます。
- 場合に応じて、警告やエラー メッセージが表示されます。
- プリンタの設定値およびプリンタの動作を変更する際に使用します。ただし、プリンタの設定は、内蔵Webサーバやドライバの設定がフロントパネルで行った変更より優先されます。

フロントパネルには、以下のコンポーネントがあります。

1. ディスプレイ部分。情報、アイコン、メニューが表示されます。
2. 電源 ボタン。プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。プリンタがスリープ モードの状態にある場合は、このボタンを押すと起動します（これはプリンタ背面の電源とは異なります。28 ページの 「プリンタをオン/オフにする 」を参照してください）。
3. プリンタの電源がオフの状態にある場合、電源ランプは消灯しています。スリープ モードの場合は黄色、電源がオンの場合は緑色に点灯し、プリンタの電源がオフからオン、またはその逆へ移行中の場合は、緑色に点滅します。
4. 排紙/カット ボタンを押すと、ロール紙はカットされて排出されます。以下はこのボタンのその他の機能です。
   - プリンタが他のページのネスティングを待機中である場合は、このボタンを押すと待機時間がキャンセルされ、印刷可能なページがただちに印刷されます。
   - 印刷後にプリンタがインクを乾燥させている場合、このボタンを押すと待機時間がキャンセルされ、ページがただちに排出されます。
   - 巻き取りリールが有効になっている場合、このボタンを押すと用紙は10 cm (3.9インチ)排出されますが、カットされません。
5. リセット ボタン。プリンタを再起動します（電源 ボタンをオフにして再びオンにした場合と同じです）。先の細い非伝導性の道具を使用して リセット ボタンを操作します。
6. キャンセル ボタン。現在の操作をキャンセルします。多くの場合、現在の印刷ジョブを停止する場合に使用します。
7. ステータス ランプが消灯している場合は、プリンタが印刷可能な状態ではありません。電源がオフになっているか、スリープ モードの状態になっています。ステータス ランプは、プリンタが印刷可能な状態でアイドリング中の場合は緑色に点灯し、プリンタがビジー状態の場合は緑色に点滅します。深刻な内部エラーが発生している場合は黄色に点灯し、ユーザの操作を待っている場合は黄色に点滅します。
8. 上矢印 ボタン。リストの前の項目に移動したり、数値を増やします。
9. OK ボタン。現在ハイライトされている項目を選択します。
10. 戻る ボタン。前のメニューに戻ります。このボタンを繰り返し押すか、押したままにすると、ただちにメイン メニューに戻ります。
11. 下矢印 ボタン。リストの次の項目に移動したり、数値を減らします。

フロントパネルのメニュー項目をハイライトさせるには、その項目がハイライトされるまで 上矢印 または 下矢印 ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルのメニュー項目を選択するには、まずその項目をハイライトさせ、次に OK ボタンを押します。

フロントパネルの4つのアイコンは、すべてメイン メニューに表示されます。アイコンを選択するかハイライトさせる場合、またはフロントパネルにアイコンが表示されていない場合は、アイコンが表示されるまで 戻る ボタンを繰り返し押します。

このガイドでは、フロントパネルの一連の項目が **[項目1]** – **[項目2]** – **[項目3]** のように表示されることがあります。このように記述されている場合は、**[項目1]**、**[項目2]**、**[項目3]**の順に選択してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

## プリンタ ソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- HP-GL/2プリンタ ドライバ（Windowsオペレーティング システム用）
- PostScript©プリンタ ドライバ（WindowsオペレーティングシステムおよびMac OS用）の場合

**注記：** PostScriptドライバはHP Designjet PostScriptプリンタでのみ使用可能です。

- HP Easy Printer Care（Windows）およびHP プリンタユーティリティ（Mac OS）。14 ページの「HP Easy Printer Care（Windows）およびHP プリンタユーティリティ（Mac OS）の主な機能」を参照してください。

**注記：** HP Easy Printer CareはWindows XP Professional x64 Editionでサポートされていないため、このバージョンのWindowsを使用しているコンピュータにインストールすることはできません。

- 内蔵Webサーバ。プリンタ内で動作し、これを使用すると、どのコンピュータでもWebブラウザを使用してインク残量やプリンタのステータスの確認を行うことができます。31 ページの「内蔵Webサーバにアクセスする」を参照してください。

# 内蔵Webサーバの主なコンポーネント

内蔵Webサーバはプリンタ内部で実行されるWebサーバです。ユーザは、プリンタ情報の入手、設定やプロファイルの管理、および問題のトラブルシューティングを内蔵Webサーバから行うことができます。また、サービス エンジニアは、プリンタの問題を診断するのに役立つ内部情報を取得することができます。

内蔵Webサーバには、コンピュータで一般的に使用されるWebブラウザからリモートでアクセスします。機能と操作は3つのタブで構成されています。各タブページの上部の近くにあるボタンで、オンライン ヘルプへのアクセスとサプライ品の注文ができます。

## メイン タブ

[**メイン**] タブでは、次の項目に関する情報が提供されます。

- 印刷ジョブおよび印刷キューの管理
- サプライ品のステータス
- 用紙およびインクの使用状況のアカウンティング
- PANTONE©* エミュレーション

## セットアップ タブ

[**セットアップ**] タブには、次のタスクを実行するためのオプションが含まれます。

- プリンタ、ネットワーク、およびセキュリティ設定を定義する
- アカウンティング レポート、および警告やエラーの通知を電子メールで送信する
- ファームウェアをアップデートする
- 用紙プロファイルをアップロードする
- 日付と時刻を設定する

## サポート タブ

[サポート] タブには、次の機能を実行するためのオプションが含まれます。

- 内蔵Webサーバの [印刷品質のトラブルシューティング] ウィザードを使用して、最も一般的な印刷品質に関する問題の一部の解決に役立てる
- さまざまなソースから役に立つ情報を参照する
- HP Designjetリンクにアクセスして、プリンタ、ドライバ、およびアクセサリに関する技術サポートを得る
- サービス サポート ページにアクセスして、プリンタの使用状況に関する現在および過去のデータを表示する
- トラブルシューティング (印刷品質)

# ドライバの主な機能

HP-GL/2 ドライバがプリンタの主なドライバです。主な機能は以下の通りです。

- HP Knowledge Centerへのアクセス。HP Knowledge Centerには、最も一般的な印刷環境での図解付きの印刷手順が含まれます。
- 切り取り線。選択した用紙サイズまで縮めるにはどの位置で用紙をカットするべきかを示します。
- 幅広い印刷オプション
- カラー調整オプション

# HP Easy Printer Care (Windows) およびHP プリンタユーティリティ (Mac OS) の主な機能

HP Easy Printer Care (Windows)およびHP Printer Utility (Mac OS)では、操作の簡単なインタフェースが使用できるため、ユーザはさまざまな印刷機能や操作を管理することができます。

- HP Color Centerを使用したシングルポイント カラーコントロールなどのプリンタ管理
- オンラインのHP Knowledge Centerへのアクセス
- インクカートリッジ、プリントヘッド、および用紙のステータスの表示
- ICC (国際カラーコンソーシアム) プロファイルの管理、インストール、および作成 (PostScriptプリンタでのみ使用可能) 。
- 埋め込まれたプロファイルにアクセスして使用 (PostScriptプリンタでのみ使用可能)。
- プリンタのファームウェアのアップデート。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。
- プリンタおよびディスプレイのキャリブレーション。
- さまざまなプリンタ設定の変更 ([設定] タブ内)
- ネットワーク設定を構成する

**注記：** HP Easy Printer CareはWindows XP Professional x64 Editionでサポートされていないため、このバージョンのWindowsを使用しているコンピュータにインストールすることはできません。

# 2　接続およびソフトウェア手順



接続

## ドライバのインストール

ここに記載された情報に従って、ドライバのインストールを行うことができます。ドライバのインストール手順は、コンピュータのオペレーティング システム、およびコンピュータをプリンタに接続する方法により異なります。ドライバのインストールでは、HP Easy Printer Care (Windows) またはHP Printer Utility (Mac OS)のいずれかと、HP Color Centerソフトウェアがインストールされます。

接続

# 使用する接続方法を選択する

プリンタを接続するには、以下の方法を使用できます。

| 接続の種類 | 速度 | ケーブルの長さ | その他 |
|---|---|---|---|
| ギガビットイーサネット | 高速。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。 | 長い（100m=328フィート） | 追加機材（スイッチ）要 |
| Jetdirectプリント サーバ（別売オプション） | 普通。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。 | 長い（100m=328フィート） | 追加機材（スイッチ）要<br>追加機能を提供します<br>詳細については、http://www.hp.com/go/jetdirect/ を参照してください |
| USB 2.0（別売オプション） | きわめて高速 | 短い（5m=16フィート） | |

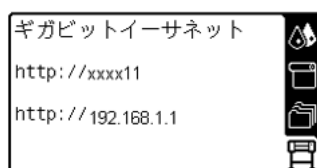
**注記：**　ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

# ネットワークに接続する（Windows）

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

上記を確認したら、プリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

1. プリンタのフロントパネルのステータス画面でIPアドレスを書き留めておきます（この例では192.168.1.1）。

2. コンピュータにHP スタートアップ キットCDを挿入します。CDが自動的に起動しない場合は、CDのルート フォルダ内のStart.exeを実行します。
3. ［**インストール**］ボタンをクリックします。

**注記：** HP Easy Printer CareはWindows XP Professional x64 Editionでサポートされていないため、このバージョンのWindowsを使用しているコンピュータにインストールすることはできません。

4. 画面の指示に従ってドライバをインストールしてプリンタをセットアップします。各画面で適切な設定を行うために、以下の点に注意してください。
   - プリンタの接続方法を確認する画面が表示されたら、［**ワイヤード ネットワーク**］を選択します。
   - 設定プログラムによりネットワークに接続されたプリンタの検出が行われます。検出が完了すると、プリンタのリストが表示されます。IP（インターネット プロトコル）アドレスを参照してプリンタを識別し、リストでそのプリンタを選択します。
   - 設定プログラムによりネットワークとプリンタの分析が行われます。ネットワークの設定が検出され、プリンタを設定する際の推奨設定が表示されます。この設定を変更する必要はありませんが、変更することも可能です。

コンピュータがネットワーク上でプリンタを検出できない場合は、［**プリンタが検出されませんでした**］ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、プリンタの検出を再試行できます。ファイアウォールが存在する場合、プリンタを検出するためにファイアウォールを一時的に無効にする必要があります。プリンタのURL（Uniform Resource Locator）、IPアドレス、またはMAC（メディアアクセス コントロール アドレス）アドレスによってプリンタを検出するオプションもあります。

# 直接コンピュータに接続する（Windows）

HP高速USB 2.0カード（別売オプションとして購入でき、Windows 2000、XP、および2003 Serverでサポートされています）がある場合、ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続できます。189 ページの 「アクセサリ」を参照してください。

ヒント： USB（Universal Serial Bus）接続はネットワーク接続より高速ですが、ケーブルの長さに制限があり、プリンタの共有も困難になります。

1. まだコンピュータをプリンタに接続しないでください。 最初に、コンピュータにプリンタ ドライバ ソフトウェアをインストールします。
2. CDドライブにHP スタートアップ キットCDを挿入します。CDが自動的に起動しない場合は、CDのルート フォルダ内のStart.exeを実行します。
3. ［**インストール**］ボタンをクリックします。

注記： HP Easy Printer CareはWindows XP Professional x64 Editionでサポートされていないため、このバージョンのWindowsを使用しているコンピュータにインストールすることはできません。

4. 画面の指示に従ってドライバをインストールしてプリンタをセットアップします。各画面で適切な設定を行うために、以下の点に注意してください。
   - プリンタの接続方法を確認するメッセージが表示されたら、［**このコンピュータに直接接続**］を選択します。
   - ネットワークに接続している他の人とプリンタを共有する場合は、［**インストール準備完了**］ウィンドウにある［**プリンタのプロパティ**］ボタンをクリックしてから［**共有**］タブをクリックし、プリンタを共有する名前を入力します。
   - コンピュータをプリンタに接続するように指示するメッセージが表示されたら、認定されたUSBケーブルを接続します。プリンタの電源が入っていることを確認します。

     注記： 認定されていないUSBケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB開発者のためのフォーラム（http://www.usb.org/）によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。

接続

## プリンタ ソフトウェアをアンインストールする（Windows）

1. CDドライブにHP スタートアップ キットCDを挿入します。CDが自動的に起動しない場合は、CDのルート フォルダ内のStart.exeを実行します。
2. ［**アンインストール**］をクリックし、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

接続

# ネットワークに接続する（Mac OS）

Mac OS X環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

- BonjourまたはRendezvous
- TCP/IP

**注記：** このプリンタはAppleTalkをサポートしていません。

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

ここでプリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

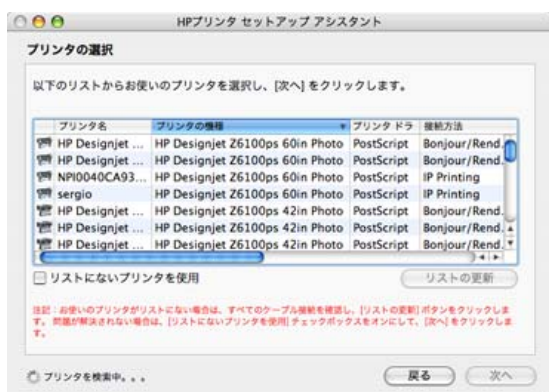
接続

## BonjourまたはRendezvous接続

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**接続**］－［**ギガビット イーサネット**］－［**設定の表示**］を選択します 。プリンタのmDNS（マルチキャスト ドメイン名システム）サービス名をメモします。
2. CDドライブにHP スタートアップ キットCDを挿入します。
3. デスクトップ上の［CD］アイコンをクリックします。

4. ［Mac OS X HP Designjet Installer］アイコンをクリックします。
5. 画面の指示に従います。HPは、［**簡易インストール**］オプションを選択することをお勧めします。

   プリンタ ドライバ、HP プリンタ ユーティリティ、およびHP Color Centerなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。
6. プリンタ ドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップするのに役立ちます。画面の指示に従います。

7. ［プリンタの選択］画面が表示されたら、［プリンタ名］列にあるプリンタのmDNSサービス名（手順1でメモした名前）を検索します。

- 正しいプリンタ名を検出した場合、横方向にスクロールして［接続方法］列を表示し、それが Bonjour/Rendezvous を示していることを確認します。次に、そのラインをハイライトします。プリンタ名がただちに表示されない場合、リストの下方向への検索を続けます。
- 接続方法が Bonjour/Rendezvous のプリンタ名を検出できない場合は、［**リストにないプリンタを使用**］ボックスをオンにします。

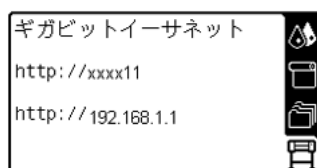
［**次へ**］ボタンをクリックします。

8. 画面の指示に従って続行します。［プリンタ キューが作成されました］画面が表示されたら、［**閉じる**］をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、［**新しいキューの作成**］をクリックします。
9. HPプリンタ セットアップ アシスタントが完了したら、CD-ROMドライブからCDを取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントをCDとは別に起動することができます。

## TCP/IP接続

1. フロントパネルで、アイコンをハイライトさせます。ステータス画面が表示されます。

印刷可能です

プリンタのURL（この例では、http://NPI0040CA73CF02.emea.hpqcorp.net）をメモします。

2. CDドライブにHP スタートアップ キットCDを挿入します。

3. デスクトップ上の［CD］アイコンをクリックします。

4. ［Mac OS X HP Designjet Installer］アイコンをクリックします。

5. 画面の指示に従います。HPは、**［簡易インストール］**オプションを選択することをお勧めします。

   プリンタ ドライバ、HP プリンタ ユーティリティ、およびHP Color Centerなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。

6. プリンタ ドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップするのに役立ちます。画面の指示に従います。

7. ［プリンタの選択］画面が表示されたら、［プリンタ名］列にあるプリンタのURL（手順1でメモした）を検索します。

   - 正しいプリンタ名を検出した場合、横方向にスクロールして［接続方法］列を表示し、それが Bonjour/Rendezvous を示していることを確認します。次に、そのラインをハイライトします。プリンタ名がただちに表示されない場合、リストの下方向への検索を続けます。
   - 接続方法が Bonjour/Rendezvous のプリンタ名を検出できない場合は、**［リストにないプリンタを使用］**ボックスをオンにします。

   **［次へ］**ボタンをクリックします。

8. 画面の指示に従って続行します。［プリンタ キューが作成されました］画面が表示されたら、**［閉じる］**をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、**［新しいキューの作成］**をクリックします。

9. HPプリンタ セットアップ アシスタントが完了したら、CD-ROMドライブからCDを取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントをCDからいつでも起動することができます。

接続

# 直接コンピュータに接続する (Mac OS)

HP USB 2.0アダプタ (別売オプションとして購入できます) がある場合、ネットワークを介することなくプリンタを直接コンピュータに接続することができます。189 ページの 「アクセサリ」を参照してください。

1. プリンタの電源がオフになっているか、またはコンピュータに接続されていないことを確認します。
2. CDドライブにHP スタートアップ キットCDを挿入します。
3. デスクトップ上の [CD] アイコンをクリックします。

4. [**Mac OS X HP Designjet Installer**] アイコンをクリックします。
5. 画面の指示に従います。HPは、[**簡易インストール**] オプションを選択することをお勧めします。

   プリンタ ドライバ、HP プリンタ ユーティリティ、およびHP Color Centerなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。
6. プリンタ ドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップするのに役立ちます。
7. プリンタの電源がオンになっており、認定されたUSBケーブルを使用してコンピュータに接続されていることを確認します。

   
   **注記：** 認定されていないUSBケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB開発者のためのフォーラム (http://www.usb.org/) によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。
8. HP プリンタ セットアップ アシスタントで、[**次へ**] ボタンをクリックします。
9. 表示されたプリンタのリストで、接続方法にUSBを使用しているエントリを選択して、[**次へ**] ボタンをクリックします。
10. 次の画面には、プリンタのインストール情報が表示されます。この画面でプリンタ名を変更できます。必要に応じてプリンタ名を変更し、[**次へ**] ボタンをクリックします。
11. これで、プリンタが接続されました。[プリンタ キューが作成されました] 画面では、[**閉じる**] をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、[**新しいキューの作成**] をクリックします。
12. HPプリンタ セットアップ アシスタントが完了したら、CD-ROMドライブからCDを取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントをCDからいつでも起動することができます。

## プリンタの共有

注記： Macユーザ間でのプリンタの共有は、Mac OS X V10.2以降でサポートされています。

コンピュータがネットワークに接続されている場合に、コンピュータに直接接続されたプリンタを同じネットワーク上にある別のコンピュータで使用できます。

1. デスクトップ上のDockメニュー バーの［システム環境設定］アイコンをダブルクリックします。
2. プリンタの共有を有効にするには、**［共有］**－**［サービス］**－**［プリンタ共有］**をクリックします。
3. Mac OSを実行しているその他のコンピュータで利用でき、ローカル ネットワークに接続された共有プリンタのリストに、お使いのプリンタが自動的に表示されます。

注記： プリンタの共有を必要とする他のすべてのユーザは、各自のコンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールする必要があります。

直接接続されたプリンタを共有する他のすべてのユーザは、印刷ジョブの送信はできますが、プリンタから情報を受信することはできません。これは、プリンタ アラート、プリンタ ステータス レポート、用紙の管理、プリンタの管理、およびトラブルシューティングに影響にします。

Mac OS V10.2 ユーザは、共有プリンタを表示するために、プリントセンターの［**ほかのコンピュータに接続されているプリンタを表示する**］オプションを選択する必要があります。

別のユーザに直接接続するプリンタを共有すると、コンピュータの速度が許容できない速度まで遅くなる場合があります。

ヒント： ネットワークを介してプリンタを共有する場合、プリンタをコンピュータではなくネットワークに接続することが最適な方法です。21 ページの 「ネットワークに接続する (Mac OS) 」を参照してください。

接続

## プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Mac OS)

1. CDドライブにHP スタートアップ キットCDを挿入します。
2. デスクトップ上の [CD] アイコンをクリックします。
3. **[Mac OS X HP Designjet Installer]** アイコンをクリックします。
4. **[アンインストール]** をクリックし、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

接続

# 3 セットアップ オプション（基本）

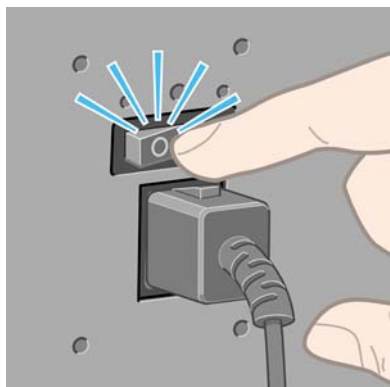
# プリンタ設定オプション

## プリンタをオン/オフにする

ヒント： プリンタはENERGY STAR®に準拠しています。プリンタの背面の電源スイッチまたはフロントパネルの［電源］ボタンを押して電源をオンにしたままでも、電力が無駄になりません。電源を入れたままにしておくと、レスポンス タイムおよびシステム全体の信頼性が向上します。一定時間（デフォルトでは15分）使用しない場合、プリンタはスリープ モードに移行して電力を節約します。何らかの操作を行うとただちにアクティブ モードに戻り、印刷を再開することができます。

プリンタの電源のオン/オフを切り替える場合、通常はフロントパネルの 電源 ボタンを使用することをお勧めします。

この方法でプリンタのスイッチをオフにすると、プリントヘッドが自動的に保守カートリッジと接する形で格納され、プリントヘッドの乾燥を防止します。

ただし、長期間プリンタの電源をオフのままにする場合は、電源 ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。

電源を入れ直すには、背面の電源スイッチをオンにしてから、電源 ボタンを押します。

プリンタの電源を入れると、プリンタの初期化にしばらく時間がかかります。HP Designjet Z6100シリーズ プリンタの場合は約10分かかります。

## プリンタの再起動

状況によって、プリンタの再起動を勧めるメッセージが表示される場合があります。その場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルの 電源 ボタンを押してプリンタの電源を切り、しばらく待ちます。次に 電源 ボタンをもう一度押します。これでプリンタが再起動します。再起動されない場合は、手順2に進んでください。
2. フロントパネルの リセット ボタンを使用します。先の細い非伝導性の道具を使用して リセット ボタンを押します。通常、これは［電源］ボタンを押した場合と同じ結果になりますが、［電源］ボタンが機能しない場合にこの操作を行います。
3. 手順1と手順2のいずれを試しても再起動できない場合は、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにします。
4. 電源コードを電源ソケットから取り外します。
5. 10秒間ほど待ちます。
6. 電源コードを電源ソケットに差し込み、電源スイッチを押してプリンタの電源を入れます。
7. フロントパネルの電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯しない場合は、電源 ボタンを押してプリンタの電源を入れます。

## フロントパネルの言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更する方法は2つあります。

- 現在表示されているフロントパネルの言語を理解できる場合は、フロントパネルでアイコンを選択し、次に［**フロントパネル オプション**］-［**言語の選択**］を選択します。
- 現在表示されているフロントパネルの言語が分からない場合は、まずプリンタの電源を切ります。フロントパネルで、OK ボタンを押し続けます。OK ボタンを押したままの状態で、電源 ボタンを押します。フロントパネルの左側にある緑色のランプが点滅し始めるまで両方のボタンを押し続け、両方のボタンを放します。これには約1秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。

どちらの方法でも、フロントパネルに言語選択メニューが表示されます。

希望する言語をハイライトさせて OK ボタンを押します。

## 特定のエラー状態についての電子メール通知を要求する

1. 内蔵Webサーバで、［**セットアップ**］タブにある［メール サーバ］ページに移動し、以下のフィールドが正しく入力されていることを確認します。
   - ［**SMTPサーバ**］。SMTPサーバ：プリンタから送信されるすべての電子メール メッセージを処理する送信メール サーバ（［SMTP］簡易メール転送プロトコル）のIPアドレス。メール サーバに認証が必要な場合は、電子メール通知は機能しません。
   - ［**プリンタのメール アドレス**］。プリンタから送信される各電子メール メッセージには、返信用アドレスを含める必要があります。このアドレスは実際には機能しなくても、固有

のアドレスである必要があります。メッセージの受信者が送信元のプリンタを識別できるようにするためです。

2. ［**セットアップ**］タブにある［通知］ページに移動します。

3. ページに表示されるボタンから、電子メール通知の設定を行うことができます。ボタンの詳細を表示するには、ポインタをボタンの上に置いてください。電子メール通知の送信先、アラートの選択をするには[新規]ボタンをクリックし、設定を行なってから[適用]をクリックします。リストを変更するには[変更]ボタン、リストを削除するには[削除]ボタンをクリックして行います。アラートのテストを行うには[テスト]ボタンをクリックして実行します。

## スリープ モード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しなかった場合、電力節約のため、プリンタは自動的にスリープ モードへ移行します。デフォルトの待ち時間は15分間です。プリンタがスリープ モードに移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルでアイコンを選択し、次に［**フロントパネル オプション**］-［**スリープ モード待ち時間**］を選択します。必要な待ち時間をハイライトさせて OK ボタンを押します。

## ブザーをオフにする

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルでアイコンを選択し、次に［**フロントパネル オプション**］-［**ブザーの有効化**］を選択します。

## フロントパネルの表示のコントラストを変更する

フロントパネルの表示のコントラストを変更するには、アイコンを選択し、次に［**フロントパネル オプション**］-［**画面コントラストの選択**］を選択して、上矢印 または 下矢印 ボタンで値を選択します。OK ボタンを押して、その値を設定します。

## 測定単位を変更する

フロントパネルに表示される測定単位を変更するには、アイコンを選択し、［**フロントパネル オプション**］-［**単位の選択**］を選択して、［**インチ**］または［**メートル**］を選択します。

測定単位は内蔵Webサーバでも変更できます。

# 内蔵Webサーバ設定オプション

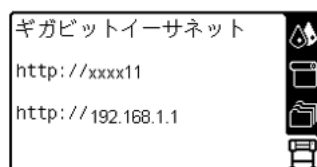
## 内蔵Webサーバにアクセスする

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用されるWebブラウザから、プリンタをリモート管理することができます。

注記：　内蔵Webサーバを使用するためには、プリンタの接続方法がTCP/IPである必要があります。

内蔵Webサーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 5.5以降（Windows）
- Safari 1、2、3以降（Mac OS X）
- Netscape Navigator 6.01以降
- Mozilla 1.5以降
- Mozilla Firefox 1.0以降

コンピュータ上で内蔵Webサーバを使用するには、Webブラウザを開き、プリンタのアドレスを入力します。プリンタのフロントパネルのステータス画面にプリンタのアドレスが表示されます（この例では192.168.1.1）。

この手順に従っても内蔵Webサーバが開けない場合は、246 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスできない 」を参照してください。

## 内蔵Webサーバをパスワードで保護する

1. 内蔵Webサーバで、［**セットアップ**］タブをクリックして［セキュリティ］ページに移動します。
2. 使用するパスワードを［**新しいパスワード**］フィールドに入力します。
3. 確認のため、［**パスワードの確認**］フィールドにもう一度入力します。
4. ［**パスワードの設定**］をクリックします。

パスワードが設定されると、セキュリティ パスワードを入力しない限り、内蔵Webサーバで以下の操作を実行できなくなります。

- キュー内の印刷ジョブの管理（キャンセル、削除）
- 印刷ジョブのプレビュー表示
- 保存ジョブの削除
- アカウンティング情報のクリア
- プリンタのファームウェアのアップデート

**注記：** セキュリティ パスワードを忘れてしまった場合は、246 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスできない 」を参照してください。

## 内蔵Webサーバの言語を変更する

内蔵Webサーバは、日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語で機能します。ここでは、Webブラウザのオプションで指定された言語が使用されます。内蔵Webサーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Webブラウザの［言語の優先順位］設定を変更してください。たとえば、Internet Explorerのバージョン6を使用している場合は、**[ツール]** メニューに移動し、**[インターネット オプション]** を選択して、次に **[言語]** を選択します。[言語の優先順位] ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

変更を完了させるには、Webブラウザを閉じてから再び開きます。

# HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）の設定オプション

HP Easy Printer Care（Windowsの場合）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OSの場合）を使用して、USB接続およびTCP/IP機能のあるコンピュータからプリンタを管理します。

- Windowsでは、デスクトップのショートカットから、または［**スタート**］－［**プログラム**］－［**Hewlett-Packard**］－［**HP Easy Printer Care**］－［**HP Easy Printer Careの起動**］をクリックして、HP Easy Printer Careを起動できます。これにより、HP Easy Printer Careが開き、インストールされたプリンタが表示されます。
- Mac OSでは、［**ハードディスク**］－［**ライブラリ**］－［**Printers**］－［**hp**］－［**Utilities**］－［**HP プリンタ ユーティリティ**］の順に選択します。プリンタ ユーティリティの最初の使用時にHP プリンタセレクタが開きます。以後、プリンタ ユーティリティは起動時に自動的に開きます。Dock内のHP Color Center アイコンを使用してプリンタセレクタを開きます。プリンタは［プリンタ設定ユーティリティ］に追加する必要があります。

  起動時に、前回設定したプリンタの［プリンタ ユーティリティ］が自動的に開きます。

  お使いのプリンタを選択して、［**ユーティリティを起動**］をクリックします。これにより、［HP プリンタ ユーティリティ］が起動します。

  ［HPプリンタ ユーティリティ］は起動ディスクからインストールした後はDockから起動できます。

この手順に従ってもHP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスできない場合は、252 ページの 「HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスできない 」を参照してください。

注記： HP Easy Printer CareはWindows XP Professional x64 Editionでサポートされていないため、このバージョンのWindowsを使用しているコンピュータにインストールすることはできません。

## HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）の言語を変更する

HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）は、日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語（Windowsのみ）、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語で機能します。

- Windowsでは、［**ツール**］－［ **言語設定**］を選択してからリストで言語を選択し、［**適用**］ボタンをクリックします。
- Mac OSでは、他のソフトウェア プログラムで使用する言語に変更します。［**システム環境設定**］で［**言語環境**］を選択し、アプリケーションを再起動します。

# 4　使用方法（用紙）

# 概要

用紙は、プリンタが処理できる印刷用紙ラインアップのサブセットにすぎません。さまざまな種類のフィルム、クロスや布地、粘着用紙、粘着紙、およびバナーや看板用紙にも印刷可能です。ただし、このガイド全体では、これらのメディアは通常、用紙を意味します。

注記： フロントパネルのスペースが限られているため、HP純正用紙の名前は省略される場合があり、パッケージ ラベルに表示されている名前がフロントパネルにそのまま正確に表示されない場合があります。

注記： サポートされている用紙の完全なリストは非常に長いため、最も一般的な用紙の種類のみがフロントパネルに表示されます。フロントパネルに表示されていないHP純正用紙の種類を表示するには、http://www.hp.com/go/designjet からプリンタにプロファイルをダウンロードします。61 ページの 「用紙プロファイルをダウンロードする 」を参照してください。

注記： 自動用紙カッターの機能は、一部の最も厚手のメディアの種類では無効になっています。これは、一部の厚手メディアではカッターが損傷する可能性があるためです。

## 用紙を使用する

良好な印刷品質を得るためには、目的に合った適切な用紙を選択することが非常に重要です。最適な印刷結果を得るには、推奨されているHP純正用紙（詳細は、37 ページの 「サポートされている用紙の種類 」を参照）のみを使用してください。HP純正用紙は十分な検査を受けて開発され、高い信頼性とパフォーマンスが保証されています。すべてのプリンタ関連製品（プリンタ、インク システム、用紙）は、一緒に使用することで高性能を発揮し、最適な印刷品質を実現することができます。

用紙の使用方法に関するその他のヒントを以下に示します。

- 用紙の種類を問わず、印刷に使用する24時間前には、包装を外して、使用する環境に用紙を出しておくようにしてください。
- フィルムとフォト用紙は、端を持つか綿製の手袋をして取り扱ってください。このような用紙には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 用紙の取り付けと取り外しの際は、用紙をロールにしっかりと巻き付けておいてください。用紙をロールにしっかりと巻き付けるには、ロールをプリンタから取り外す直前に、テープを使用してロールの先端を芯に接着させてみてください。保管中はロールをテープで接着させておくことができます。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

  注記： ロールの先端を接着させる際にテープを使用することは、76.2mm（3インチ）芯の場合特に重要です。印刷物自体の硬さによって印刷物が緩み、芯から外れてしまう可能性があります。

- ロール紙を取り付けた場合、取り付けた用紙の種類を指定するようにフロントパネルにメッセージが表示されます。印刷品質を高くするため、適切な用紙の種類を指定する必要があります。パッケージ ラベルに印刷されている用紙名がフロントパネルの説明と一致していることを確認してください。

  フロントパネルの表示で特定の用紙が見つからない場合は、http://www.hp.com/jp/dj-supply/ にアクセスしてプリンタの最新カラー プロファイルをダウンロードするか、またはパッケージ ラベルに印刷されている用紙名に最適なメディア プロファイルを選択します。

- イメージに適さない用紙を使用した場合、イメージによっては品質が低下するものがあります。これは、HP スタンダードコート紙、HP コート紙、HP 厚手コート紙およびHP スタンダード厚手コート紙などの繊維ベースの用紙に印刷する場合に、特に重要なこととして考慮に入れる必要があります。繊維ベースの用紙上に高彩度の塗りつぶし領域が含まれているイメージを印刷する場合は用紙の広がりによって不要な波形パターンが作成される可能性があります。最終的には、これによってより深刻な問題が発生する可能性があります。高彩度の塗りつぶし領域を印刷する場合は、厚手コート紙を使用してみてください。

使用方法（用紙）

- 適切な出力品質設定（[高品質]、[標準]、[標準-高速]、または［高速]）が選択されていることを確認してください。印刷品質は、ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルで設定できます。ドライバまたは内蔵Webサーバの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。用紙の種類と印刷品質設定の組み合わせによって、用紙に対するインクの転写方法が決定されます（たとえば、インク濃度、ハーフトーンなど)。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。
- プリンタに付属のインク システムは光に対して優れた耐久性を備えていますが、日光に長期間さらされると退色または変色します。
- ロール紙をプリンタにセットして設定した後は、フロントパネルで用紙の種類を再設定することができません。フロントパネルに表示される用紙の種類が使用する用紙の種類に対応していない場合、次の操作のいずれかを行います。
  - ロール紙をプリンタに取り付け直し、適切なメディアのタイプを選択します。48 ページの 「プリンタからロール紙を取り外す 」および43 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける 」を参照してください。
  - 内蔵Webサーバ、HP Easy Printer Care、またはHP プリンタユーティリティを使用してロール紙での用紙の種類を再設定します。

## 乾燥時間

印刷物や印刷する環境によっては、印刷物を取り外す前にインクを乾燥させる時間が必要になる場合があります。以下の設定から選択できます。

- [**最適**]：選択した用紙と印刷時の温度および湿度に基づき、適切な乾燥時間が自動的に判断されます。乾燥時間が必要な場合は、「乾燥時間の残り時間」がフロントパネルに表示されます。
- [**長い**]：デフォルトの乾燥時間よりも長くなります。デフォルトの乾燥時間では十分にインクが乾燥しない場合は、この設定を選択します。
- [**短い**]：デフォルトの乾燥時間よりも短くなります。できるだけ早く印刷する必要があり、乾燥時間が短くても大きな問題がない場合は、この設定を選択します。
- [**なし**]：乾燥時間を設定しません。印刷物がプリンタから排紙されたらすぐに手動で取り外す場合は、この設定を選択します。
- [**手動**]：分単位で乾燥時間を指定できます。

乾燥時間を変更するには、64 ページの 「乾燥時間を変更する 」を参照してください。

## サポートされている用紙の種類

次の表に、このプリンタで使用できる最も一般的なHPの用紙の種類と、用紙を取り付けるときにフロントパネルで選択する表示名を示します。フロントパネルに表示されないHP純正用紙を使用する場合、http://www.hp.com/jp/dj-supply/にアクセスして適切な用紙プロファイルをダウンロードしてください。プロファイルのダウンロードは1度だけ行います。プロファイルはプリンタに保存されるため将来使用でき、以後、フロントパネルに表示されます。

用紙の製品番号、幅、重量については、67 ページの 「用紙について 」を参照してください。

**注記：** 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、http://www.hp.com/jp/dj-supply/ を参照してください。

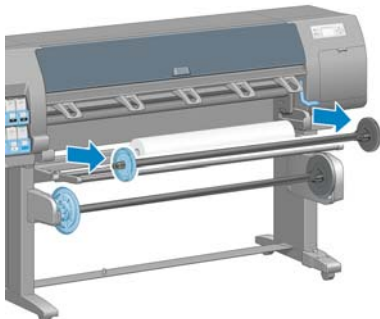
**表 4-1　サポートされている用紙の種類**

| 用紙の種類 | 製品名 | フロントパネルでの表示名 |
|---|---|---|
| 普通紙とコート紙 | HP コート紙 | HP コート紙 |
| | HP コート紙 (CAD) | HP コート紙 (CAD) |
| | HP スタンダード コート紙 | HP スタンダード コート紙 |
| | HP スタンダード コート紙 (CAD) | HP スタンダード コート紙 (CAD) |
| | HP 厚手コート紙 | HP 厚手コート紙 |
| | HP スタンダード厚手コート紙 | HP スタンダード厚手コート紙 |
| | HP スタンダード普通紙 | HP スタンダード普通紙 |
| | 普通紙 | 普通紙 |
| | インクジェット普通紙 | インクジェット普通紙 |
| | コート紙 | コート紙 |
| | コート紙 (CAD) | コート紙 (CAD) |
| | 厚手コート紙 | 厚手コート紙 |
| | スーパー厚手コート紙 | スーパー厚手コート紙 |
| フォト用紙 | HP プレミアム速乾光沢フォト紙 | HP プレミアム速乾光沢フォト紙 |
| | HP プレミアム速乾半光沢フォト紙 | HP プレミアム速乾半光沢フォト紙 |
| | HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙 | HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙 |
| | HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙 | HP スタン. 速乾性光沢フォト用紙 |
| | HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙 | HP スタン. 速乾性半光沢フォト用紙 |
| | 光沢フォト用紙 | 光沢フォト用紙 |
| | 半光沢/サテンフォト用紙 | 半光沢/サテンフォト用紙 |
| 美術用紙 | HP プロフェッショナルマットキャンバス | HP プロマットキャンバス |
| | HP コレクター半光沢キャンバス | HP コレクター半光沢キャンバス |
| | HP 水彩用アート紙 | HP 水彩用アート紙 |
| | HP アーティストマットキャンバス | HP アーティストマットキャンバス |
| | HP スタンダードマットキャンバス | HP スタンダードマットキャンバス |
| | HP スムースファインアート紙 (Hahnemühle®) | HP スムースファインアート紙 Hahnemühle |
| | HP リトグラフ調マット紙 | HP リトグラフ調マット紙 |
| | HP ファインアート紙 (Hahnemühle) | HP ファインアート紙Hahnemühle® |
| | キャンバス | キャンバス |
| | ファインアート紙 | ファインアート紙 |
| バックライト用紙 | HP プレミアムビビッドカラーバックライトフィルム | HP プレミアムビビッドカラーバックライト |
| | バックライトフィルム | バックライトフィルム |

**表 4-1　サポートされている用紙の種類（続き）**

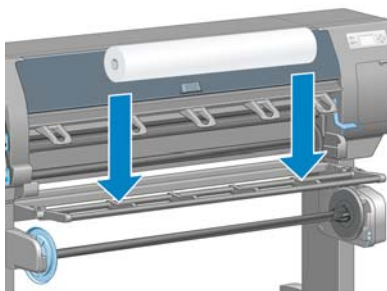
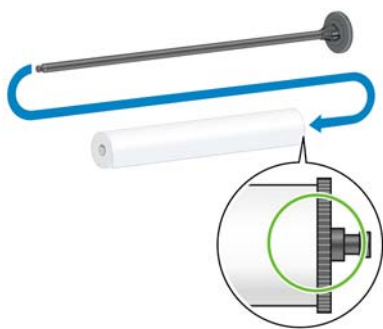
| 用紙の種類 | 製品名 | フロントパネルでの表示名 |
| --- | --- | --- |
| サイン&バナー用紙 | HP 速乾性屋内バナー 光沢 | HP 速乾性屋内バナー 光沢 |
| | HP 半透明スクリムバナー | HP オパークスクリム |
| | 屋内バナー | 屋内バナー |
| | スクリムバナー | スクリムバナー |
| テクニカル用紙 | トレーシングペーパー | トレーシングペーパー |
| | 半透明ボンド紙 | 半透明ボンド紙 |
| | ベラム紙 | ベラム紙 |
| フィルム | クリアフィルム | クリアフィルム |
| | マット フィルム | マット フィルム |
| プルーフ用紙 | HP プロフェッショナルプルーフ用光沢用紙 | HP プロプルーフ用光沢紙 |
| | HP プロフェッショナルプルーフ用半光沢用紙 | HP プロプルーフ用半光沢紙 |
| | HP プルーフ用マット紙 | HP プルーフ用マット紙 |
| | プルーフ用光沢紙 | プルーフ用光沢紙 |
| | 半光沢/サテンプルーフ用紙 | 半光沢/サテンプルーフ用紙 |
| | プルーフ用マット紙 | プルーフ用マット紙 |
| 粘着紙 | ポリプロピレン粘着紙 | ポリプロピレン粘着紙 |
| | 粘着ビニール | 粘着ビニール |
| ファブリック/テキスタイル用紙 | (カスタム用紙をインターネットからダウンロードした場合のみ表示されます) | 未定 |

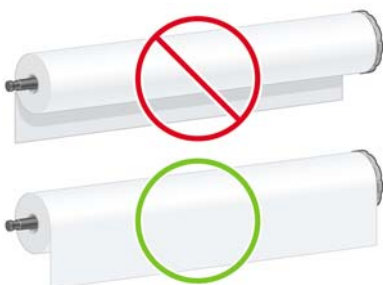
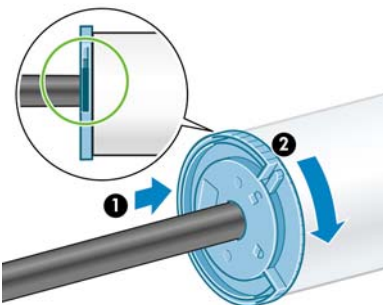
# ロール紙をスピンドルに取り付ける

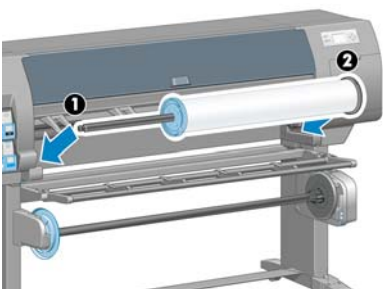
1. プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキ レバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。
2. まずスピンドルの右端をプリンタから取り外し、次に右に移動させてスピンドルの左端を取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。

スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するハブが付いています。左端の青いハブを取り外して、新しいロール紙を取り付けます。ハブはスピンドルに沿ってスライドし、異なる幅のロール紙が固定されます。

3. 青いハブのロック レバーをロック解除の位置までスライドさせて、ハブ（1）をスピンドルの左端から取り外します。

4. セットするロール紙を巻き取りリール デフレクタに置きます。ロール紙は長くて重い場合があり、取り扱いには2人必要な場合があります。

使用方法（用紙）

5. スピンドルをロール紙に取り付けます。スピンドルの右端で、ロール紙と固定ハブの間に隙間がないことを確認してください。

用紙が正しい方向でロール紙に巻き付けられていることを確認してください。正しい方向で巻き付けられていない場合、スピンドルをロール紙から取り外し、ロール紙を180°回転させてデフレクタに置いてください。次にスピンドルをロール紙に取り付けます。

**注記：** スピンドルのラベルにも、正しい巻き取り方向が表示されています。

6. スピンドルの端に青いハブを取り付け、以下のイメージの手順1で示したロール紙の端に向けて押し込みます。次に、ロック レバーを手順2で示したロックの位置にスライドさせます。

7. 左にある青いハブで、スピンドルをプリンタの左側（1）に挿入してからリンタの右側（2）に挿入します。

使用方法（用紙）

さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けたスピンドルを複数準備しておくと、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます。

# ロール紙をプリンタに取り付ける

**注記：** この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。40 ページの 「ロール紙をスピンドルに取り付ける 」を参照してください。

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**用紙の取り付け**］－［**ロール紙の取り付け**］を選択します。

   用紙の取り付け
   ▶ ロール紙の取り付け
   ▶ スピンドルの取り付け方法

2. 用紙の種類のリストを確認します。

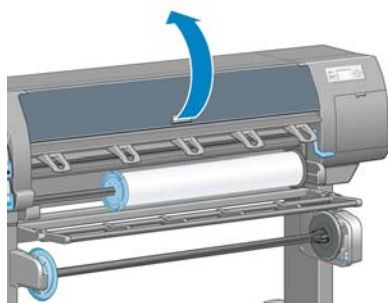
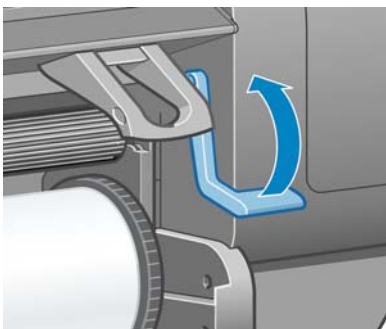
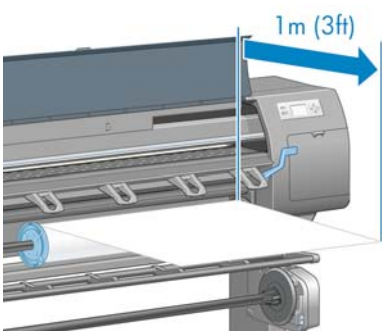
   **注記：** 手順3に示されるように、使用している用紙のロールの先端に用紙データ バーコードが印刷されている場合、用紙の情報は自動的にプリンタにロードされ、用紙の種類に関するこのリストは表示されません。

3. 用紙カテゴリを選択し、使用する用紙の種類を選択します。どのカテゴリや種類を選択したらよいか分からない場合は、37 ページの 「サポートされている用紙の種類 」を参照してください。

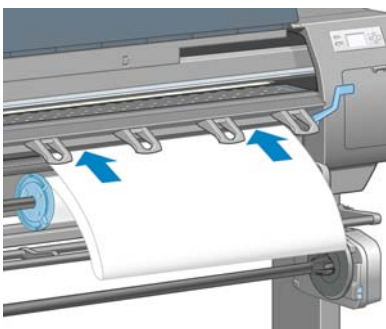
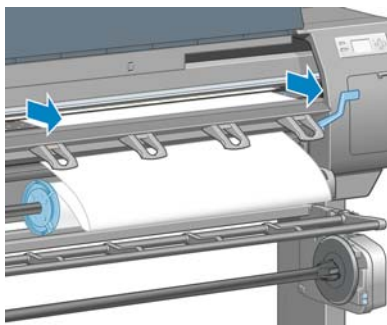
   **注記：** 使用している用紙のロールの先端に用紙データ バーコードが印刷されている場合、用紙の情報は自動的にプリンタにロードされます。

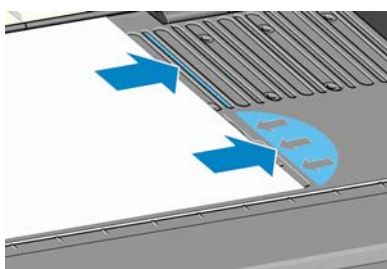
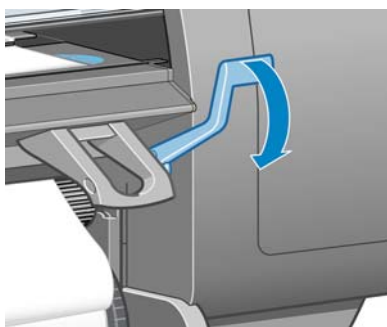
   
   

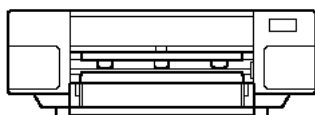
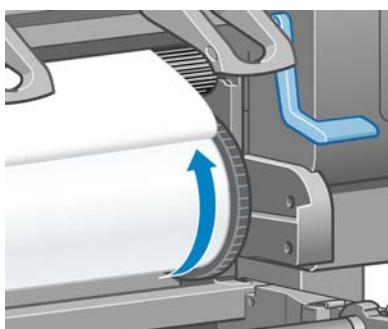
4. しばらくすると、フロントパネルにプリンタのウィンドウを開くように要求するメッセージが表示されます。

5. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。

6. 用紙を1m（3フィート）ほど引き出します。

7. ロール紙の先端を、黒いリブ状のローラーの上に慎重に挿入します。

**警告！** 用紙を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れないようにしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

**警告！** プリンタの用紙経路に指を入れないように注意してください。

使用方法（用紙）

8. そのままにしばらくすると、用紙が下の図のようにプリンタから出てきます。

> **注記：** 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、222 ページの 「用紙が正しく取り付けられない 」を参照してください。

9. 用紙の端を、プラテンの右側にある青い線と半円マークの左端の位置に合わせます。

10. 用紙を青い線と半円マークに正確に合わせたら、用紙取り付けレバーを下げます。

11. フロントパネルに、用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直すようメッセージが表示されるまで待ちます。

使用方法（用紙）

12. 用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直します。それには、ハブを使用してロール紙を図の方向に回転させます。

13. ウィンドウを閉じます。

14. フロントパネルに、用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直すようメッセージが再度表示されるまで待ちます。

ロール紙を取り付けています
余分なロール紙を巻き取り、
印刷時のｲﾒｰｼﾞ品質の劣化を
防ぎます

OK を押して続けます

15. 使用する用紙の種類でまだキャリブレーションが行われていない場合、カラー キャリブレーション機能がオンになっていると、ここでカラー キャリブレーションが実行されます。144 ページの 「カラーキャリブレーション 」を参照してください。

16. 巻き取りリール（60インチ プリンタの標準機能、および42インチ プリンタの別売オプション）が装備されていて有効になっている場合、「巻き取りリールは有効です」メッセージがフロントパネルの［**用紙**］タブに表示されます。この場合、用紙をリールに取り付けるかどうかたずねるメッセージがフロントパネルに表示されます。［**いいえ**］を選択した場合（または巻き取りリールを装備していない場合）、フロントパネルに「**印刷可能です**」というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。［**はい**］を選択した場合、巻き取りリールを今すぐに、または印刷中のどちらで取り付けるかをたずねるメッセージがフロントパネルに表示されます。

巻き取りリールに
用紙を今すぐ取り付けますか?
それとも用紙を節約して、
印刷中に取り付けますか?
□今すぐリールに取り付ける
□印刷中リールに取り付ける

- 巻き取りリールを今すぐに取り付ける場合は、［**今すぐリールに取り付ける**］を選択してセクション 50 ページの 「巻き取りリールを使用する 」 の導入テキスト全体を読んでから処理の手順3に進みます。
- 巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合は、［**印刷中リールに取り付ける**］を選択してセクション 50 ページの 「巻き取りリールを使用する 」 の導入テキスト全体を読んでから処理の手順3に進みます。

**注記：** 巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、プリンタが用紙を給紙および印刷している間に処理を完了させる必要があるため、あらかじめ処理手順に慣れておいてください。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、約1m（3フィート）用紙を節約できます。

巻き取りリールが有効になっていない場合、有効にするには、アイコンを選択し、次に［**巻き取りリール**］－［**巻き取りリールの有効**］を選択します。

**注記：** プリンタの最初のセットアップ中、ロール紙がプリンタにセットされた後、プリントヘッドの軸合わせとカラー キャリブレーションが自動的に行われます。

# プリンタからロール紙を取り外す

注記： 巻き取りリール（60インチ プリンタの標準機能、および42インチ プリンタの別売オプション）を印刷中に使用した場合、巻き取りリールから印刷されたロール紙を取り外してから、プリンタからロールを取り外してください。55 ページの 「ロール紙を巻き取りリールから取り外す」を参照してください。

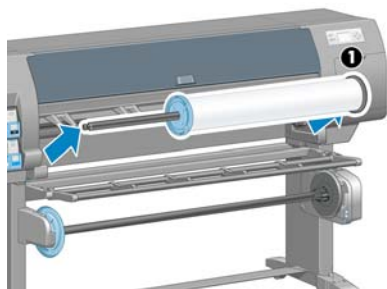
プリンタのフロントパネル、または用紙取り付けレバーを引き上げてロールを取り外す処理を行います。どちらの場合でも、フロントパネルのアニメーションによって残りの手順が表示されます。

ロール紙を取り外す前に、ロール紙がスピンドルに残っているかどうかを確認し、以下のセクションに記載されている手順に従います。

## 通常の手順（ロール紙がスピンドルに残っている場合）

ロール紙がスピンドルに残っている場合は、以下の手順に従います。

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**用紙の取り外し**］を選択します。
2. プリンタから用紙が排出されます。

   何らかの理由により用紙が自動的に排出されない場合は、フロントパネルに表示されるメッセージに従い、用紙取り付けレバーを持ち上げ、ロール紙を手で巻いてプリンタの内部から用紙を完全に取り外します。用紙を取り外したら、用紙取り付けレバーを下げます。
3. ハブを手で回して、用紙をロールに完全に巻きつけます。
4. OK ボタンをクリックします。
5. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。

## ロール紙がスピンドルから外れている場合

ロール紙の端は見えるが、スピンドルから外れてしまっている場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで［**用紙の取り外し**］を選択した場合は、キャンセル ボタンを押して、操作をキャンセルします。
2. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。フロントパネルにレバーに関する警告が表示された場合は、無視してください。
3. プリンタ前面から用紙を引き出します。
4. ロール紙の右端を最初に引き出して、空のスピンドルをプリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。

5. 用紙取り付けレバーを下げます。

6. フロントパネルに警告メッセージが表示された場合は、OK ボタンを押してメッセージを消します。

## 用紙が見えない場合

ロール紙の端がプリンタの外に全く出ていない場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルの 排紙/カット ボタン を押すと、残りの用紙が排出されます。

2. ロール紙の右端を最初に引き出して、空のスピンドルをプリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。

使用方法（用紙）

# 巻き取りリールを使用する

**注意：** 巻き取りリール モーターをプリンタに取り付ける際は、プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。

巻き取りリールは、フロントパネルで有効にして操作する必要があります。巻き取りリールが有効になると、「巻き取りリールは有効です」というメッセージがフロントパネルの［**用紙**］タブに表示されます。巻き取りリールが有効になっていない場合、有効にするには、アイコンを選択し、次に［**巻き取りリール**］－［**巻き取りリールの有効化**］を選択します。

ロール紙を巻き取りリール スピンドルの芯にテーピングする際は、以下の説明に従ってください。

- 用紙がスピンドルの芯に真っすぐに取り付けられていることを確認してください。真っすぐに取り付けられていない場合、用紙が芯に巻き取られる際に歪みます。
- 巻き取りリールのスピンドルの芯の幅は、印刷する用紙（プリンタに取り付けられている用紙のロール）と同じ幅にする必要があります。
- スピンドルの芯の両端にエンド キャップが取り付けられていないこと、およびスピンドルの芯が両方のスピンドル ガイドにしっかりとはめ込まれていることを確認します。
- HP Designjet Z6100 42インチ プリンタを使用している場合、巻き取りリール センサーの障害にならないよう、用紙スタッカ ループがフット ブレースの後ろに置かれていることを確認します。

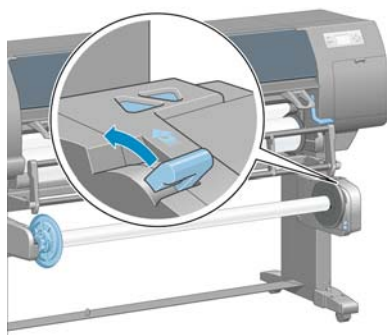
**注記：** 印刷中に巻き取りリールを取り付ける場合（前述の43 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける 」の手順16）、あらかじめ処理手順に慣れておいてください。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、プリンタが用紙を給紙および印刷している間に処理を完了させる必要があります。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、約1m（3フィート）用紙を節約できます。

## ロール紙を巻き取りリールに取り付ける

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**巻き取りリール**］－［**巻き取りリールの有効化**］を選択します。
2. 巻き取りリールを今すぐ取り付ける場合は、フロントパネルで［**今すぐリールに取り付ける**］を選択します。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合は、フロントパネルで **印刷中リールに取り付ける**］を選択します。

巻き取りリールに
用紙を今すぐ取り付けますか?
それとも用紙を節約して、
印刷中に取り付けますか?
□今すぐリールに取り付ける
□印刷中リールに取り付ける

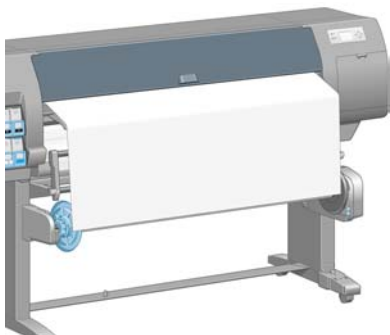
3. 巻き取りリール デフレクタが垂直に立っていることを確認します。

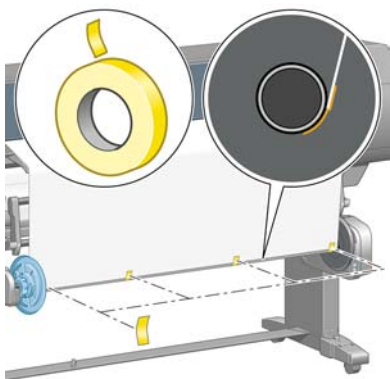
4. スピンドル レバーを最上部の位置まで押して、巻き取りリール スピンドルのロックを解除します。

5. 巻き取りリールスピンドルを取り外します。

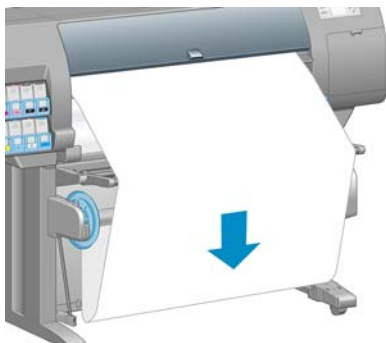
6. 巻き取りリール スピンドルの芯を巻き取りリール スピンドルに取り付ける手順が、フロントパネル画面に表示されます。タスクが終了したら、巻き取りリール スピンドルの両端をしっかりと押してプリンタに取り付けます。

7. フロントパネルの［OK］ボタンを押して、巻き取り方向を選択します。

印刷済みﾛｰﾙ紙の巻き取り
方向を選択します
□印刷面を外側にする
□印刷面を内側にする

プリンタによって用紙が排出されます。図に示すとおり、メディアが必ず巻き取りリール デフレクタの前を通過するようにします。

8. ピンと張った状態で、次の図の位置まで用紙を引き出します。プリンタから余分の用紙を引き出さないでください。粘着テープを使用して、用紙を芯に固定します。下の図に示されているよりも多くの粘着テープを使用する場合があります。用紙をしっかりと固定して、管状の芯（手順12で取り付けます）が張りに耐えられる必要があります。

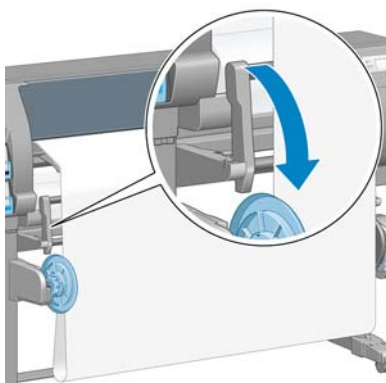
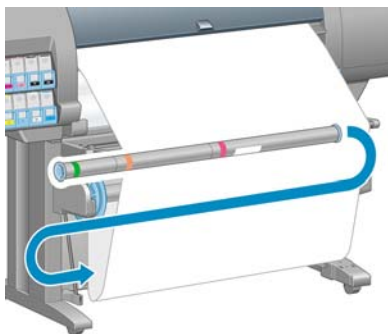
**注記：** 印刷中に巻き取りリールを取り付ける場合、ピンと張った状態で用紙を引き出す必要はありません。印刷開始後に必要な長さで用紙がプリンタから排出されたら、用紙をスピンドルの芯にテープで止めます。

**注記：** 用紙が芯に巻き取られる際に歪まないようにするために、用紙が真っすぐに取り付けられていることを確認します。用紙を合わせるには、芯の溝を使用すると便利な場合があります。

9. フロントパネルの［OK］ボタンを押します。プリンタによって用紙が排出されます。

注記： 必ず管状の芯を取り付けてください。管状の芯を取り付けないと、巻き取りリールが正常に機能しません。管状の芯にはエンド キャップが必要です。エンド キャップが取り付けられ、用紙の両端に達していることを確認します。

10. 形および色のラベルの付いたプラスチック管を組み合わせて、管状の芯を取り付けます。管状の芯の幅は、使用する用紙 と同じ幅にする必要があります。両方のエンド キャップが管状の芯の両端にしっかりと取り付けられていることを確認します。

注記： フロントパネル画面には、プリンタにセットしたロール紙の長さに基づき、管状の芯の必要な長さが表示されます。

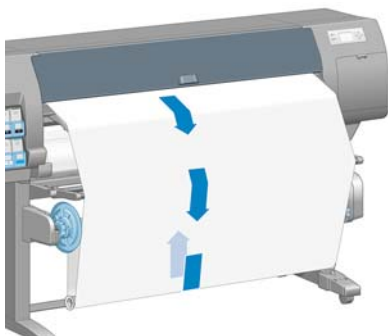
11. 巻き取りリール デフレクタを丁寧に下げます。

使用方法（用紙）

12. 管状の芯を静かに注意して挿入します。

**注記：** 必ず管状の芯を取り付けてください。管状の芯を取り付けないと、巻き取りリールが正常に機能しません。管状の芯にはエンド キャップが必要です。エンド キャップが取り付けられ、用紙の両端に達していることを確認します。

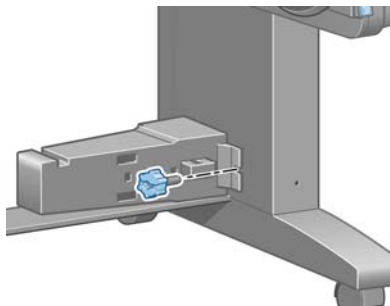
13. 巻き取りリール モーターの巻き取り方向スイッチを使用して、巻き取り方向を選択します。1 に設定すると、印刷するイメージが上向きになるよう用紙を巻き取ります。2 に設定すると、印刷するイメージが下向きになるよう用紙を巻き取ります。

    手順7で設定した巻き取り方向に基づいて設定を修正するよう、フロントパネルに表示されます。

14. フロントパネルの [OK] ボタンを押します。**「巻き取りリールが正しく取り付けられました」**というメッセージが表示されます。

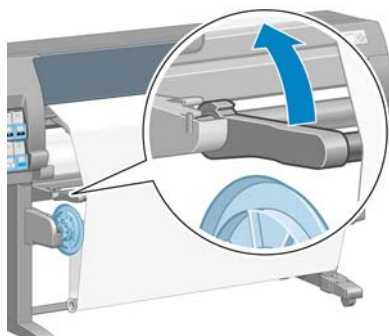
15. 下の図に、印刷時のプリンタの様子を示します。プリンタから排紙された用紙が、ループ状になって垂れ下がってから巻き取りリールに巻き付いています。

**注記：** 巻き取りリールが動作している場合は、巻き取りリール センサーが遮られていないことを確認してください。

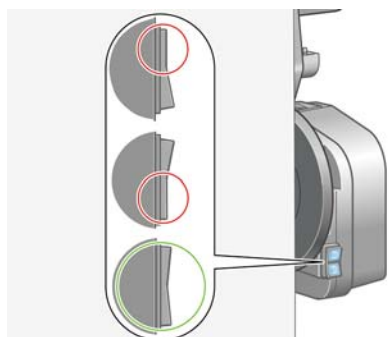
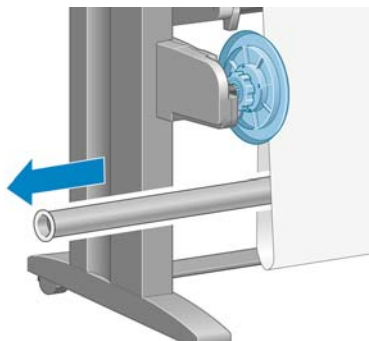
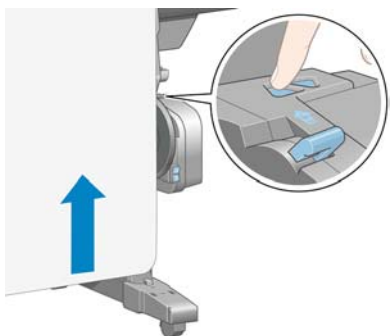
注記： 巻き取りリールを使用すると、自動用紙カッターはオフになります。

注記： プリンタを移動させたい場合、最初に巻き取りリール センサーとケーブル格納ユニットをプリンタ スタンド下部から取り外します。センサーとケーブル格納ユニットをプリンタ スタンドのクロスバーに合わせて配置し、図に示すように、プリンタの移動中に、青いプラスチック ネジを使用して格納ユニットをスタンドの脚部に固定します。格納ユニットを再度取り付ける場合、プリンタ スタンドの脚部のキャスターが前を向くようにしてください。

## ロール紙を巻き取りリールから取り外す

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**用紙の取り外し**］ –［**ロール紙の取り外し**］を選択します。

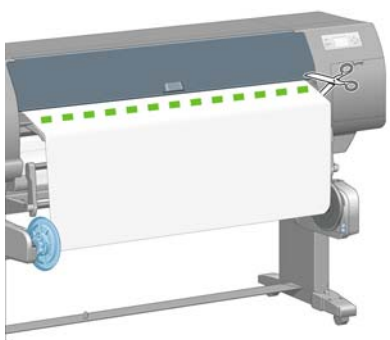
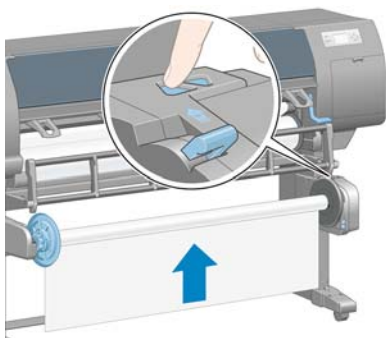
   用紙がプリンタから排出され、カットが可能になります。

2. 巻き取りリール デフレクタを持ち上げて垂直にします。

3. 巻き取り方向スイッチを［オフ］の位置にします。スイッチは中央が［オフ］の位置です（つまり、スイッチが1および2のどちらの位置にもない状態）。

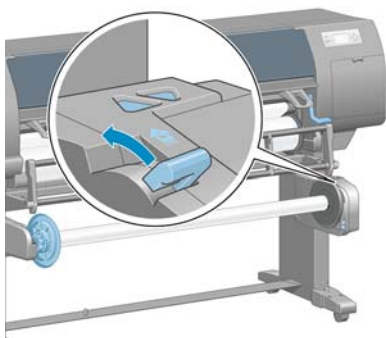
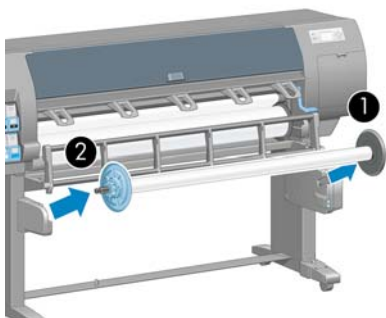
使用方法（用紙）

4. 管状の芯を取り外します。

5. 巻き取りリール モーターの巻き取りボタンを押して、巻き取りリール スピンドルの余分な用紙を巻き取ります。

6. フロントパネルの [OK] ボタンを押します。

7. 取り付けた用紙の種類が自動用紙カッターに適しているかどうかがプリンタによって認識されます。適している場合、用紙はカットされます。適していない場合、手動で用紙をカットします。

**注記：** 自動用紙カッターの機能は、一部の最も厚手のメディアの種類では無効になっています。これは、一部の厚手メディアではカッターが損傷する可能性があるためです。

使用方法（用紙）

8. 巻き取りリール モーターの巻き取りボタンを押して、巻き取りリール スピンドルの余分な用紙を巻き取ります。

9. フロントパネルの [OK] ボタンを押します。

   巻き取りリール スピンドルにある印刷物の量がフロントパネルに表示されます。

10. スピンドル レバーを最上部の位置まで押して、巻き取りリール スピンドルのロックを解除します。

11. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。

12. 巻き取りリールを取り外した後にプリンタからロール紙を取り外す場合は、48 ページの 「プリンタからロール紙を取り外す 」を参照してください。

使用方法 (用紙)

# 用紙に関する情報を表示する

プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に［**用紙情報の表示**］ – ［**用紙の詳細を表示**］を選択します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙のステータス
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅（mm）（プリンタによる推定値）
- 用紙の長さ（mm）（プリンタによる推定値）

用紙が取り付けられていない場合は、**ステータス：用紙がありません** というメッセージが表示されます。

同じ情報が内蔵Webサーバの［サプライ品］ページにも表示されます。

使用方法（用紙）

# 拡張精度キャリブレーションを実行する

プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、印刷のイメージ品質を微調整する場合、用紙を送る間隔をキャリブレーションする必要があります。拡張精度のキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを決定する手順については、191 ページの 「トラブルシューティング（印刷品質）」を参照してください。

正確に用紙を送ることで、用紙に対して適切にドットを配置することができます。用紙が正確に送られないと、明るい帯または暗い帯が印刷イメージに現われ、イメージのざらつきが増える場合があります。

用紙の拡張精度のキャリブレーション ステータスを確認するには、アイコンを選択し、次に［**用紙情報の表示**］ －［**用紙の詳細を表示**］を選択します。ステータス画面が表示されます。

- **デフォルト**：このステータスは、HP純正用紙を取り付けると表示されます。帯状または粒上のムラなどのイメージ品質に関する問題が発生していない限り、拡張精度のキャリブレーションをすることはお勧めしません。
- **推奨**：このステータスは、新しい用紙を作成するときに表示されます。この用紙の用紙送り値は、ファミリの種類から継承されます。このような場合は、拡張精度のキャリブレーションを実行して値を最適化することをお勧めします。
- **OK**：このステータスは、取り付けた用紙に対するキャリブレーションがこれまでに実行されたことがあることを示します。ただし、バンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

注記： プリンタのファームウェアを更新した場合には必ず、拡張精度のキャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。 183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。

注記： 半透明ボンド紙、ならびに、クリア フィルム、モノクロ&カラートレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、拡張精度のキャリブレーションに適していません。

## 拡張精度のキャリブレーションの概要

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］－［**拡張精度キャリブレーション**］－［**拡張精度のキャリブレーション**］を選択します。プリンタにより自動的に拡張精度のキャリブレーションが行われ、拡張精度のキャリブレーション イメージが印刷されます。
2. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度イメージを印刷します。

注記： キャリブレーションの処理には、約6分間かかります。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

満足できるイメージが得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。イメージ品質に改善が見られる場合、手順3に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します。60 ページの 「デフォルトのキャリブレーションに戻す」を参照してください。

3. キャリブレーションを微調整するには、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］－［**拡張精度キャリブレーション**］－［**拡張精度の調整**］を選択します。

4. -100% ～ 100%の間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、パーセントを小さくします。暗いバンディングを修正する場合は、パーセントを大きくします。

5. フロントパネルの OK ボタンを押して値を保存します。

6. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度イメージを印刷します。

## デフォルトのキャリブレーションに戻す

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、すべての拡張精度のキャリブレーションが0に設定されます。デフォルトの拡張精度のキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］-［**拡張精度キャリブレーション**］-［**拡張精度のリセット**］を選択します。

2. フロントパネルに作業の正常終了が表示されるまで待ってから、戻る ボタンを押して［**印刷可能です**］画面に戻ります。

使用方法（用紙）

# 用紙プロファイルをダウンロードする

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細を「用紙プロファイル」といいます。

用紙プロファイルには、用紙の色の特徴を記述するICCプロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プロファイルは、プリンタのソフトウェアにインストールされています。

このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類の用紙プロファイルのみが用意されています。プリンタにないプロファイルの用紙の種類を購入する場合は、フロントパネルからその用紙の種類を選択できません。

新しい用紙の種類にプロファイルを割り当てるには3つの方法があります。

- フロントパネル、HP Easy Printer Care (Windows)、またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) で、使用する用紙の種類になるべく近いカテゴリと種類を選択して、HPの工場出荷時の用紙プロファイルを使用します。

注記： カラーが正確ではない場合があるため、この方法は、高品質の印刷には向いていません。

- http://www.hp.com/support/japandownloads にアクセスして、**HP Designjet ICC/Media profiles and PANTONE tables** リンクをクリックします。**HP Designjetメディア プロファイル** プルダウン メニューから選択します。

注記： HPでは、HP用紙の種類に対するプロファイルのみを提供しています。必要な用紙プロファイルがWeb上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリース ノートを参照して、情報を確認してください。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。

- カスタム用紙の種類を追加します。62 ページの 「HP純正以外の用紙を使用する 」を参照して、HP純正用紙とHP純正以外の用紙の両方で必要なICCプロファイルを作成します。

使用方法（用紙）

# HP純正以外の用紙を使用する

HP純正用紙は、このプリンタでの使用について完全にテスト済みであるため、最高の印刷品質を得ることができます。

他のメーカーの用紙もお使いいただけますが、使用する前に、カスタム用紙の種類をプリンタに追加して、プリンタでカラーキャリブレーションを実行できるようにします。HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にあるHP Color Centerを使用して、カスタム用紙を追加できます。

注記：　HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）から［**ユーザー定義用紙**］-［**ユーザー定義用紙を追加**］をすでに選択している場合は、最初に［ユーザー定義用紙を追加］画面が表示され、以下の手順4から開始できます。

1. HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）のHP Color Centerに移動します。

2. ［**用紙の管理**］を選択します。

3. Windows の場合、［**ユーザー定義用紙を追加**］を選択します。Mac OS の場合、+ をクリックします。

4. 用紙名を入力します。

注記：　別のユーザがわかるよう、用紙の商品名を使用することをお勧めします。

5. 用紙のカテゴリを選択します。

注記：　用紙カテゴリは、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータを決定します。満足できる結果を得るには、異なるカテゴリで実験し、最適な結果を得られたカテゴリを使用します。

6. カスタム用紙をプリンタに取り付けます。43 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける 」を参照してください。

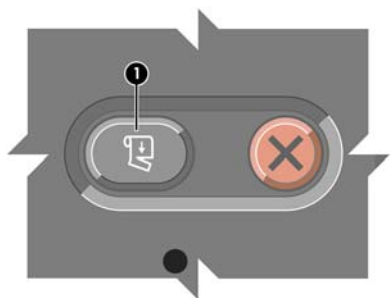
7. ［**次へ**］をクリックします。プリンタはカラーキャリブレーションを実行し、キャリブレーション チャートを印刷します。これには最大10分かかることがあります。

注記：　HP Color Centerで利用できる処理の詳細については、142 ページの 「カラーマネジメント プロセスの概要 」を参照してください。

8. 新しいキャリブレーション パラメータが計算されて保存されると、ICCプロファイルの作成を促すメッセージが表示されます。［**完了**］をクリックします。カスタム用紙が選択した用紙カテゴリに追加されます。

9. 最適なカラー精度で用紙に印刷するICCプロファイルを作成するには、146 ページの 「カラープロファイリング 」を参照してください。

# 乾燥時間をキャンセルする

フロントパネルの 排紙/カット ボタン（1）を押します。

**注意：** 乾燥時間が足りないと、印刷品質が低下することがあります。

使用方法（用紙）

# 乾燥時間を変更する

印刷状況によっては、乾燥時間の設定を変更する必要があります。

アイコンを選択し、次に［**用紙の取り扱いオプション**］－［**乾燥時間の選択**］を選択します。オプションから［**長い**］、［**最適**］、［**短い**］、［**なし**］または［**手動**］を選択します。

**手動** を選択した場合は、乾燥時間を設定します。アイコンを選択してから［**用紙の取り扱いオプション**］－［**手動乾燥時間**］を選択し、次に乾燥時間（秒）を設定します。

乾燥時間の詳細は、37 ページの 「乾燥時間 」を参照してください。

使用方法（用紙）

# 用紙情報の印刷

プリンタで未使用分のロール紙の推定の長さを表示するには、［**用紙情報の印刷**］を有効にします。情報はバーコードとテキストの組み合わせから構成され、用紙をプリンタから取り外すとロールの上端に印刷されています。

**注記：** 未使用分の長さに関する情報は、ロール紙を取り付けるときの用紙の長さをプリンタに指定した場合のみ使用できます。この情報をプリンタに提供するには、用紙を取り付ける際にロール紙の長さをフロントパネルで指定するか、用紙データ バーコードが印刷されているロール紙を取り付けます。

［用紙情報の印刷］オプションを有効にするには、プリンタのフロントパネルで アイコンを選択し、次に［**用紙の取り扱いオプション**］－［**用紙情報の印刷を有効にする**］を選択します。

# 用紙を保管する

用紙を保管する際のヒントは次の通りです。

- 用紙の変色を防ぐため、未使用のロール紙はプラスチックの包装に包んでおくようにしてください。ロール紙が部分的に使用済みで、未使用部分がある場合は、使用済みの部分を包んでおいてください。
- ロール紙は積み重ねないでください。
- 用紙の種類を問わず、印刷に使用する24時間前には、包装を外して、使用する環境に用紙を出しておくようにしてください。
- フィルムと光沢紙は、端を持つか綿製の手袋をして取り扱ってください。このような用紙には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 用紙の取り付けと取り外しの際は、用紙をロールにしっかりと巻き付けておいてください。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

# 用紙について

このプリンタに現在対応している用紙は以下のとおりです。

注記： 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、http://www.hp.com/jp/dj-supply/ を参照してください。

販売地域を示すコード：

- (As) は、アジアで販売されている用紙を示します。
- (A) アジア（日本を除く）で販売されている用紙を示します。
- (J) 日本でのみ販売されている用紙を示します。
- (E) ヨーロッパ、中東、およびアフリカで販売されている用紙を示します。
- (L) 南米で販売されている用紙を示します。
- (N) 北米で販売されている用紙を示します。

製品番号に括弧が付いていない場合、その用紙はすべての地域で販売されています。

**表 4-2 用紙**

| 用紙の種類 | $g/m^2$ | 長さ | 幅 | 製品番号 |
|---|---|---|---|---|
| **HP 普通紙とコート紙** | | | | |
| HP スタンダード普通紙 | 80 | 150フィート = 45.7m | 24インチ = 610mm | Q1396A (AEJN) |
| | | | 36インチ = 914mm | Q1397A (AEJN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q1398A (AEJN) |
| | | 300フィート = 91.4m | 23.39インチ = 594mm | Q8004A (AsE) |
| | | | 33.11インチ = 841mm | Q8005A (AsE) |
| | | 574フィート = 175m | 36インチ = 914mm | Q8751A |
| HP インクジェット普通紙 | 90 | 150フィート = 45.7m | 16.54インチ = 420mm | Q1446A (J) |
| | | | 23.39インチ = 594mm | Q1445A (J) |
| | | | 24インチ = 610mm | C1860A (LN)、<br>C6035A (AEJ) |
| | | | 33.11インチ = 841mm | Q1444A (EJ) |
| | | | 36インチ = 914mm | C1861A (LN)、<br>C6036A (AEJ) |
| | | 300フィート = 91.4m | 36インチ = 914mm | C6810A |
| HP スタンダード コート紙 | 95 | 150フィート = 45.7m | 24インチ = 610mm | Q1404A (AsEN) |
| | | | 36インチ = 914mm | Q1405A (AsEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q1406A |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q1408A (AEN) |

表 4-2 用紙（続き）

| 用紙の種類 | g/m² | 長さ | 幅 | 製品番号 |
|---|---|---|---|---|
| HPコート紙 | 90 | 150フィート = 45.7m | 16.54インチ = 420mm | Q1443A (J) |
| | | | 23.39インチ = 594mm | Q1442A (EJ) |
| | | | 24インチ = 610mm | C6019B |
| | | | 33.11インチ = 841mm | Q1441A (EJ) |
| | | | 36インチ = 914mm | C6020B |
| | | | 42インチ = 1067mm | C6567B |
| | | | 54インチ = 1372mm | C6568B |
| | | 300フィート = 91.4m | 36インチ = 914mm | C6980B |
| HP スタンダード厚手コート紙 | 120 | 100フィート = 30.5m | 24インチ = 610mm | Q1412A (EAsN) |
| | | | 36インチ = 914mm | Q1413A |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q1414A (EAsN) |
| HP 厚手コート紙 | 131 | 100フィート = 30.5m | 24インチ = 610mm | C6029C (AsEN) |
| | | | 36インチ = 914mm | C6030C |
| | | | 42インチ = 1067mm | C6569C |
| | | | 54インチ = 1372mm | C6570C |
| | | | 60インチ = 1524mm | C6977C |
| | | 225フィート = 67.5m | 42インチ = 1067mm | Q1956A (EN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q1957A (EN) |
| HP プラス スーパー厚手マット紙 | 210 | 100フィート = 30.5m | 24インチ = 610mm | Q6626A (AsEN) |
| | | | 36インチ = 914mm | Q6627A (AsEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q6628A (AsEN) |
| | | | 50インチ = 1270mm | Q6629A (AsN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q6630A (AsEN) |
| HP 蛍光イエロー紙 | 100 | 150フィート = 45.7m | 36インチ = 914mm | Q1757A (E) |
| HP カラー用紙(イエロー) | 92 | 150フィート = 45.7m | 36インチ = 914mm | C1760A (EN) |
| | | | 50インチ = 1270mm | C6588A (E) |
| **HP テクニカル用紙** | | | | |
| HPモノクロ＆カラー トレーシングペーパ | 90 | 150フィート = 45.7m | 16.54インチ = 420mm | Q1440A (J) |
| | | | 23.39インチ = 594mm | Q1439A (J) |
| | | | 24インチ = 610mm | C3869A |
| | | | 33.11インチ = 841mm | Q1438A (J) |
| | | | 36インチ = 914mm | C3868A |
| HP 半透明ボンド紙 | 67 | 150フィート = 45.7m | 24インチ = 610mm | C3860A (AsN) |
| | | | 36インチ = 914mm | C3859A (NL) |
| HP ベラム紙 | 75 | 150フィート = 45.7m | 24インチ = 610mm | C3862A (N) |
| | | | 36インチ = 914mm | C3861A (NL) |
| **HP フィルム(テクニカル&グラフィクス)** | | | | |

**表 4-2　用紙（続き）**

| 用紙の種類 | g/m² | 長さ | 幅 | 製品番号 |
|---|---|---|---|---|
| HP クリア フィルム | 174 | 75フィート = 22.9m | 24インチ = 610mm | C3876A (AsEN) |
| | | | 36インチ = 914mm | C3875A |
| HPマットフィルム | 160 | 125フィート = 38.1m | 24インチ = 610mm | 51642A (AsEN) |
| | | | 36インチ = 914mm | 51642B |
| HP ホワイトポリエステルマットフィルム | 185 | 50フィート = 15m | 36インチ = 914mm | Q1736A (AEN) |
| **HP フォト用紙** | | | | |
| HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙 | 190 | 100フィート = 30.5m | 24インチ = 610mm | Q6574A |
| | | | 36インチ = 914mm | Q6575A |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q6576A |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q6578A |
| | | 200フィート = 61m | 42インチ = 1067mm | Q8754A |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q8756A |
| HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙 | 190 | 100フィート = 30.5m | 24インチ = 610mm | Q6579A |
| | | | 36インチ = 914mm | Q6580A |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q6581A |
| | | | 50インチ = 1270mm | Q6582A |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q6583A |
| | | 200フィート = 61m | 42インチ = 1067mm | Q8755A |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q8757A |
| HP プレミアム速乾光沢フォト紙 | 260 | 100フィート = 30.5m | 36インチ = 914mm | Q7993A (AsLEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q7995A (AsLEN) |
| | | | 50インチ = 1270mm | Q7997A (AsLN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q7999A (AsLEN) |
| | | 75フィート = 22.9m | 24インチ = 610mm | Q7991A (AsLEN) |
| HP プレミアム速乾半光沢フォト紙 | 260 | 100フィート = 30.5m | 36インチ = 914mm | Q7994A (AsLEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q7996A (AsLEN) |
| | | | 50インチ = 1270mm | Q7998A (AsLN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q8000A (AsLEN) |
| | | 75フィート = 22.9m | 24インチ = 610mm | Q7992A (AsLEN) |
| HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙 | 300 | 50フィート = 15.2m | 24インチ = 610mm | Q8759A (AsLEN) |
| | | | 44インチ = 1118mm | Q8840A |
| HP RCマットフォト用紙 | 200 | 100フィート = 30.5m | 36インチ = 914mm | C7946A (AEN) |
| | | | 54インチ = 1372mm | C7947A (AEN) |
| **HP プルーフ用紙** | | | | |
| HP プロフェッショナルプルーフ用光沢用紙 | 200 | 100フィート = 30.5m | 24インチ = 610mm | Q8663A (EN) |

**表 4-2　用紙（続き）**

| 用紙の種類 | g/m² | 長さ | 幅 | 製品番号 |
|---|---|---|---|---|
| HP プロフェッショナルプルーフ用半光沢用紙 | 235 | 100フィート = 30.5m | 24インチ = 610mm | C7971A (EN) |
| HP プルーフ用マット紙 | 146 | 100フィート = 30.5m | 24インチ = 610mm | Q1968A (AsEN) |
| **HP バックライト用紙** | | | | |
| HP プレミアムビビッドカラーバックライトフィルム | 285 | 100フィート = 30.5m | 36インチ = 914mm | Q8747A |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8748A |
| | | | 54インチ = 1372mm | C8749A |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q8750A |
| **HP粘着紙** | | | | |
| HP 屋内用粘着紙 | 170 | 75フィート = 22.9m | 36インチ = 914mm | Q1733A (JEN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q1735A (EN) |
| HP ポリプロピレン粘着マット紙 | 200 | 70フィート = 21.3m | 36インチ = 914mm | Q1908A (AEN) |
| HP ビニール（粘着タイプ） | 328 | 40フィート = 12.2m | 36インチ = 914mm | C6775A |
| | | | 54インチ = 1372mm | C6777A (EN) |
| HP スタンダード粘着ビニール | 290 | 66フィート = 20.1m | 36インチ = 914mm | Q8676A |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8677A |
| HP ポリプロピレン粘着光沢紙 | 176 | 75フィート = 22.9m | 36インチ = 914mm | Q8834A |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8835A |
| **HP サイン&バナー** | | | | |
| HP 耐久性ディスプレイフィルム | 205 | 50フィート = 15.2m | 36インチ = 914mm | Q6620A (EN) |
| | | | 50インチ = 1270mm | Q6621A (EN) |
| HP 速乾性屋内バナー 光沢 | 195 | 50フィート = 15.2m | 36インチ = 914mm | Q5482A (N) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q5483A (AsN) |
| | | | 50インチ = 1270mm | Q5484A (N) |
| HP ポリプロピレン マット紙 | 130 | 75フィート = 22.9m | 36インチ = 914mm | Q1903A (AEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q1904A (AEN) |
| | | | 54インチ = 1372mm | Q1906A (AEN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q1907A (AEN) |
| HP オパークスクリム | 486 | 50フィート = 15.2m | 36インチ = 914mm | Q1898B |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q1899B |
| | | | 54インチ = 1372mm | Q1901B |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q1902B |
| HP バナーマテリアル（Tyvek®） | 140 | 50フィート = 15.2m | 36インチ = 914mm | C6787A |
| | | | 54インチ = 1372mm | C6789A |
| HP屋外用紙 | 145 | 100フィート = 30.5m | 36インチ = 914mm | Q1730A (EN) |
| HP屋外用ﾌﾞﾙｰﾊﾞｯｸﾋﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ紙 | 140 | 100フィート = 30.5m | 36インチ = 914mm | C7949A (EN) |
| | | | 54インチ = 1372mm | C7950A (EN) |

表 4-2 用紙（続き）

| 用紙の種類 | g/m² | 長さ | 幅 | 製品番号 |
|---|---|---|---|---|
| **ファブリック/テキスタイル用紙** | | | | |
| HP 耐久性フラッグファブリック | 110 | 33フィート = 10m | 36インチ = 914mm | Q6624A (EN) |
| HP ポリエステルファブリック 110g 11.4mil | 110（裏地なし）<br>185（裏地あり） | 33フィート = 10m | 36インチ = 914mm | Q1745A (EN) |
| HP シルクサテンファブリック | 63.5（裏地なし）<br>160（裏地あり） | 33フィート = 10m | 36インチ = 914mm | Q1748A (EN) |
| **HP Fine Art Printing Material** | | | | |
| HP コレクター半光沢キャンバス | 400 | 20フィート = 6.1m | 24インチ = 610mm | Q8708A (AsLEN) |
| | | 50フィート = 15.2m | 36インチ = 914mm | Q8709A (AsLEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8710A (AsLEN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q8711A (AsLEN) |
| HP プロフェッショナルマットキャンバス | 430 | 20フィート = 6.1m | 24インチ = 610mm | Q8673A (LEN) |
| | | 50フィート = 15.2m | 36インチ = 914mm | Q8671A (LEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8674A (LEN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q8672A (LEN) |
| HP アーティストマットキャンバス | 380 | 20フィート = 6.1m | 24インチ = 610mm | Q8704A (AsLEN) |
| | | 50フィート = 15.2m | 36インチ = 914mm | Q8705A (AsLEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8706A (AsLEN) |
| | | | 60インチ = 1524mm | Q8707A (AsLEN) |
| HP スタンダードマットキャンバス | 350 | 20フィート = 6.1m | 24インチ = 610mm | Q8712A (AsLEN) |
| | | 50フィート = 15.2m | 36インチ = 914mm | Q8713A (AsLEN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8714A (AsLEN) |
| HP キャンバス用紙 180g | 180 | 35フィート = 10.7m | 36インチ = 914mm | Q1724A (AEN) |
| HP 水彩用アート紙 240g | 240 | 35フィート = 10.7m | 24インチ = 610mm | Q8741A (EN) |
| | | | 36インチ = 914mm | Q1703A (EN) |
| HP 水彩用紙（Hahnemühle®） | 210 | 38フィート = 11.6m | 36インチ = 914mm | Q1984A (EN) |
| HP スムースファインアート紙（Hahnemühle®） | 265 | 35フィート = 10.7m | 24インチ = 610mm | Q8732A (EJN) |
| | | | 36インチ = 914mm | Q1985A (EN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8733A (EJN) |
| HP ファインアート紙（Hahnemühle®） | 265 | 35フィート = 10.7m | 24インチ = 610mm | Q8636A (EN) |
| | | | 36インチ = 914mm | Q1937A (EN) |
| | | | 42インチ = 1067mm | Q8638A (EN) |
| HP リトグラフ調マット紙 | 270 | 100フィート = 30.5m | 36インチ = 914mm | Q7973A (EN) |
| | | | 24インチ = 610mm | Q7972A |

表 4-2　用紙（続き）

| 用紙の種類 | g/m² | 長さ | 幅 | 製品番号 |
|---|---|---|---|---|
| **日本のみのHP用紙** | | | | |
| ユポ（合成紙） | 81.5 | 100フィート = 30.5m | 36インチ = 914mm | Q1432A（J） |
| | | | 54インチ = 1372mm | Q1434A（J） |

## 推奨しない用紙の種類

通常、HP でサポートしていない用紙の種類もプリンタで使用できます。ただし、以下の種類の用紙では、適切な結果を得られない可能性が高くなります。

- 膨張しやすいフォト用紙
- ブローシャ用紙

# 5　使用方法（インクシステム）

# インクシステム コンポーネント

## インクカートリッジ

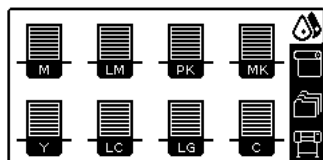
プリンタは8つのインクカートリッジから、マゼンタ、ライトマゼンタ、フォトブラック、マットブラック、イエロー、ライトシアン、ライトグレー、およびシアンの各インクをプリントヘッドに供給します。各カートリッジの容量は775mlです。

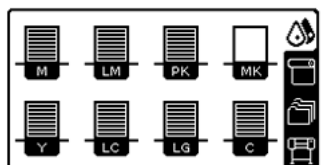
インクカートリッジには、保守やクリーニングは必要ありません。各インクカートリッジは、取り付ける前によく振ってからスロットにしっかりと差し込むと、プリントヘッドにインクが供給されます。プリントヘッドでページに転写されるインクの量が調節されるため、インクの残量が少なくなった場合でも、高品質の印刷結果が得られます。

**注意：** 静電気の放電に対して敏感なため、インクカートリッジを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスはESDセンシティブ デバイスと呼ばれます。315 ページの 用語集 を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害の1つとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。

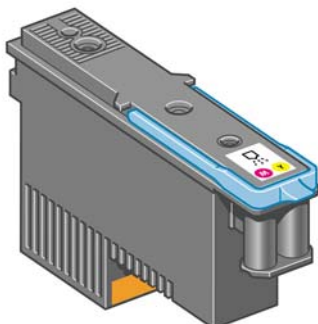
## インクカートリッジの交換

アイコンをハイライトさせると、すべてのインクカートリッジのインク残量を確認できます。

印刷可能です

カートリッジのインク残量が少なくなると、フロントパネルに警告メッセージが表示されます。カートリッジが空になると、印刷が停止し、フロントパネルに原因を示すメッセージが表示されます。

MKｶｰﾄﾘｯｼﾞがｲﾝｸ切れです

カートリッジが空になった場合は、新しいHPのカートリッジと交換することをお勧めします。98 ページの 「インク サプライ品について 」、77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」、および79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」を参照してください。

## プリントヘッド

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。各プリントヘッドにはインクカートリッジの接点とジェット噴射ノズルが2つずつありますが、これは、1つのプリントヘッドが2つのインクカートリッジに対応しているすることを意味します。たとえば、下のプリントヘッドの図には、マゼンタおよびイエローのインクカートリッジからインクを吸引してジェット噴射するプリントヘッドが示されています。

プリントヘッドの耐久性は非常に優れており、インクカートリッジを交換するたびにプリントヘッドを交換する必要はありません。プリントヘッドにより、インクカートリッジのインク残量が少なくなった場合でも品質は高水準に維持されます。

最適な印刷品質を維持するため、自動的に一定の間隔でプリントヘッドがテストされ、必要に応じて修復されます。この処理には少し時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合もあります。

最終的にプリントヘッドの交換が必要になると、フロントパネルにメッセージが表示されます。

**注意：** 静電気の放電に対して敏感なため、インクカートリッジを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスはESDセンシティブ デバイスと呼ばれます。315 ページの 用語集 を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害の1つとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。

## 保守カートリッジ

プリントヘッド クリーナは、プリントヘッドのクリーニングと保守に使用し、印刷品質を最高水準に保ちます。また、プリントヘッドの未使用時に、プリントヘッドを保護して乾くのを防ぎます。

**注記：** 保守カートリッジには液体が含まれています。したがって、保守カートリッジは平らな面に上向きにして保管します。

# インク システムに関するヒント

最高の結果を得るために、以下の説明に従ってください。

- インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジは、パッケージに記載されている期限日より前に取り付けます。インクカートリッジの使用期限は、カートリッジに記載されている製造日プラス30ヶ月です。
- 取り付け作業中は、フロントパネルに表示される指示に従います。
- プリンタと保守カートリッジが、プリントヘッドを自動的にクリーニングできるようにします。
- インクカートリッジとプリントヘッドは、できる限り取り外さないでください。
- 印刷中は、インクカートリッジを決して取り外さないでください。必ずプリンタ側でインクカートリッジ取り外しの準備ができた状態で取り外してください。フロントパネルに、取り外しと取り付けの手順が表示されます（または、77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」およびび79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」を参照）。
- インク システム消耗品を廃棄する際は、適用されるすべての法律や規則に従ってください。

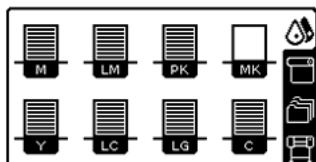
**注記：** インクカートリッジとプリントヘッドは、よく振ってから取り付けます。79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」および82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。

# インク システム コンポーネントの取り扱い

## インクカートリッジを取り外す

インクカートリッジは、次の2つの理由がある場合、取り外す必要があります。

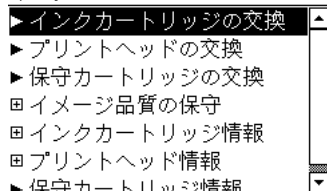
- インクカートリッジの残量が残りわずかなため、無人での印刷を行うのに十分な量のインクカートリッジと交換する必要がある場合。交換前のカートリッジに残っているインクは、別の機会に使い切ることができます。
- インクカートリッジが空になったか問題があり、印刷を続行するために交換する場合

MKカートリッジがインク切れです

**注意：** インクカートリッジの取り外し処理は、フロントパネルで行う必要があります。インクカートリッジはフロントパネルで指示があるまで取り外さないでください。

**注意：** インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

**警告！** プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキ レバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**インクカートリッジの交換**］を選択します。

   インク
   ▶ インクカートリッジの交換
   ▶ プリントヘッドの交換
   ▶ 保守カートリッジの交換
   ⊞ イメージ品質の保守
   ⊞ インクカートリッジ情報
   ⊞ プリントヘッド情報
   ▶ 保守カートリッジ情報

2. 取り外すカートリッジの前面にある青いタブをつかみます。

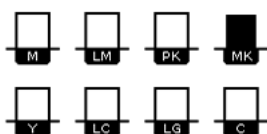
3. 青いタブを下に引いてから手前に向けて外側に引き出します。

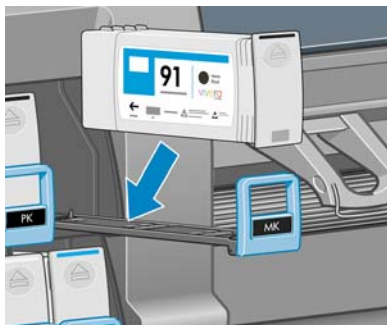
4. カートリッジが引き出しに載って出てきます。

5. インクカートリッジを引き出しから取り出します。

**注記：** プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着していることがあります。

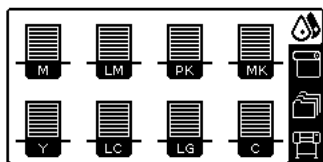
**注記：** 一部使用済みのインクカートリッジを保管しなければならないときは、プリンタに挿入されていたときと同じポジションで保管します。立てて保管されていた一部使用済みのインクカートリッジは引き続き使用しないでください。

6. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。

## インクカートリッジを取り付ける

1. 新しいインクカートリッジを用意し、ラベルを参照してインクの色を確認してください。ラベルが手前から見て上部に見えるようにインクカートリッジを持ちます。
2. プリンタの空いたスロットの上部にあるラベルの色と、カートリッジのラベルの色が同じであることを確認します。
3. カートリッジを15秒間よく振ります。
4. インクカートリッジを、カートリッジ用の引き出しに取り付けます。

5. カートリッジを設置した引き出しをスロットの中にスライドさせ、所定の位置に固定されるまで押し込みます。

取り付けにくい場合は、232 ページの 「インクカートリッジを取り付けられない 」を参照してください。

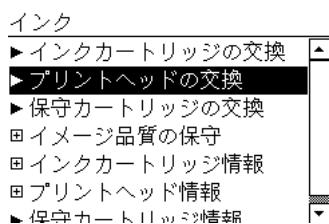
6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。

印刷可能です

## プリントヘッドを取り外す

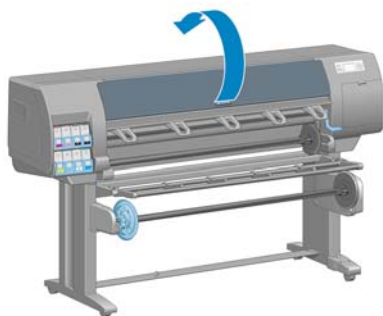
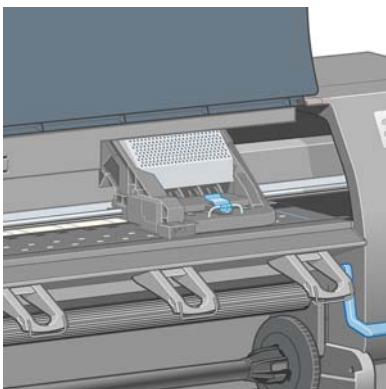
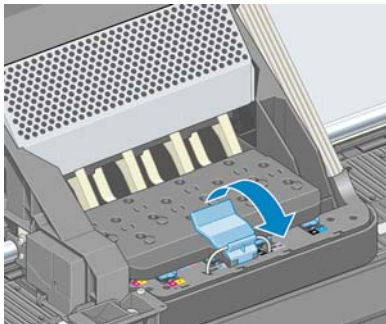
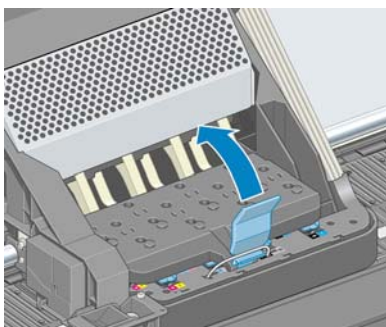
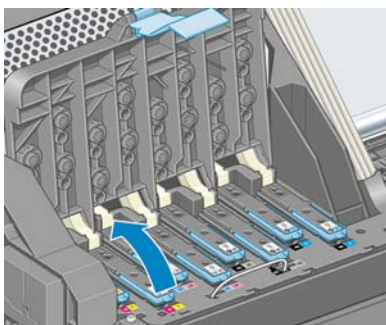
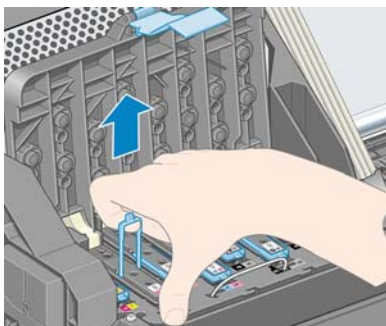
**警告！** プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキ レバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

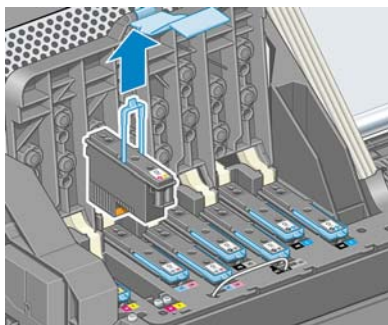
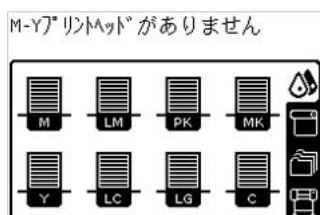
プリントヘッドの交換は、必ず、プリンタの背面にある電源スイッチをオンにしてから行ってください。

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**プリントヘッドの交換**］を選択します。

   インク
   - ▶ インクカートリッジの交換
   - ▶ プリントヘッドの交換
   - ▶ 保守カートリッジの交換
   - ⊞ イメージ品質の保守
   - ⊞ インクカートリッジ情報
   - ⊞ プリントヘッド情報

2. キャリッジが適切な位置に移動します。

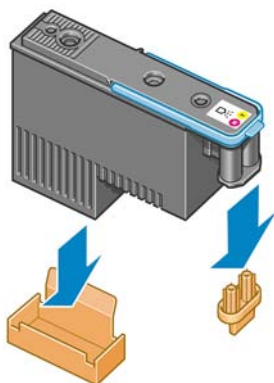
   **注意：** キャリッジは、取り外し位置に移動してから3分以上、プリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

3. キャリッジが停止したら、プリンタのウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。

4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。

5. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。

6. カバーを持ち上げます。これでプリントヘッドにアクセスできるようになります。

7. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

8. 持ち上げた青いハンドルを使用して、プリントヘッドを静かに取り外します。

9. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルをゆっくりと引き上げます。

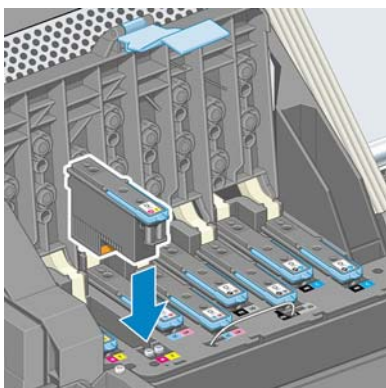
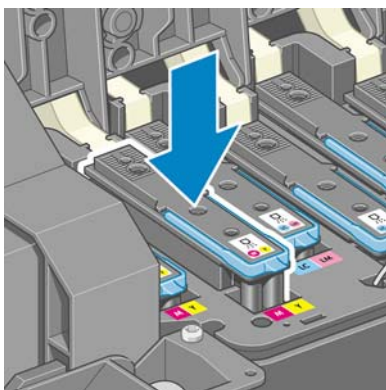
**注意：** 急いで引き上げないでください。プリントヘッドに損傷を与える原因となります。

10. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。

## プリントヘッドを取り付ける

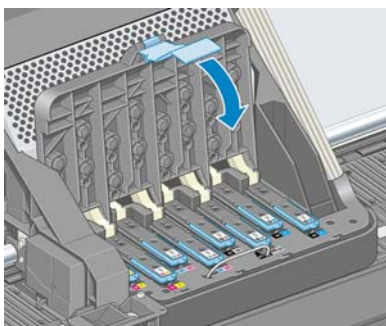
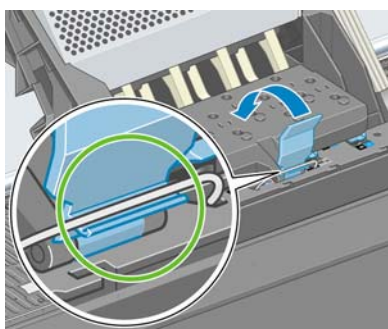
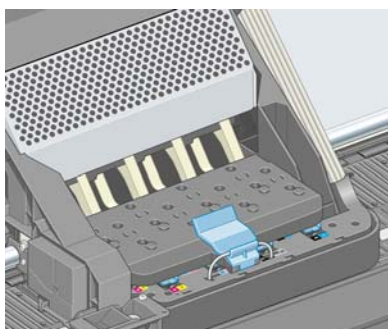
1. 新しいプリントヘッドの場合、保護キャップを取り外す前にプリントヘッドをよく振ります。プリントヘッドを上向きにしたまま（保護キャップが下向き）、スムーズな動作で上下に約15秒間よく振ります。

**注記：** 破損の原因となるため、プリントヘッドを振っている間は物にぶつけないようにしてください。

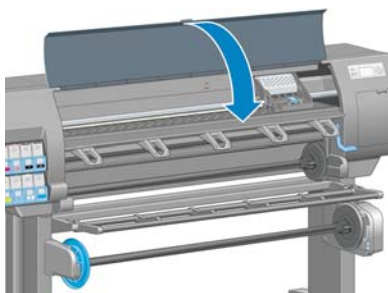
2. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。

3. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジ スロットのラベルの色が合っていることを確認してください。

4. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

**注意：** プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

5. 矢印のとおりに、プリントヘッドを下に押し込みます。

**注意：** 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。取り付けにくい場合は、233 ページの 「プリントヘッドを取り付けられない 」を参照してください。

6. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジ カバーを閉じます。

7. 青いハンドルの先端が、キャリッジの手前側のワイヤー ループに掛かっていることを確認します。

8. ハンドルをキャリッジ カバーの上まで押し下げます。

すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

注記： プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに「**交換して下さい**」というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

9. ウィンドウを閉じます。

10. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理はデフォルトで18分ほどかかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、処理にかかる時間が延び、最大で30分ほどかかることがあります。プリントヘッドを1つだけ交換した場合は、10～20分ほどかかります。すべてのプリントヘッドの確認と準備が終了した後、用紙が取り付けられている場合は、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。

## プリントヘッドをクリーニング（修復）する

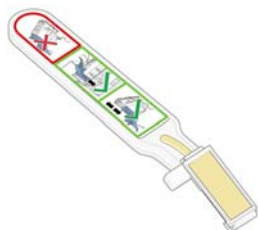
プリントヘッドのクリーニングを行うと、問題を解決できる場合があります。クリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］–［**プリントヘッドのクリーニング**］を選択します。クリーニングを行うプリントヘッドを指定します。すべてのプリントヘッド、または一部のプリントヘッドをクリーニングできます。以下のオプションから選択します。

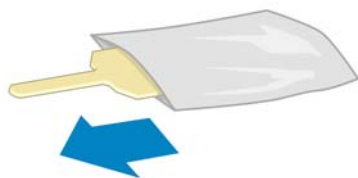
- すべてのクリーニング
- M-Yのクリーニング
- LM-LCのクリーニング
- PK-LGのクリーニング
- MK-Cのクリーニング
- インクの除去

すべてのプリントヘッドのクリーニングには、5分ほどかかります。すべてのプリントヘッドのクリーニングには、3分ほどかかります。この処理には6分ほどかかります。

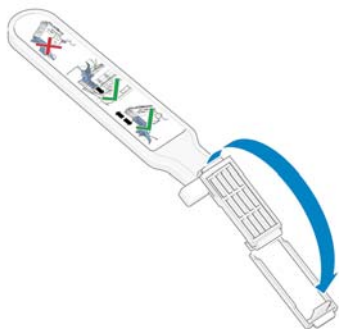
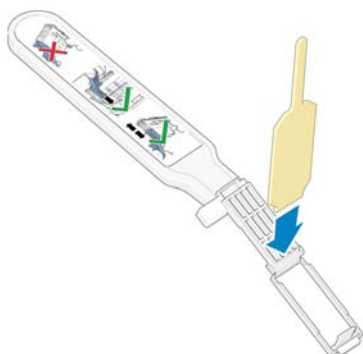
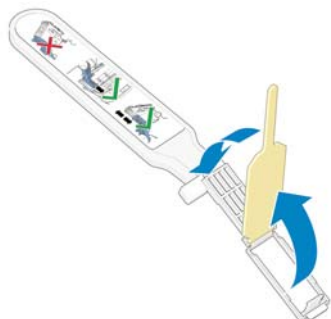
## プリントヘッドの電極をクリーニングする

プリントヘッドを取り付けてもプリンタがプリントヘッドを認識しないことがあります。これは、プリントヘッドとプリントヘッド キャリッジが接触する電極部分に、インクがたまって付着していることが原因です。このような場合は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングすることをお勧めします。しかし、特に問題がなければ、電極部分を定期的にクリーニングする必要はありません。

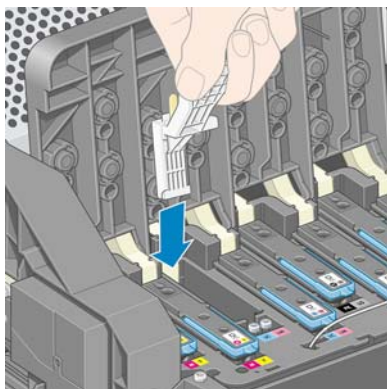
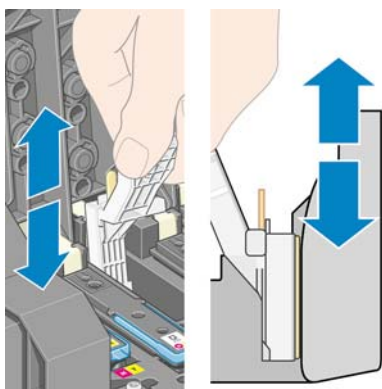
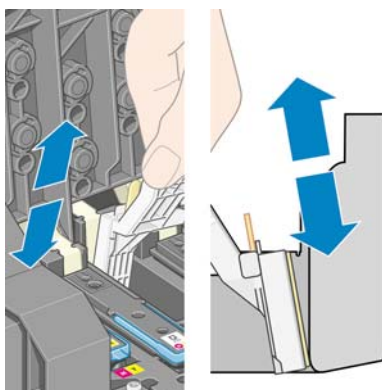
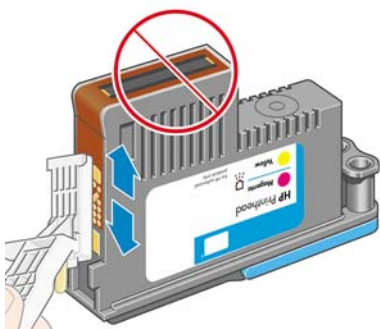
プリンタのメンテナンス キット ボックスには、キャリッジ接点ワイパーが入っています。

「**再度取り付けて下さい**」または「**交換して下さい**」というメッセージがプリントヘッドの横にあるフロントパネルに表示され続ける場合、キャリッジ接点ワイパーを使用して、プリントヘッド キャリッジとプリントヘッドの両方の電極部分をクリーニングします。

1. 湿った新しい交換スポンジを袋から取り出します。

スポンジの替えはワイパーと一緒にボックスに入っています。スポンジの替えをすべて使い切り、さらに必要な場合は、日本HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。

使用方法（インクシステム）

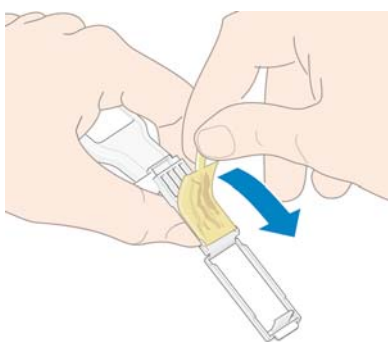
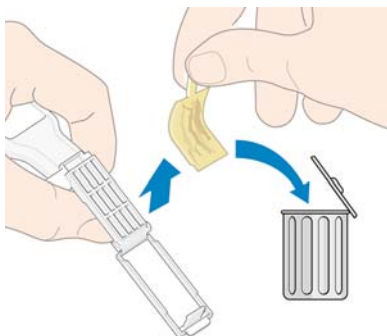
2. キャリッジ接点ワイパーを開きます。

3. スポンジの短いほうの端をキャリッジ接点ワイパーの取り付け用スロットに入れてスポンジを取り付けます。

4. キャリッジ接点ワイパーを閉じて、スポンジをはさみ込みます。

5. プリントヘッド キャリッジのラッチを開き、フロントパネルに表示されている問題の原因となるプリントヘッドを取り外します。79 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」を参照してください。

6. キャリッジ接点ワイパーをプリントヘッド スロットの奥に差し込みます。スロットの奥の電極部分とスチール製のバネの間に、スポンジが電極の方を向くようにワイパーを入れ、電極を拭きます。このとき、スロットの底にたまったインクをすくい上げないようにしてください。

**注意：** キャリッジはプリンタの中央部分に7分を超えて放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

7. スポンジを軽く動かし、フレックス コネクタの底まで（ワイパーが止まるところまで挿入して）、電極を拭きます。

8. すべての電極を慎重にクリーニングします。コネクタの底の部分の電極も忘れずにクリーニングしてください。

9. プリントヘッドが新しいものではない場合は、同じスポンジを使用して、プリントヘッドの下側にある電極ストリップをクリーニングします。上側の電極には触らないでください。

注意： 破損しやすいため、ノズルがある面には触らないでください。

10. 両方のコネクタが乾くまでしばらく待ちます。乾いたら、プリントヘッドをプリントヘッド キャリッジに取り付けます。82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。

11. クリーニング作業が完了したら、スポンジのタブを引いてキャリッジ接点ワイパーを開きます。

12. キャリッジ接点ワイパーから汚れたスポンジを取り外します。

13. 手や服にインクが付かないように、汚れたスポンジは適切な場所に捨ててください。

フロントパネルに「**再度取付けて下さい**」または「**交換して下さい**」というメッセージがまだ表示される場合は、プリントヘッドを交換するか、日本HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。

## プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッドを交換する毎に、プリントヘッドの軸合わせが行われます。プリントヘッドを交換した際に用紙が取り付けられていない場合は、次に用紙を取り付けたときに軸合わせが行われます。

また、プリントヘッドの軸合わせは、プリントヘッドのステータス プロットで軸合わせエラーが確認された場合にも行う必要があります。89 ページの 「プリントヘッドのステータス プロットを使用する 」を参照してください。

1. 不透明の普通紙がプリンタに取り付けられていることを確認します。半透明ボンド紙、およびクリア フィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。

2. プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されない場合、手動で実行するには、フロントパネルでアイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］－［**プリントヘッドの軸合わせ**］を選択します。

   処理には約10分かかりますが、イメージの印刷中を除き、ただちに実行されます。印刷ジョブが処理中の場合は、現在の印刷ジョブの終了後すぐに軸合わせが実行されます。

   イメージ品質の保守
   ▶ カラーキャリブレーション
   ▶ プリントヘッドの軸合わせ
   ▶ イメージ診断の印刷
   ⊞ 拡張精度ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
   ⊞ プリントヘッドのｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
   ▶ ﾌﾟﾛﾌｧｲﾘﾝｸﾞ ｼｰﾄの取り付け

**注記：** ロール紙を初めて使用するかまたはそれに近い場合、プリントヘッドの軸合わせが開始される前に最大3m（約10フィート）の用紙が排出される可能性があるというメッセージが、フロントパネルに表示されます。これは、正常に軸合わせを行うために必要な処理です。プリントヘッドの軸合わせを続行して必要な用紙をプリンタから排出させるか、後で軸合わせを行うか、軸合わせをキャンセルするか選択できます。

## プリントヘッドのステータス プロットを使用する

プリントヘッドのステータス プロットでは、印刷品質の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起こしているプリントヘッドがないかどうかを判断できます。

## プリントヘッドのステータス プロット

プリントヘッドのステータス プロットを印刷するには、以下の手順を実行します。

1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. 選択した用紙の種類がプリンタに取り付けられている用紙の種類と同じかどうかを確認します。
3. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］－［**イメージ診断の印刷**］を選択します。

プリントヘッドのステータス プロットの印刷には2分ほどかかります。

## プリントヘッドのステータス プロットを特定する

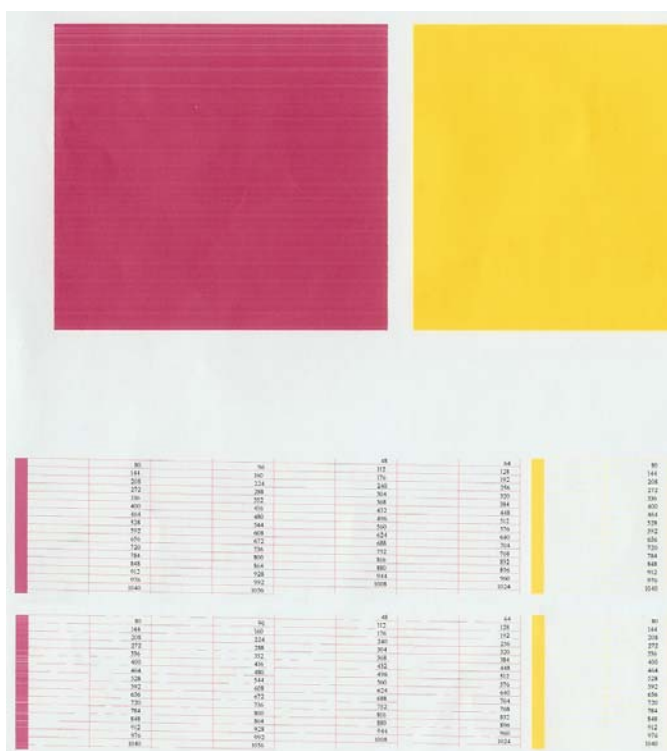
印刷は2つの部分に分かれており、両方でプリントヘッドのパフォーマンスがテストされます。

- パート1（上部）は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各プリントヘッドに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート2（下部）は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート1を補完するものであり、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数を検出することを目的としています。

最初に印刷の上部を見てください。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

次に、印刷の下部を見てください。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

上部に水平の線が表示され、下部の破線の一部が印刷されない場合、問題のあるプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、下部の破線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

表示されているグラフィックは、プリントヘッド2が悪い状態にあることを示しています。

## 解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします。237 ページの 「プリントヘッドをクリーニングする 」を参照してください。次に、プリントヘッドのステータス プロットを再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。

2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてからプリントヘッドのステータス プロットを再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。

3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください。237 ページの 「プリントヘッドをクリーニングする 」を参照してください。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。

4. 問題が解決しない場合は、問題のあるプリントヘッドを交換します。77 ページの 「インク システム コンポーネントの取り扱い 」を参照してください。

## 問題が解決しない場合の処置

この章のヒントを適用しても印刷品質の問題が解決しない場合は、さらに次のヒントも検討してください。

- 印刷品質オプションのレベルを上げます。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。

- 印刷に使用しているドライバを確認します。HP製以外のドライバをご使用の場合、ドライバ ベンダーにお問い合わせの上、問題についてご確認ください。回避方法が許容範囲内ならば、適切なHPドライバを試します。最新のHPドライバは http://www.hp.com/support/japan からダウンロードできます。

- HP製以外のRIP (Raster Image Processing) を使用している場合、設定が不適切である可能性があります。RIPに収録されているマニュアルを参照してください。

- プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。

- ソフトウェア プログラムが正しく設定されているかどうかを確認します。
- HPサポートへお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。

## 保守カートリッジを取り外す

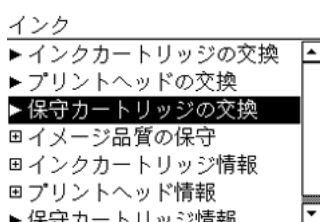
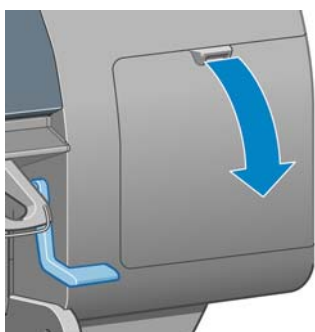
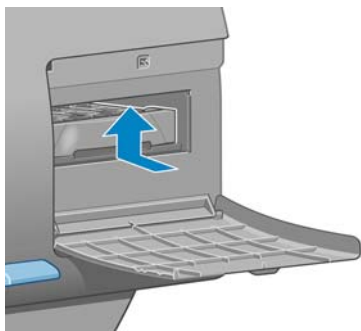
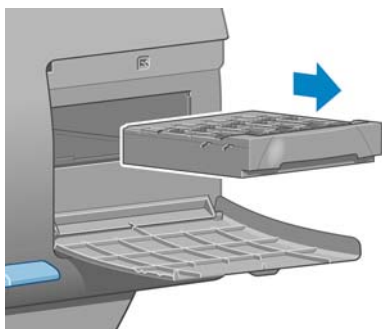
保守カートリッジの交換が必要な場合、フロントパネルにメッセージが表示されます。保守カートリッジを取り外す際は、次の注意事項に従ってください。

- 手にインクが付かないように気を付けてください。取り外した保守カートリッジには、中にインクが残っていたり、外側にインクが付着していることがあります。
- 取り外した保守カートリッジを扱う際、また保管する際には、インクがこぼれないように、必ず上向きにするようにしてください。

**注意：** 保守カートリッジがほぼ一杯の場合はフロントパネルにメッセージが表示されます。完全に一杯になると、もう一度フロントパネルにメッセージが表示され、交換が必要となります。フロントパネルの [OK] ボタンを押して警告を無視し、印刷を続行することができます。ただし、フロントパネルに表示されたら、保守カートリッジを交換することを強くお勧めします。警告を無視すると、プリンタに重大な損傷を与える可能性があります。

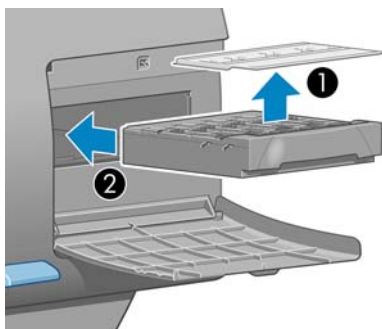
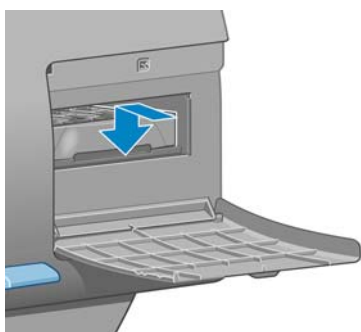
**警告！** プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に [**保守カートリッジの交換**] を選択します。

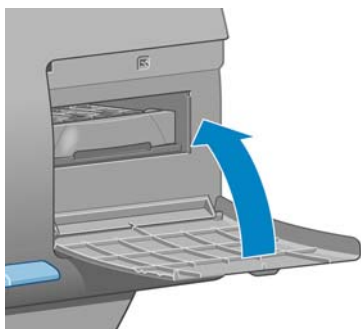
   インク
   ▶ インクカートリッジの交換
   ▶ プリントヘッドの交換
   ▶ 保守カートリッジの交換
   ⊞ イメージ品質の保守
   ⊞ インクカートリッジ情報
   ⊞ プリントヘッド情報
   ▶ 保守カートリッジ情報

2. 保守カートリッジは、プリンタ前面のフロントパネルの下に位置するスロットにあります。ドアを開きます。

3. 保守カートリッジの前面にハンドルがあります。カートリッジを取り外すには、矢印のように奥に押しながら上向きに押し上げます。カートリッジが固定位置から外れます。

4. 保守カートリッジを持ち上げてスロットから取り外し、水平に取り出します。

93 ページの 「保守カートリッジを取り付ける 」も参照してください。

## 保守カートリッジを取り付ける

新しい保守カートリッジが入っていた袋は、古い保守カートリッジを捨てる際に使用できます。

1. 保守カートリッジを、該当するスロットに、下の図の矢印の方向に挿入します。

2. 保守カートリッジが奥まで入ったら、下の図の矢印のように、奥に押しながらカチッと音がするまで下方向に押し下げます。

取り付けにくい場合は、234 ページの 「保守カートリッジを取り付けられない 」を参照してください。

**注記：** ドアを閉めるまで、フロントパネルに新しい保守カートリッジは表示されません。

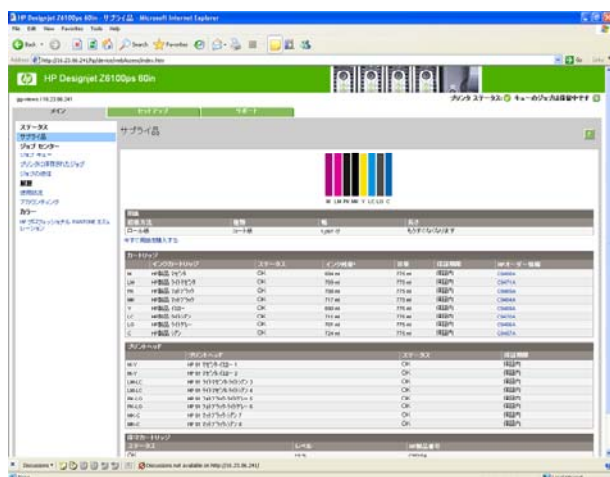
3. 保守カートリッジをプリンタに取り付け終えたら、ドアを閉めます。

**注記：** 印刷を続行するには、インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジをすべて取り付ける必要があります。

4. 用紙が取り付けられていない場合は、フロントパネルに用紙の取り付けを指示するメッセージが表示されます。

**注記：** サプライ品を交換したら、プリンタのウィンドウと右のドアを必ず閉めてください。開いていると印刷は開始されません。

## インク システムのステータスを確認する

1. 内蔵Webサーバにアクセスします。31 ページの 「内蔵Webサーバ設定オプション」を参照してください。

2. ［メイン］タブの［サプライ品］ページに移動します。

［サプライ品］ページには、インクカートリッジ（インク残量など）、プリントヘッド、保守カートリッジ、および取り付けられている用紙に関するステータスが表示されます。

## インクカートリッジのステータスを確認する

インクカートリッジのインク量を表示するには、フロントパネルに移動し、アイコンを選択します。

インクカートリッジの詳細を表示するには、フロントパネルのインクのメニュー、HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）を使用します。

### インクのメニューの使用手順

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**インクカートリッジ情報**］を選択します。
2. 情報を確認するカートリッジを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
   - カラー
   - 製品名
   - 製品番号
   - シリアル番号
   - ステータス
   - インク残量（該当する場合）
   - 容量
   - 使用期限日付
   - 保証期限
   - 製造元

### HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) での手順

- HP Easy Printer Care (Windows) では、[**概要**] タブに移動すると、[**サプライ品ステータス**] - [**カートリッジ**] の下に、各カートリッジのステータスが表示されます。
- HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) では、[**情報**] - [**プリンタ ステータス**] を選択します。

## プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [**プリントヘッド情報**] を選択します。。
2. 情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
   - カラー
   - 製品名
   - 製品番号
   - シリアル番号
   - ステータス (255 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ 」を参照)
   - 使用済みインク量
   - 保証期限

HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) を使用すると、コンピュータ上で上記の情報について確認できます。

**注記：** 保証期限が「**保証に関する注記を参照**」の場合は、HP製以外のインクが使用されていることを示します。「HP製以外」のインクカートリッジを使用した場合、サービスおよび修理は無償保証の対象になりません。保証の詳細は、法律情報を参照してください。

## プリンタの使用状況に関する情報を確認する

プリンタの使用状況を確認するには、情報が使用できます。

**注記：** 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

### HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) でのプリンタ情報

1. HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスします。33 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) の設定オプション 」を参照してください。
2. プリンタの使用に関する全状況を表示するには、[使用状況] ウィンドウに移動します。
3. Windowsでは、[**概要**] タブに移動し、[**プリンタ使用状況**] リンクをクリックします。

   Mac OSでは、[**情報**] - [**プリンタ使用状況**] を選択し、[**検索**] ボタンをクリックします。

## 内蔵Webサーバでのプリンタ情報

1. 内蔵Webサーバにアクセスします（31 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」を参照）。
2. ［**メイン**］タブの［使用状況］ページに移動します。

使用方法（インクシステム）

# インク サプライ品について

このプリンタ用にご注文いただけるインク サプライ品は以下のとおりです。

**表 5-1 インクカートリッジ**

| カートリッジ | 容量（ml） | 製品番号 |
|---|---|---|
| HP91 インクカートリッジ マットブラック | 775 | C9464A |
| HP91 インクカートリッジ フォトブラック | 775 | C9465A |
| HP91 インクカートリッジ ライトグレー | 775 | C9466A |
| HP91 インクカートリッジ シアン | 775 | C9467A |
| HP91 インクカートリッジ マゼンタ | 775 | C9468A |
| HP91 インクカートリッジ イエロー | 775 | C9469A |
| HP91 インクカートリッジ ライトシアン | 775 | C9470A |
| HP91 インクカートリッジ ライトマゼンタ | 775 | C9471A |

**表 5-2 プリントヘッド**

| プリントヘッド | 製品番号 |
|---|---|
| HP91 プリントヘッド マットブラック/シアン | C9460A |
| HP91 プリントヘッド マゼンタ/イエロー | C9461A |
| HP91 プリントヘッド ライトマゼンタ/ライトシアン | C9462A |
| HP91 プリントヘッド フォトブラック/ライトグレー | C9463A |

**表 5-3 保守カートリッジ**

| 保守カートリッジ | 製品番号 |
|---|---|
| HP91 保守カートリッジ | C9518A |

# 6 印刷オプション

# 印刷品質の選択

このプリンタには、さまざまな印刷品質オプションが用意されています。高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下することがあります。このプリンタには、4つの異なる印刷品質オプションが用意されています。

注記： プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

注記： プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバから印刷品質を指定するには、［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページにアクセスします。［**ジョブの設定**］ツリーで、［**基本設定**］を選択し、次に［**印刷品質**］プルダウン メニューで、［**高速**］、［**標準-高速**］、［**標準**］、または［**高品質**］から設定を1つ選択します。

注記： 内蔵Webサーバの［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

印刷品質は、以下の方法で指定することができます。

- Windows HP-GL/2またはPostScriptドライバの場合：［**用紙/品質**］タブに移動して［印刷品質］セクションを確認します。［**標準オプション**］を選択している場合は、スライダを使用して品質および速度間の調整が可能です。［**カスタム設定**］品質オプションを選択した場合［**高速**］、［**標準-高速**］、［**標準**］または［**高品質**］が選択できます。
- Mac OSの［**プリント**］ダイアログの場合：［**イメージ品質**］パネルを開きます。［**標準**］品質オプションを選択している場合は、スライダを使用して品質および速度間の調整が可能です。［**カスタム設定**］品質オプションを選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。

注記： Windowsドライバのダイアログ ボックスでは、ジョブに対するレンダリング解像度が［**カスタム印刷品質オプション**］ダイアログ ボックスに表示されます。Mac OSの［**プリント**］ダイアログでは、［**一覧**］パネルに表示されます。

## フロントパネルを使用する

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］-［**品質レベルの選択**］を選択します。

# ページ サイズを選択する

ページ サイズは、内蔵Webサーバ、ドライバ、またはフロントパネルから選択します。ここでは、文書が作成された用紙サイズを選択する必要があります。ドキュメントのサイズを変更して印刷できます。105 ページの 「印刷のサイズを変更する 」を参照してください。

注記： コンピュータでページ サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定したページ サイズよりもこちらが優先されます。

## カスタムページ サイズ

ドライバまたは内蔵Webサーバをから、カスタム ページ サイズを定義することができます。カスタムページ サイズには2種類あり、作成方法により区別されます。したがって、アクセスできるユーザも異なります。

- カスタム用紙：カスタム用紙とはカスタム ページ サイズのことで、ドライバで定義され、ユーザのハード ディスクに常駐します。したがって、カスタム用紙はネットワーク上の別のユーザは利用できません。
- プリンタ フォーム：プリンタ フォームは内蔵Webサーバから定義されたカスタム ページ サイズのことです。該当する印刷キューを共有するすべてのネットワーク上のユーザが参照できます。ユーザは、プリンタ フォームを作成するには少なくとも、印刷オペレータのネットワーク権限が必要です。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバからページ サイズを選択するには、[**メイン**] タブの [**ジョブの送信**] ページにアクセスします。[**ジョブの設定**] ツリーで、[**詳細設定**] - [**用紙**] - [**ページ サイズ**] の順に選択し、次に [**標準**] または [**カスタム**] のページ サイズを選択します。

- 標準：プルダウン メニューを使用して、[**サイズ**] と [**印刷の向き**] を設定します。
- カスタム：自由にテキストが入力可能なフィールドを使用して、[**幅**] と [**長さ**] を指定し、[**ページ サイズ**] プルダウン メニューを使用して測定単位を指定します。

注記： 内蔵Webサーバの [**ファイルを追加**] ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

ページ サイズは、以下の方法で選択します。

- Windows HP-GL/2またはPostScriptドライバの場合：[**用紙/品質**] タブを選択し、次に [**文書サイズ**] を選択します。
- Mac OS用の [プリント] ダイアログの場合：[**ファイル**] メニューから [**ページ設定**] を選択し、[**対象プリンタ**] プルダウン メニューで、使用するプリンタを選択し、次に [**用紙サイズ**] を選択します。

用紙サイズのリストに表示されない標準以外の用紙サイズを定義するには、以下の手順を実行します。

- Windows および PostScript ドライバの場合、2つの異なる方法のうちの1つを使用します。
  - ドライバのダイアログで、[**用紙/品質**] タブの [**文書サイズ**] プルダウン メニューから [**ユーザー設定**] を選択します。カスタム サイズの名前を入力し、[**保存**] をクリックします。次に、用紙の寸法を指定してから [**OK**] をクリックして、カスタム用紙サイズを保存します。

    **注記：** 定義したカスタム用紙サイズは、[印刷設定/プロパティ] をいったん終了してから再度開くまでは、カスタム サイズのリストで選択肢として使用できません。次に、[**文書サイズ**] プルダウン メニューから [**詳細**] を選択すると、リストからカスタム用紙サイズを見つけることができます。

  - [**スタート**] メニューで [**プリンタとFax**] を選択し、[**ファイル**] メニューで [**サーバーのプロパティ**] を選択します。[**用紙**] タブで [**新しい用紙を作成する**] チェック ボックスをクリックして、新しい用紙の名前と寸法を指定し、[**用紙の保存**] をクリックします。
- Mac OS X 10.4では、[**ページ設定**] ダイアログ ボックスで [**用紙サイズ**] – [**カスタムサイズを管理**] を選択します。
- Mac OS X 10.2または10.3では、[**ページ設定**] ダイアログ ボックスで [**設定**] – [**用紙サイズ (カスタム)**] を選択します。

## フロントパネルを使用する

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [**印刷設定**] – [**用紙オプション**] – [**用紙サイズの選択**] を選択します。

# マージンとレイアウトのオプションを調整する

プリンタのマージンによって、イメージの端とカット紙の端との間の領域が設定されます。使用できるマージン設定の正確なサイズ（㎜）については、271 ページの 表 17-4 「マージン設定 」を参照してください。

マージン調整に使用する方法により、以下のレイアウト オプションのいくつかが使用できます。

- **[標準]**。イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。イメージは、マージン部分より小さいサイズにする必要があります。
- **[オーバーサイズ]**。イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- **[内容をマージンでクリップ]**。内容に白いフチがあり、サイズがドライバで選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによってマージンとして使用され、ドライバで選択したページサイズと同じサイズのページが得られます。

どのマージンとレイアウトのオプションが目的に最も合っているか判断する上でのヒントは、**[用紙/品質]** タブの［使用状況］セクションおよび［プレビュー］セクションを参照してください。

注記： プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバでマージンが設定されている場合は、フロントパネルで設定したマージンよりもこちらが優先されます。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバからページ サイズを選択するには、**[メイン]** タブの **[ジョブの送信]** ページにアクセスします。**[ジョブの設定]** ツリーで、**[詳細設定]** - **[用紙]** - **[レイアウト/マージン]** の順に選択します。次に、**[マージン設定の選択]** プルダウン メニューを使用してマージンを設定します。**[デフォルト]**、**[狭い]**、**[ふつう]**、および **[広い]** から選択します。

注記： 内蔵Webサーバの **[ファイルを追加]** ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

マージンは、以下の方法で指定します。

- Windows HP-GL/2の場合：デフォルトで **[標準]** マージン と **[標準]** レイアウトが選択されています。マージンとレイアウトのオプションを変更するには、**[用紙/品質]** タブをクリックして **[マージン/レイアウト]** ボタンをクリックします。
- Windows PostScriptドライバの場合：デフォルトで **[標準]** マージン と **[標準]** レイアウトが選択されています。マージンを変更するには、**[用紙/品質]** タブをクリックし、**[文書サイズ]** プルダウン メニューから **[詳細]** を選択します。次に、必要なページ サイズとマージンを同時に選択します。**[マージン/レイアウト]** ボタンをクリックして、レイアウト オプションを変更します。
- Mac OS用プリンタ ドライバを使用する場合：**[ファイル]** メニューから **[ページ設定]** を選択し、**[対象プリンタ]** プルダウン メニューで、使用するプリンタを選択し、次に **[用紙サイズ]** を選択します。ページ サイズとマージンを同時に選択します。

注記： Windows PostScriptドライバの場合、オプションとして、マージンなしで用紙サイズが選択できます。**[マージンなし]** オプションは、**[オーバーサイズ]** および **[内容をマージンでクリップ]** のレイアウト設定と併用する場合にのみ選択します。

注記： Mac OSドライバの場合、使用できるマージン オプションは［**ページ設定**］ダイアログ ボックスで選択した用紙サイズによって異なります。

オプションとして、マージンなしで用紙サイズが選択できます。［**マージンなし**］オプションを選択するは、［**プリント**］ダイアログ ボックスをクリックしてから［**仕上げ**］パネルを選択し、［**レイアウト**］タブをクリックします。［**マージンなし**］オプションは、［**オーバーサイズ**］および［**内容をマージンでクリップ**］のレイアウト設定と併用する場合にのみ選択します。

## フロントパネルを使用する

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**マージン設定**］－［**マージン設定の選択**］を選択します。

# 印刷のサイズを変更する

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを変更（通常は拡大）するように指定することができます。これは以下の状況の場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイルを処理するために必要なプリンタのメモリが十分ではない場合。この場合、ソフトウェアでページ サイズを小さくし、フロントパネルのオプションでそれを拡大します。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバから印刷の拡大縮小を行うには、［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページにアクセスします。［**ジョブの設定**］ツリーで、［**詳細設定**］－［**サイズ変更**］を選択します。［**サイズ変更**］プルダウン メニューから、［**標準**］、［% （**実際のサイズに対する比率**）］、または［**カスタム**］を選択します。

- ［**標準**］を選択した場合、プルダウン メニューからサイズと印刷の向きを選択します。
- ［% （**実際のサイズに対する比率**）］を選択した場合、自由にテキストが入力可能なフィールドにパーセントを入力します。
- ［**カスタム**］を選択した場合、自由にテキストが入力可能なフィールドにサイズを入力します。次に単位を設定し、入力したサイズが幅と長さのどちらを表しているかをプルダウン メニューで指定します。

**注記：** 内蔵Webサーバの［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

印刷の拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- Windows HP-GL/2またはPostScriptドライバの場合、［**機能**］タブをクリックしてから［**サイズ変更オプション**］を選択します。
  - ［**文書を印刷する用紙**］オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージ サイズを調整できます。たとえば、用紙サイズでISO A2を選択し、A4サイズのイメージを印刷する場合、A2サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズでISO A3を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A3サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - ［% （**元のサイズに対する比率**）］オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲（ページからマージンをマイナスした範囲）を指定した比率で拡大/縮小し、プリンタ マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- Mac OSの［**プリント**］ダイアログの場合 ：［**仕上げ**］パネルを選択して、次に［**文書を印刷する用紙**］を選択します。選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージ サイズを調整できます。

  たとえば、ページ サイズでISO A3を選択し、A4サイズのイメージを印刷する場合、A2用紙に合うようにイメージは拡大されます。たとえば、用紙サイズでISO A3を選択し、イメージがA3サイズより大きい場合、A3サイズに合うようにイメージが縮小されます。

## フロントパネルを使用する

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**用紙オプション**］－［**サイズ変更**］を選択します。

# 切り取り線を印刷する

切り取り線とは印刷時に印刷される線のことで、特定の用紙サイズを得るにはどの位置で用紙をカットすべきかを示します。切り取り線は、ネスティング機能を使用して印刷する個々のジョブまたは複数のジョブで印刷できます。

ネスティング機能を使用して印刷された複数のジョブの切り取り線を印刷する方法については、128 ページの 「切り取り線付きでネスティングする 」を参照してください。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバから切り取り線を有効にするには、[**メイン**] タブの [**ジョブの送信**] ページにアクセスします。[**ジョブの設定**] ツリーで、[**詳細設定**] – [**ロール紙オプション**] を選択し、次に [**切り取り線の有効化**] プルダウン メニューから設定を選択します。

注記： 内蔵Webサーバの [**ファイルを追加**] ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

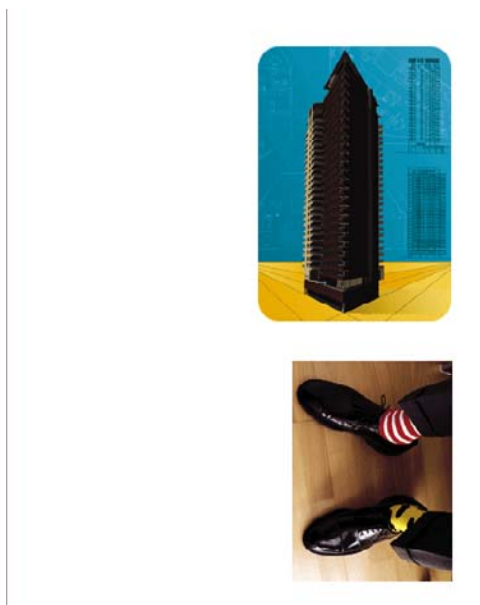
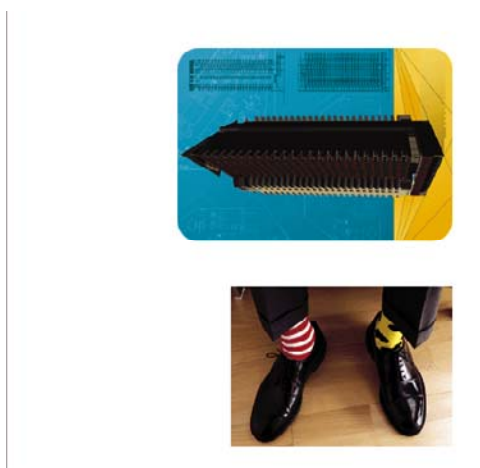
## ドライバを使用する場合

- Windowsドライバの場合、[**機能**] タブに移動し、[**ロール紙オプション**] セクションで、[**切り取り線**] チェック ボックスをオンにします。
- Mac OSの [**プリント**] ダイアログの場合：[**仕上げ**] パネルに移動して [**切り取り線**] チェック ボックスを選択します。

## フロントパネルを使用する

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [**印刷設定**] – [**用紙オプション**] – [**切り取り線の有効化**] を選択します 。

# イメージを回転させる

デフォルトでは、イメージは次のように短い方の縁が用紙の上端に平行になるように印刷されます。

用紙を節約するため、次のようにイメージを90°回転させることができます。

イメージを回転させると、ページがロール紙上で回転しますが、イメージの向きは変わらずにページ上で保持されます。イメージは、内蔵Webサーバ、ドライバ、またはフロントパネルから回転させます。イメージの方向についての詳細は、110 ページの 「イメージの方向を選択する 」を参照してください。

注記： プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで回転が設定されている場合は、フロントパネルで設定した回転よりもこちらが優先されます。

注記： ジョブを回転させる際には、ページ サイズの長さを増やしてイメージが途切れないようにすることが必要な場合があります。これは、通常は左右のマージンよりも上下のマージンのほうが大きいためです。

注意： イメージを回転させた場合、用紙の幅が足りなくなることがあります。たとえば、縦置きのA1サイズのイメージを横置き（90°）にしてA1サイズ用紙に印刷すると、イメージが用紙の幅からはみ出してしまいます。内蔵Webサーバを使用している場合は、このような際にはプレビュー画面に警告の三角マークが表示され、ジョブは一時停止します。詳細は、125 ページの 「ジョブ ステータスについて 」を参照してください。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバからイメージを回転させるには、**［メイン］**タブの**［ジョブの送信］**ページにアクセスします。**［ジョブの設定］**ツリーで、**［詳細設定］**－**［ロール紙オプション］**を選択し、次に**［回転］**プルダウン メニューから設定を1つ選択します。

注記： 内蔵Webサーバの**［ファイルを追加］**ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

イメージの回転は、以下の方法で行うことができます。

- Windows HP-GL/2またはPostScriptドライバの場合：**［機能］**タブを選択し、［ロール紙オプション］セクションで**［90° 回転］**を選択します。
- Mac OSの**［プリント］**ダイアログの場合 ：**［仕上げ］**パネルに移動して**［90° 回転］**を選択します。

## フロントパネルを使用する

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に**［印刷設定］**－**［用紙オプション］**－**［回転］**を選択します。

## 自動回転

Windows HP-GL/2プリンタ ドライバの場合、オーバーサイズの縦置きのイメージを自動的に90° 回転して用紙を節約する［自動回転］オプションを使用できます。**［機能］**タブをクリックし、［ロール紙オプション］セクションで**［自動回転］**を選択します。次に、**［ロール紙幅］**プルダウン メニューで、セットしたロール紙の幅を選択します。

# 左右反転させて印刷する

透明な用紙（バックライト フィルムのような）を使用する場合、イメージを左右反転させて印刷すると、フィルムの背面から光をあてて投射した際に正しい向きのイメージが投影されます。ソフトウェア プログラムでイメージを変更せずに左右反転させた印刷を行うには、以下の手順に従います。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバから左右反転を印刷するには、［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページにアクセスします。［**ジョブの設定**］ツリーで、［**詳細設定**］-［**変換**］を選択し、次に［**左右反転**］プルダウン メニューから設定を1つ選択します。

注記：　内蔵Webサーバの［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

# イメージの方向を選択する

イメージの方向を設定する場合、縦置きまたは横置きのどちらかを選択します。縦置きから横置きへ、または横置きから縦置きへ向きを変更すると、イメージの向きはページ上で変更されますが、ページの向きはロール紙上で変更されません。内蔵Webサーバから、またはドライバで向きを変更してください。イメージの回転についての詳細は、107 ページの 「イメージを回転させる 」を参照してください。

注記： 内蔵Webサーバの［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバからイメージの方向を選択するには、［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページにアクセスします。［**ジョブの設定**］ツリーで、［**詳細設定**］-［**印刷の向き**］を選択し、次に［**縦**］または［**横**］を選択します。

## ドライバを使用する場合

- Windowsドライバの場合：［**用紙/品質**］タブを選択し、次に［**縦**］または［**横**］を選択します。
- Mac OSの場合：［**ページ設定**］ダイアログ ボックスに移動し、［**縦**］または［**横**］向きを選択します。

# 上下の余白を削除する

ジョブに対して設定されるページ マージンに加え、このプリンタでは、各印刷間で5mm間隔の余白が発生します。これらの上下の余白を削除するには、**[上下の余白を削除]** 機能を選択します。

注記： 内蔵Webサーバの **[ファイルを追加]** ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバから上下の余白を削除するには、**[メイン]** タブの **[ジョブの送信]** ページに移動します。**[ジョブの設定]** ツリーで、**[詳細設定]** – **[ロール紙オプション]** を選択し、次に **[上下の余白を削除]** を選択します。

## ドライバを使用する場合

- Windowsドライバの場合：**[機能]** タブを選択し、**[上下の余白を削除]** を選択します。
- Mac OSの **[プリント]** ダイアログの場合：**[仕上げ]** パネルに移動して **[上下の余白を削除]** を選択します。

# アカウントIDを入力する

この機能を使用して、印刷ジョブにアカウンティング用のアカウントIDを割り当てます。アカウントIDは、プリンタによって生成されるアカウンティング レポートに表示されます。ジョブ アカウンティング情報を収集するために、各ジョブの送信時にアカウントIDを要求するようプリンタを設定することができます。この場合、アカウントIDフィールドの入力が必須になります。アカウントIDのないジョブは、「アカウンティング保留」状態になります。

注記： 内蔵Webサーバの［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

アカウントID機能を有効にするには、［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページに移動します。［**ジョブの設定**］ツリーで、［**詳細設定**］－［**アカウンティング**］を選択し、次に［**アカウントID**］を選択します。

## ドライバを使用する場合

- Windowsドライバの場合：［**機能**］タブに移動し、アカウントIDフィールドに［［**アカウントID**］］を入力します。
- Mac OSの［**プリント**］ダイアログ ボックスの場合 ：［**アカウンティング**］パネルに移動し、［アカウントID］フィールドに［**アカウントID**］を入力します。

# カラー エミュレーション モードを選択する

カラー エミュレーション モードは、内蔵Webサーバ、ドライバ、またはフロントパネルから選択します。アプリケーションで管理するカラー、およびプリンタで管理するカラーについての詳細は、149 ページの 「カラーマネジメント オプション 」を参照してください。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバからカラー エミュレーション モードを選択するするには、[**メイン**] タブの [**ジョブの送信**] ページにアクセスします。[**ジョブの設定**] ツリーで、[**詳細設定**] - [**カラー**] を選択し、次に [**カラーマネジメント**] プルダウン メニューから設定を1つ選択します。[**プリンタ エミュレーション**] 設定を選択すると、エミュレートするプリンタ シリーズをプルダウン メニューから選択できます。

注記： 内蔵Webサーバの [**ファイルを追加**] ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

カラー エミュレーション モードは、以下の方法で設定できます。

- WWindows HP-GL/2またはPostScriptドライバの場合：[**カラー**] タブの [**カラーマネジメント**] セクションを選択します。
- Mac OSの [**プリント**] ダイアログ ボックスの場合：[**カラー品質**] パネルを選択して、次に [**プリンタのエミュレーション**] を選択します。

## フロントパネルを使用する

- フロントパネルで、アイコンを選択してから [**印刷設定**] - [**カラー オプション**] を選択し、必要なエミュレーション モードを選択します。

# 重なった線の処理方法を変更する

[**マージ**] 設定では、イメージ内での重なった線の処理方法を設定できます。[**オフ**] と [**オン**] の2種類の設定があります。

- [**マージ**] を [**オフ**] にすると、線が交差している場合、前面の線の色のみが印刷されます。
- [**マージ**] を [**オン**] にすると、線が交差している場合、2つの線の色がマージされます。

## フロントパネルを使用する

フロントパネルで [**マージ**] をオンにするには、アイコンを選択し、次に [**印刷設定**] – [**HP-GL/2の設定**] – [**マージの有効化**] を選択します。一部のソフトウェア プログラムでは、ソフトウェアからマージを設定できます。ソフトウェアの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。

HP-GL/2の設定
▶パレットの選択
⊞パレットの定義
▶マージの有効化

**注記：** マージ設定はPostScriptファイルには影響しません。

# ショートカットを使用して印刷する

プリンタ ドライバには、特定のジョブを印刷する場合にさまざまな値を設定できるオプションが多数用意されています。印刷機能のショートカットには、特定のジョブの種類に適用する値が格納されており、シングル クリックでこれらのオプションをすべて設定できます。設定の一部（文書サイズ、印刷の向きなど）は、ソフトウェア プログラムで設定された値が優先されることがあります。

**注記：** ショートカットは、Windows HP-GL/2およびPostScriptドライバでのみ使用できます。

ショートカットを使用するには、Windowsドライバの［**印刷機能のショートカット**］タブをクリックします。

使用可能なショートカットのリストが表示されます。印刷するジョブに適合するショートカットを1つ選択します。

これにより、ドライバのオプションが設定されます。ただちに印刷するか、その設定で問題ないか確認します。ショートカットを選択し、その設定を手動で変更できます。

**ヒント：** 少なくとも、［**印刷機能のショートカット**］タブに表示される設定（文書サイズ、印刷の向きなど）を確認してください。

［初期設定］ショートカットには、プリンタのデフォルト設定が保存されています。これをクリックすると、すべてのオプションがデフォルト値に設定されます。

［印刷機能のショートカット］では、特定のニーズに合わせてカスタマイズできます。ユーザ設定のショートカットを作成するには、以下の手順に従います。

1. 要件に最も近いショートカットを選択します。

2. ［**印刷機能のショートカット**］タブまたはその他のタブで、値を変更します。

3. 新しい印刷ショートカットを保存します。

後でそのショートカットが必要ないと判断した場合は、それを削除できます。

# プレビュー待ち

画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

注記： ネスティング機能が有効になっている場合、実際の印刷ジョブがプレビュー イメージに正確に反映されない場合があります。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

1. ［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページに移動します。
2. ［**ジョブの設定**］ツリーで、［**基本設定**］を選択します。
3. ［**プレビュー待ち**］プルダウン メニューから、［**はい**］を選択します。
4. ［**印刷**］ボタンをクリックしてジョブを送信します。

   印刷キューで、ジョブのステータスが「保留」になっていることが確認できます。
5. ジョブををプレビューするには、［プレビュー］列のアイコンをクリックします。

注記： このプリンタでは、最大64ページまでプレビューが保存されます。プレビューするために選択したジョブに64ページを超えるページが含まれている場合、65ページ目の処理がプリンタで開始されると、予告なしにジョブがキャンセルおよび削除されます。65ページ以上のジョブをプレビューする場合、65ページ目の処理がプリンタで開始される前に［**続ける**］ボタンを押します。プレビュー イメージは最初のページが処理されるとすぐに準備されるため、プレビュー イメージの確認には十分な時間が必要です。

## ドライバを使用する場合

プリンタ ドライバでは印刷をプレビューすることはできません。ただし、ドライバでプレビュー オプションを選択すると、内蔵Webサーバが開き、内蔵Webサーバのプレビュー ウィンドウにイメージが表示されます。

- Windows HP/GL-2またはPSドライバでプレビュー オプションを選択するには、［**印刷機能のショートカット**］タブに移動し、［**印刷プレビューの表示**］チェック ボックスを選択します。
- Mac OSドライバでプレビュー オプションを選択するには、［**仕上げ**］パネルに移動し、［**印刷プレビューの表示**］チェック ボックスを選択します。
- ソフトウェア プログラムのプレビュー オプションを使用することもできます。

# 高品質で印刷するための設定

プリンタを設定して、高品質の印刷を行うことができます。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバから、[**メイン**] タブの [**ジョブの送信**] ページにアクセスします。[**ジョブの設定**] ツリーで、[**基本設定**] を選択し、[**印刷品質**] プルダウン メニューから [**高品質**] を選択します。

注記： 内蔵Webサーバの [**ファイルを追加**] ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

- Windowsドライバの場合：[**用紙/品質**] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端 ([**品質**]) まで移動させます。
- Mac OSの [**プリント**] ダイアログ ボックスの場合 ：[**イメージ品質**] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ([**品質**]) まで移動させます。

## フロントパネルを使用する

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [**印刷設定**] - [**品質レベルの選択**] - [**高品質**] を選択します 。

注記： コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

## その他のヒント

特定の印刷条件に関するその他のヒントは以下の通りです。

- [**半光沢フォト用紙に印刷する場合**]：半光沢フォト用紙に印刷する場合は、HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙を使用することをご検討ください。この用紙には以下の特長があります。
  - より広い色域
  - 黒の光学濃度の向上
  - より多くのPANTONE*に対応
  - より滑らかな表面
  - より丈夫
- [**印刷品質設定の方法**]：以下の表は、ロール紙を使用している場合に推奨される印刷品質設定と用紙の種類を、印刷物の種類ごとにまとめたものです。

注記： 印刷密度の高いイメージには、厚手コート紙（厚手紙または光沢紙）を使用してください。

| 印刷内容 | 印刷品質 | 用紙の種類 |
| --- | --- | --- |
| 写真 | [高品質] | 光沢フォト用紙2 |

| 印刷内容 | 印刷品質 | 用紙の種類 |
|---|---|---|
| | | |
| レンダリング | [高品質] | 厚手コート紙<br>光沢フォト用紙2 |
| 店内広告 | [標準-高速] または [標準] | コート紙<br>厚手コート紙<br>光沢フォト用紙2 |
| 線とイメージ - 高画質マップ | [高品質] | コート紙 (CAD)<br>厚手コート紙<br>光沢フォト用紙2 |
| 線と塗りつぶし | [高品質] | インクジェット普通紙<br>普通紙<br>半透明紙*<br>コート紙 (CAD)<br>厚手コート紙<br>光沢フォト用紙2 |
| 線と塗りつぶしの例 (ドラフト) | [高速] | インクジェット普通紙<br>普通紙<br>半透明紙*<br>コート紙 (CAD)<br>厚手コート紙<br>光沢フォト用紙2 |

| 印刷内容 | 印刷品質 | 用紙の種類 |
| --- | --- | --- |
| 線 | ［標準-高速］または［標準］ | インクジェット普通紙<br>普通紙<br>半透明紙*<br>コート紙（CAD） |
| 線（ドラフト） | ［高品質］ | インクジェット普通紙<br>普通紙<br>半透明紙*<br>コート紙（CAD） |

*半透明紙には、ベラム紙、半透明ボンド紙、トレーシングペーパー、クリアフィルム、マット フィルムが含まれます。

印刷解像度の技術的な詳細は、270 ページの 「プリンタ機能の仕様 」を参照してください。

# グレースケールで印刷する

イメージのすべてのカラーを、グレー階調に変換できます。グラフィック プログラムにオプションがある場合は、そのオプションを使用します。またはドライバを使用して変換します。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバからグレースケールの印刷を行うには、[**メイン**] タブの [**ジョブの送信**] ページにアクセスします。[**ジョブの設定**] ツリーで、[**詳細設定**] - [**カラー**] を選択し、次に [**カラー/グレースケール**] プルダウン メニューから設定を選択します。

注記： 内蔵Webサーバの [**ファイルを追加**] ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

- Windows HP-GL/2またはPostScriptドライバの場合：[**カラー**] タブに移動して [カラーオプション] セクションを確認します。[**グレースケールで印刷**] を選択し、次に、使用可能な2つのグレースケール オプションから1つ選択します。
- Mac OSの [**プリント**] ダイアログ ボックスの場合：[**カラー品質**] パネルに移動して [**カラー**] を選択します。[**グレースケールで印刷**] を選択し、次に、使用可能な2つのグレースケール オプションから1つ選択します。

以下が、2つのグレースケール オプションです。

- **グレーと黒プリントカートリッジのみ** を選択すると、グレーと黒のインクのみを使用してグレースケール イメージを印刷します。
- [**全プリントカートリッジ**] を選択すると、さまざまな色を混合してグレースケール イメージを印刷します。

注記： [**全プリントカートリッジ**] オプションを使用する方が、よい結果が得られます。光沢紙での印刷時に褐色化する場合は、このオプションを使用してみてください。202 ページの 「イメージにメタリックの色相 (褐色化する) が現れる 」を参照してください。

# 試し印刷をする

プリンタを設定して、高速の試し印刷品質の印刷を行うことができます。

## 内蔵Webサーバを使用する場合

内蔵Webサーバから、［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページにアクセスします。［**ジョブの設定**］ツリーで、［**基本設定**］を選択し、［**印刷品質**］プルダウン メニューから［**高速**］を選択します。

注記：　内蔵Webサーバの［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ドライバを使用する場合

- Windows HP-GL/2またはPostScriptドライバの場合：［**用紙/品質**］タブに移動して［印刷品質］セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端（［**速度**］）まで移動させます。
- Mac OSの［**プリント**］ダイアログ ボックスの場合：［**イメージ品質**］パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端（［**速度**］）まで移動させます。

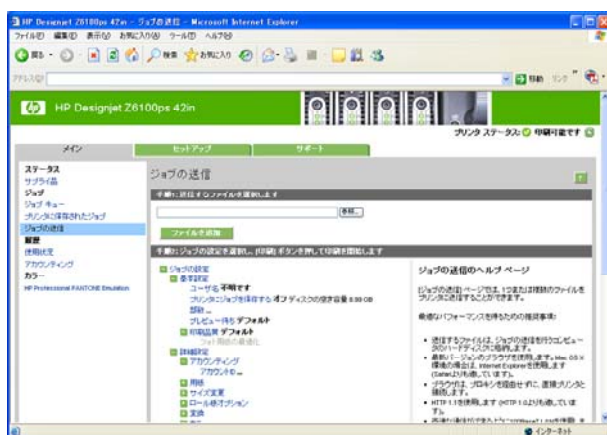
## フロントパネルを使用する

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**品質レベルの選択**］－［**高速**］を選択します 。

注記：　コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

# 印刷ジョブを管理する

## ジョブを送信する

1. 内蔵Webサーバにアクセスします。31 ページの 「内蔵Webサーバ設定オプション」を参照してください。
2. ［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページに移動します。

3. ［**ファイルを追加**］ボタンをクリックしてコンピュータ内を検索し、印刷するファイルを選択します。

**注記：** 内蔵Webサーバ経由でジョブを送信して印刷する場合は、プリンタ ドライバは必要ありません。また、ファイルを作成するために使用したソフトウェアがコンピュータにインストールされている必要もありません。

4. ［**ジョブの設定**］ツリー内から使用するその他のジョブのオプションを設定します。

   オプションを［**デフォルト**］のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブにオプションが設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。プリンタの設定はフロントパネルから変更できます。内蔵Webサーバの［デバイスの設定］ページで変更できるものもあります。

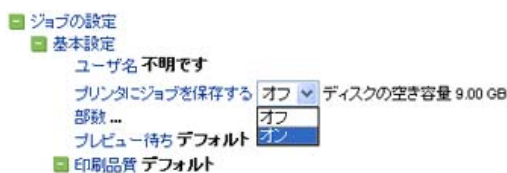
5. ［**印刷**］ボタンをクリックします。

**注記：** 内蔵Webサーバの［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

## ジョブを保存する

ジョブは、印刷のために送信中のときのみ保存できます。

1. 内蔵Webサーバにアクセスします。31 ページの 「内蔵Webサーバ設定オプション」を参照してください。
2. ［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページに移動します。
3. ［**ファイルを追加**］ボタンをクリックしてコンピュータ内を検索し、印刷するファイルを選択します。
4. 複数のファイルを送信する場合は、［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして、ファイルを追加します。

5. ［**ジョブの設定**］ツリーで、［**基本設定**］に移動し、［**プリンタにジョブを保存する**］オプションを［**オン**］に設定します。

6. ［**ジョブの設定**］ツリー内から使用するその他のジョブのオプションを設定します。

7. ［**印刷**］ボタンをクリックします。

   ［**メイン**］タブの プリンタ ページの［保存］ジョブにジョブが表示されます。

## 以前のジョブを再印刷する

ジョブ設定（サイズ、品質など）を後で変更してジョブを再印刷する場合は、ジョブをプリンタに保存しておくと再送信する必要がなくなります。

**注記：** 変更せずに再印刷する場合は、ジョブを保存しなくても印刷のキューから再印刷できます。

次に、内蔵Webサーバまたはフロントパネルで 以前のジョブを再印刷します。

### 内蔵Webサーバを使用する場合

ジョブ キューに一覧表示されているジョブ、またはプリンタに保存されているジョブ リストのジョブをすべて再印刷します。

- ［**メイン**］タブの［**ジョブ キュー**］に移動し、再印刷するジョブを選択し、［**再印刷**］ボタンをクリックします。
- ［**メイン**］タブの［**プリンタに保存されたジョブ**］ページに移動します。印刷するジョブを選択し、必要に応じ印刷オプションを変更してから、［**保存**］、［**印刷**］、または［**保存して印刷**］をクリックします。

### フロントパネルを使用する

再印刷するジョブにより、2つの方法のうちの1つを使用してフロントパネルでジョブを再印刷します。

- 前回印刷したジョブを再印刷するには、アイコンを選択し、次に［**前回のジョブの再印刷**］を選択します。
- その他のジョブを印刷するには、アイコンを選択し、次に［**ジョブのキュー**］を選択します。次に、再印刷するジョブを選択し、［**再印刷**］を選択します。印刷部数を選択し、OK をクリックします。

## ジョブをキャンセルする

ジョブはキャンセルすることができます。それには、フロントパネルの キャンセル ボタンを押すか、内蔵Webサーバでジョブ キュー内のジョブを選択し、［**キャンセル**］ボタンを選択します。

ドライバを使用してキャンセルすることもできます。

印刷終了時と同じように用紙が排出されます。

注記：　複数ページのジョブやサイズの大きいファイルの場合、他のファイルよりも印刷が停止するまでに時間がかかります。

## 印刷キューを管理する

キューには複数のジョブのページが保存される場合があります。その場合、このプリンタでは、現在のページの印刷中に他のページをキューに保存することができます。

### キュー内の特定ジョブを優先させる

- フロントパネルを使用する場合：キュー内の任意の待機ジョブを次に印刷されるようにするには、アイコンを選択し、次に［**ジョブ キュー**］を選択します。次回印刷するジョブを選択し、［**キューの先頭に移動する**］を選択します。
- 内蔵Webサーバから行う場合：次回印刷するジョブをジョブ キュー内で選択し、［**キューの先頭に移動する**］を選択します。

注記：　ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングに残ります。このジョブのみを次に印刷するには、ネスティングをオフにしてから、上記の手順でジョブをキューの先頭に移動します。

### キュー内のジョブの識別

キューの内容を確認するには、内蔵Webサーバで、［**メイン**］タブの［**ジョブ キュー**］ページを使用するのが最適です。ファイル名をクリックすると、キューの管理や、各ジョブの詳細情報の確認を行うことができます

また、キューはフロントパネルから管理することもできます。これを実行するには、アイコンを選択し、次に［**ジョブ キュー**］を選択します。キュー内のジョブの一覧が表示され、各ジョブのアイコンが示すステータスで、ジョブが待機、アクティブ、完了、またはキャンセルされたかどうかがわかります。

### キューからジョブを削除する

通常は、印刷後にジョブをキューから削除する必要はありません。新しいファイルが送信されると、ジョブはキューの末尾から自動的に削除されます。ただし、ファイルを間違って送信し、それを印刷しないという場合は、そのファイルを削除することができます。ファイルを選択し、次に、内蔵Webサーバまたはフロントパネルから［**削除**］を選択します。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

現在印刷中のジョブ（ステータスが［**印刷しています**］のジョブ）をキャンセルして削除するには、内蔵Webサーバで［**キャンセル**］をクリックするか、フロントパネルの キャンセル ボタンを押し、次にジョブをキューから削除します。

### キュー内のジョブのコピーを作成する

キュー内のジョブのコピーを作成するには、内蔵Webサーバでジョブを選択し、［**再印刷**］ボタンをクリックして、部数を指定します。ジョブがキューの先頭に移動します。

この操作はフロントパネルから行うこともできます。これを実行するには、フロントパネルで、アイコンを選択し、［**ジョブ キュー**］を選択します。ジョブを選択し、［**部数**］を選択します。次に、必要な部数を指定して OK ボタンを押します。上記の設定は、ソフトウェアで指定された値より優先されます。

注記： ［**回転**］が［**オン**］になっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。

ジョブの印刷が終了している場合は、［**キューの先頭に移動する**］を使用して、ジョブをキューの先頭に移動します。

## ジョブ ステータスについて

以下は、表示されうるジョブのステータス メッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

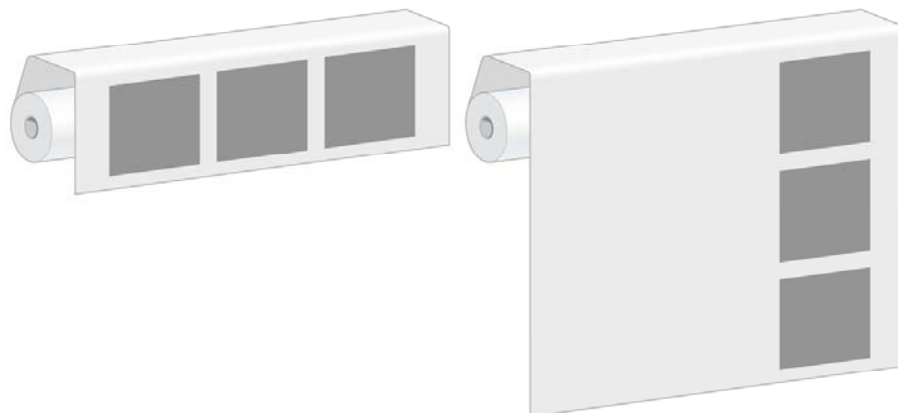
- **データを受信しています**：プリンタはコンピュータからジョブを受信しています。
- **処理を待っています**：ジョブはプリンタによって受信され、レンダリングを待っています（内蔵Webサーバから送信したジョブの場合のみ）。
- **データを処理しています**：プリンタがジョブを解析およびレンダリングしています。
- **印刷の準備を行っています**：プリンタはジョブの印刷前に出力システムの確認を実行中です。
- **印刷待ち**：ジョブはプリンタ エンジンが使用可能になり、印刷を開始できるようになるのを待っています。
- **ネスティング待ち**：プリンタは **ネスティングがオン** に設定されており、ネストを完了して印刷を開始するために他のジョブを待っています。
- **一時停止しています**：ジョブは［**プレビューを表示する**］オプションを使用して送信され、一時停止中です。

  注記： ジョブの印刷中にプリンタが停止した場合、キュー機能がオンになっていると、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したときに、キューに［**一時停止しています**］と表示されます。ジョブを再開すると、中断されたページから印刷が開始されます。

- **用紙の保留**：プリンタに必要な用紙が取り付けられていないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け、［**続行**］をクリックしてジョブを再開します
- **アカウンティング情報を待っています**：プリンタがすべてのジョブにアカウントIDを要求しているため、ジョブを印刷できません。ジョブを再開するには、アカウントIDを入力して［**続行**］をクリックします。
- **印刷しています**
- **乾燥しています**
- **用紙をカットしています**
- **用紙を排出しています**
- **キャンセルしています**：ジョブはキャンセル中ですが、プリンタのジョブ キューには残ります。
- **削除中**：プリンタからジョブを削除しています。
- **印刷しました**
- **キャンセルしました**：プリンタによってジョブがキャンセルされました。
- **ユーザの指示によりキャンセルしました**
- **ジョブがありません**：ジョブに印刷するものが含まれていません。

## 用紙を節約するためにジョブをネスティングする

ネスティングとは、ページを順々にではなく並べて用紙に配置することです。これにより、用紙を節約することができます。下の図の左側に、ネスティングしたジョブの一般的な概念を示します。下の図の右側に、ネスティング機能を無効にして印刷した3つのジョブを示します。

### プリンタがページをネスティングする場合

フロントパネルの［**ジョブ管理**］メニューまたは内蔵Webサーバの［セットアップ］ページで［**ネスティング**］が［**オン**］と表示されている場合、プリンタによってページがネスティングされます。

### プリンタが別のファイルを待つ時間

プリンタはネスティングを最適化できるように、ファイルを受け取ってから待ち、その後に続くページがファイルにネスティングされているかを確認します。この待機時間は、ネスティング待ち時間と呼ばれます。工場出荷時のデフォルトのネスティング待ち時間は、2分です。つまり、プリンタは、最後のファイルを受け取ってから、最後のネストを印刷するまでに最大2分間待機することになります。

フロントパネルから待ち時間を変更できます。アイコンを選択し、次に［**ジョブ管理オプション**］－［**ネスティングの設定**］－［**待ち時間の選択**］を選択します。使用可能な範囲は、1～99分です。

**注記：**　ネスティングするには、［**印刷の開始**］を［**処理後**］に設定することが必要です。これを実行するには、アイコンを選択してから［**ジョブ管理オプション**］－［**印刷の開始**］を選択し、次に［**処理後**］を選択します。

プリンタがネスティングのタイムアウトまで待っている間、残り時間がフロントパネルに表示されます。ネストの印刷（ネスティング待ち時間のキャンセル）は、キャンセル ボタンを押すことで実行できます。

### ネスティングが可能なページ

ページが大きすぎてロール紙に横に並べて収まらない場合やページが多すぎてロール紙の残りの長さに収まらない場合を除いて、すべてのページをネスティングできます。ネスティングによって1つのグループになったページは、2つのロール紙間で分割できません。

## ネスティング オプションを設定する

プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択してから［**ジョブ管理オプション**］－［**ネスティングの設定**］－［**ネスティングの有効化**］を選択し、次に［**オフ**］、［**通常の順序**］、または［**最適な順序**］を選択します。

以下が、ネスティングの3つのオプションです。

- **オフ**

  ネスティング機能を無効にするには、［**オフ**］を選択します。

- **通常の順序**

  ページは、プリンタに送信される場合と同じ順序でロール紙にネスティングされます。3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちにネスティングが中断されて印刷されます。

  - ネスティングが満杯の場合。すなわち、次のページを送信できるだけの用紙がロールに残っていない場合。
  - ネスティングのタイムアウトが経過した場合。
  - 次に来るページが、すでにネスティングしたページと互換性がない場合。

  ページの互換性についての詳細は、128 ページの 「ジョブの互換性の定義方法」を参照してください。

  通常の順序によるネスティングのメリットは、ネスティングを中断する条件が多く存在するため、ページをネスティングする時間を減らしてトータルの印刷時間を減らせることです。デメリットとしては、用紙に十分な長さがあり、互換性のある他のページがキュー内にある場合でも、最初に送信されたページに互換性がないとネスティングが中断されてしまう点です。これは、用紙が十分に使用されない可能性が高いことを意味します。

- **最適な順序**

  ページは、プリンタに送信された時間により、別々にロール紙にネスティングされます。ページに互換性がない場合でもネスティングは中断されません。その代わり、プリンタは互換性のあるページを待機し、3つの条件のうちの1つが満たされるまで互換性がないページをキューイングします。

  - ネスティングが満杯の場合。すなわち、ロールに残っている用紙の長さが、次のページを送信するには短かすぎる場合。
  - ネスティングのタイムアウトが経過した場合。
  - 互換性がないページのキューが満杯の場合。プリンタは互換性のあるページをネスティングし、互換性のないページを最大6ページまでキューイングします。互換性のないページを7ページ受信した時点で、ネスティングが中断して印刷されます。次に、互換性のないページのキューにあるページが印刷されます。

  ジョブの互換性についての詳細は、128 ページの 「ジョブの互換性の定義方法」を参照してください。

  最適な順序によるネスティングのメリットは、互換性のないページが送信された場合でもネスティングが中断しないため、通常、用紙の消費が少ない点です。デメリットとしては、プリンタが互換性のあるページを待機するため、通常、全体の印刷時間が長くなる点です。

**注記：** ［最適な順序］オプションを選択した場合、ページはプリンタに送信された順序で印刷されない場合があります。

## ジョブの互換性の定義方法

同じネスト内にページを入れるには、個々のページが次のすべてに当てはまる必要があります。

- 印刷品質の設定を使用している場合は、すべてのページが、同じ印刷品質の設定であること。
- すべてのページで［**高精細**］の設定が同じであること。
- すべてのページで［**左右反転**］設定が同じであること。
- すべてのページで［**レンダリング用途**］設定が同じであること。
- すべてのページで［**カッター**］設定が同じであること。
- すべてのページのカラー調整が同じである。これらの設定は、Windowsドライバでは［**カラー詳細設定**］、Mac OSドライバでは［**CMYK設定**］と呼ばれています。
- すべてのページがカラーかグレースケールであること。カラーとグレースケールを混合しない。
- すべてのページが次の2つのグループのいずれかに属している（2つのグループは同じネストに混在できない）。
  - HP-GL/2、RTL、CALS G4
  - PostScript、PDF、TIFF、JPEG
- 解像度が300dpiを超えるJPEG、TIFF、およびCALS G4ページは、他のページとネスティングできない場合がある。

## 切り取り線付きでネスティングする

切り取り線とは印刷時に印刷される線のことで、特定の用紙サイズを作成するにはどの位置で用紙をカットすべきかを示します。切り取り線は、ネスティング機能を使用して印刷する個々のまたは複数のジョブで印刷できます。

注記：［**ネスティングの設定**］メニューの切り取り線オプションを選択すると、各ジョブで使用する［**印刷オプション**］メニューの設定より優先されます。

内蔵Webサーバからネスティング機能を使用して印刷された複数のジョブで切り取り線を印刷するには、以下の手順に従います。

1. ［**セットアップ**］タブの［**プリンタ設定**］に移動し、
2. ［**プリンタ設定**］-［**ジョブ管理**］を選択し、次に、［**ネスティング**］プルダウン メニューから［はい］を選択します。
3. ［**メイン**］タブの［**ジョブの送信**］ページに移動します。
4. ［**ジョブの設定**］ツリーで、［**詳細設定**］-［**ロール紙オプション**］を選択し、次に［**切り取り線の有効化**］プルダウン メニューから［**はい**］を選択します。

各ジョブで切り取り線を印刷する方法については、106 ページの 「切り取り線を印刷する 」を参照してください。

# ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには、2つの方法があります。

注記：使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

## HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) でのインクと用紙の情報

1. HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスします。33 ページの 「HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) の設定オプション 」を参照してください。
2. 最新のジョブに関する情報を表示するには、[**アカウンティング**] ウィンドウに移動します。
3. Windowsでは、[**ジョブ センター**] タブに移動します。

   Mac OSでは、[**情報**] - [**ジョブ アカウンティング**] を選択し、[**検索**] ボタンをクリックします。

## 内蔵Webサーバでのプリンタ情報

内蔵Webサーバからプリンタ情報を得るには、[**メイン**] タブの [**アカウンティング**] ページに移動し、情報が必要なジョブを見つけます。

# プリンタの印刷メニューを要求する

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、用紙が取り付けられており、フロントパネルに **印刷可能です** のメッセージが表示されていることを確認します。

印刷メニューを印刷するには、アイコンを選択し、次に [**印刷メニュー**] を選択し、必要な印刷メニューの種類を選択します。

次の印刷メニューを使用できます。

- デモ印刷 : プリンタの機能の一部を表示します。
- メニューマップの印刷 : すべてのフロントパネル メニューの詳細を表示します。
- 現在の設定の印刷 : 現在のフロントパネルの設定をすべて表示します。
- 使用状況レポートの印刷 : 印刷の合計数、用紙の種類別の印刷数、印刷品質オプション別の印刷数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します。これらの推定値の正確性は保証されていません。
- HP-GL/2パレットの印刷 : 現在選択されているカラー パレットのカラー定義またはグレースケール定義を表示します。
- PSフォント一覧の印刷 : プリンタにインストールされているPostScriptフォントを表示します (PostScriptプリンタのみ)。
- サービス情報の印刷 : サービス エンジニアが必要とする情報を表示します。

# 用紙を節約する

用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 複数のジョブを印刷する場合、ジョブのネスティングを検討します。ネスティングとは、ページを順々にではなく並べて用紙に配置することです。126 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする 」を参照してください。
- 以下のオプションを選択すると、用紙を節約できます。
  - Windows HP-GL/2またはPostScriptドライバの場合：[**機能**] タブを選択し、[**上下の余白を削除**] または [**90° 回転**] を選択します。
  - Mac OSの [**プリント**] ダイアログ ボックスの場合：[**仕上げ**] パネルを選択し、[**上下の余白を削除**] または [**90° 回転**] を選択します。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷をプレビューすることで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。116 ページの 「プレビュー待ち 」を参照してください。

注記： 内蔵Webサーバの [**ファイルを追加**] ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

# インクを節約する

インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 試し印刷を行うには、普通紙を使用し、印刷品質スライダをスケールの左端（[**速度**]）まで移動させます。
- プリントヘッドのクリーニングは、必要なときだけ、クリーニングが必要なプリントヘッドのみ行います。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、インクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用されます。
- 縦向きで印刷するより、横向きで印刷するほうがインクを節約できます

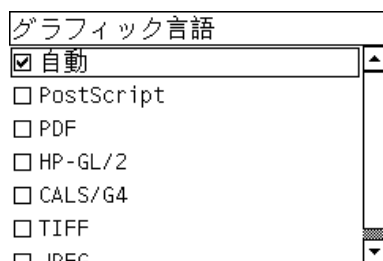
注記： 内蔵Webサーバの［**ファイルを追加**］ボタンをクリックして1度に複数のジョブを送信する場合、最後に送信するジョブの設定が送信するすべてのジョブに使用されることに注意してください。ただし、印刷キュー内のジョブは影響を受けません。

# グラフィック言語の設定を変更する

次の表で説明されている内容に該当しない場合は、デフォルトのグラフィック言語の設定設定（[自動]）を変更する必要はありません。特定のグラフィック言語を設定すると、その言語のファイルしか印刷できなくなるため、設定を変更しないでください。

注記： HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）で選択した設定は、フロントパネルで選択した設定より優先されます。

## フロントパネルを使用する

グラフィック言語の設定を変更するには、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］-［**グラフィック言語の選択**］を選択して、メニュー項目の下に表示されるオプションのいずれかを選択します。

- ［**自動**］を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。この設定は、大半のソフトウェア プログラムに適用されます。
- ［**PostScript**］は、印刷しているのがPostScriptファイルのみであり、PostScriptジョブが標準のPostScriptヘッダから開始されず、PJL言語切り替えコマンドが含まれていない場合に選択します。

  または、PostScriptフォントのダウンロード中に問題が発生した場合にも、[**PostScript**］を選択します。この場合は、フォントのダウンロードが完了したら、[**自動**］を再度選択します。

  USB接続でフォントをダウンロードしている場合は、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］-［**PostScripの設定**］-［**エンコードの選択**］を選択します。
- ［**TIFF**］、［**JPEG**］、［**PDF**］、または［**CALS/G4**］は、該当する種類のファイルを、プリンタ ドライバを経由せずにプリンタに直接送信する場合にのみ選択します。このような送信は通常、内蔵Webサーバからのみ行われます。ユーザが介入することなく、言語は内蔵Webサーバによって設定されます。

注記： ［**PostScript**］および［**PDF**］は、PostScriptプリンタでのみ使用できます。

## HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) を使用する

HP Easy Printer CareおよびHP プリンタ ユーティリティ からグラフィック言語の設定を変更するには、次の手順に従ってください。

1. Windowsでは、[**設定**] タブを選択し、次に [**プリンタ設定**] - [**印刷設定**] を選択します。

   Mac OSでは、[**設定**] を選択し、次に [**プリンタ設定**] - [**プリンタ設定の構成**] - [**印刷設定**] を選択します。

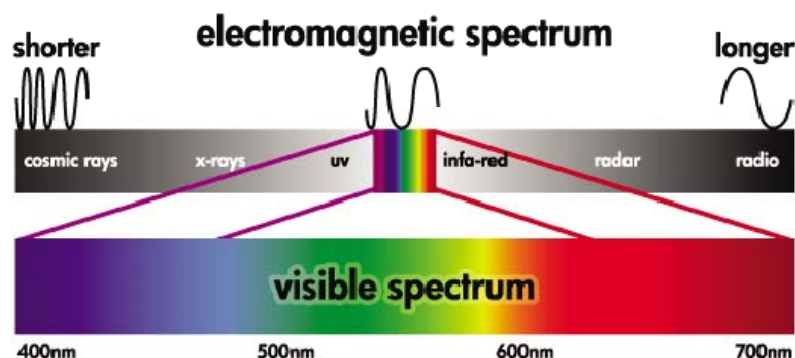
2. 以下のオプションの1つを選択します。

   - [**自動**] を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。この設定は、大半のソフトウェア プログラムに適用されます。[**自動**] が推奨値です。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、適切な種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[**HP-GL/2**] を選択します

# 7 カラーマネジメント

# 色について

私たちを取り巻く世界にはさまざまな色が溢れていますが、色は私たちにとって、世界をどのように捉えるかを示す最初の姿です。色の認識には、目から脳に送られるいくつかの信号によって引き起こされる脳の活動に密接に関係していることがわかっています。これらの信号は、複雑で高度に結び付いた一連の処理段階を経て、目から送られてくる内容と、その他のあらゆる間接的な経験との関係を作ります。目から送られる信号は、目の後部に並ぶ光感受性細胞によって異なり、3つの種類があります。それぞれの種類は異なる物理的特性（波長）の電磁波を感受します。このような電磁波は光と呼ばれ、物体と光が相互作用する方法（発光、反射、吸収、透過、散乱など）により、物体にはそれぞれ色があるように見えます。

各個人が色に対して持つ認識は、それまでの経験や記憶、そしてその経験を言語化する方法によって影響されます。また、色に対する知覚は、明暗の変化、対象の内容、他の色との近似性など、環境要因から影響を受けるため、これらの要因はディスプレイや印刷物の色を認識する上で必ず存在する要素となります。これらのすべての側面（個人の生理的な違いから、過去の経験や記憶、言語的傾向における違いまで）で違いがあるため、1つの対象から反射される同じ光を見ても、色について話す内容は人によって異なります。ただし一方では、個人が色をどのように経験するかには多くの類似点があるため、そのプロセスで注意を払うことにより、非常に具体的な色の分別を他者と共有することも可能です。結論として、色とは、光、対象、および見る側の相互作用の結果によるものであるため、非常に複雑で、極めて主観的な事象であると言えます。

## 問題：コンピュータの世界での色

プリンタ、ディスプレイ、プロジェクタ、テレビなどのカラー イメージング デバイスは、さまざまな方法および材料（色材）を使用して色を生み出します。たとえば、ディスプレイでは、赤（長い波長）、緑（中間の波長）、青（短い波長）の光を放出する色材を使用します。また、白を出力するためには3つの色材すべてを最大限に使用し、黒を出力するためにはいずれの色材も使用しない（どの光も放出されない）ようにします。光を放出する色材を使用するデバイスは、デバイスから届く光が見る側の目に入る前に組み合わされるため、加法的なデバイスと呼ばれます。一方、プリンタは、素材で光の一部を吸収する素材を使用します。このためプリンタは減法的なデバイスと呼ばれます。通常の印刷では、シアン（赤を吸収）、マゼンタ（緑を吸収）、イエロー（青を吸収）のインクに加えて、すべての波長の光を吸収する黒のインクを使用します。プリンタを使用して白を得るには、1枚の用紙から光を一切吸収しないことが必要になり、黒を得るには、すべてのインクを使用して、存在する光のすべてを吸収する必要があります。

カラー イメージング デバイスの出力を制御するには、通常、以下のカラー スペースが使用されます。

- **RGB（赤、緑、青）**は加法的なデバイスでよく使用されています。色は特定の数量の赤、緑、青の色材を組み合わせて表現され、デバイスの対応する色の範囲（色域）全体を形成します。

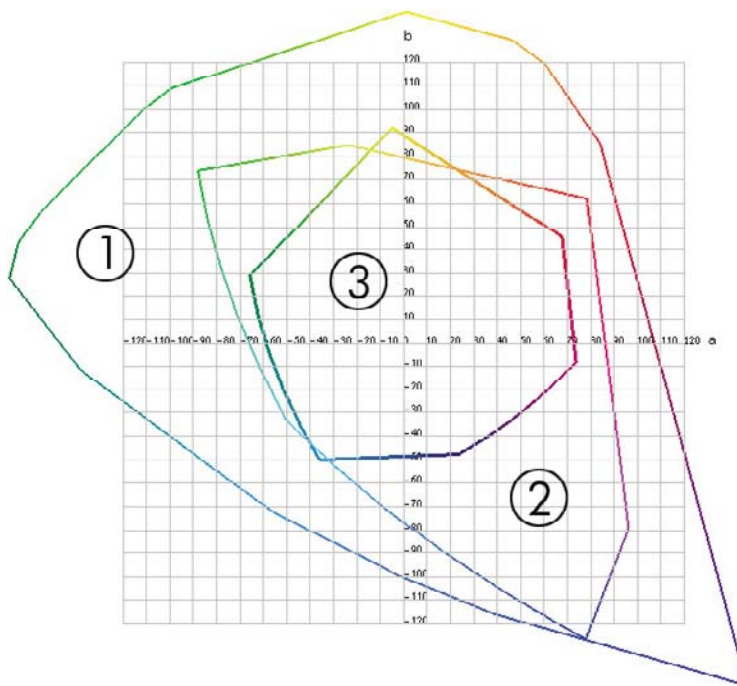
  注記： 減法的なデバイスのカラーもRGBデータを使用して制御できます。特に、プリンタの黒インクを使用する方法を制御する必要がない場合、これは効率的なオプションです。

- **CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、黒）**はプリンタや印刷機などの減法的なデバイスに使用されるカラー スペースです。色はシアン、マゼンタ、イエロー、黒（K）のインクを組み合わせて表現され、その組み合わせがデバイスの対応する色の範囲（色域）全体を表します。

カラー スペースは、それぞれのカラー イメージング デバイスを制御するためだけの方法であり、普遍的な色を示すわけではありません。たとえば、同じCMYK値を、異なるインクと用紙の種類を使用する異なるプリンタに送信すると、印刷される色は異なります。たとえば、屋内用インクと屋外用インクを使い分けることができるプリンタの場合、プリンタ（ハードウェア）は同じですが、インクの化学組成が異なれば（染料と顔料）、異なる色域が2つ存在することになります。また、この化学組成によってインクと用紙の相互作用が変わるため、このようなプリンタではさまざまな用紙を使用する必要があります。このため、指定されたCMYK値の実際の印刷色は、プリンタで使用するインクと用紙の種類によって決まります。同じプリンタでもこのような現象が起こることから、印刷方式と使用するインクの化学組成が異なる別のプリンタの場合、当然同様の現象が起こります。

また、RGBで制御されるデバイスでも同じ現象が起こります。たとえば、製造元が同じ2台のモニタがあり、それぞれの白点が9600Kと6500Kであるとします。これらのモニタは異なる白点の基準に関係しているため、再現されるカラーが異なります。異なる製造元のモニタを比較すると、色の違いは明らかです。グラフィック アート業界での標準の色温度をエミュレートするには、モニタの白点を5000K（D50とも呼ばれます）に設定します。

注記： 白点とは、デバイスが再現できる最も明るい中性色、またはイメージに存在する最も明るい中性色のことです。人間の視覚器官は、自動的にその白点に基づいてイメージの内容に適応します。

RGBイメージ（デジタル カメラで撮影し、モニタで編集したイメージなど）を印刷する際には、まずイメージをCMYKに変換する必要があります。しかしながら、異なるデバイス間では同じ色域を使用できません。色によっては、ディスプレイ上では表示可能でも印刷物では再現できない場合や、その逆の場合があります。以下の図では、肉眼で見える色が、一般的なディスプレイやプリンタより多いことを示しています。また、これら2つの異なるカラー イメージング デバイスの色域がお互いに一致しないことを示しています。

1. すべての色
2. コンピュータのモニタの色域
3. CMYK印刷の色域

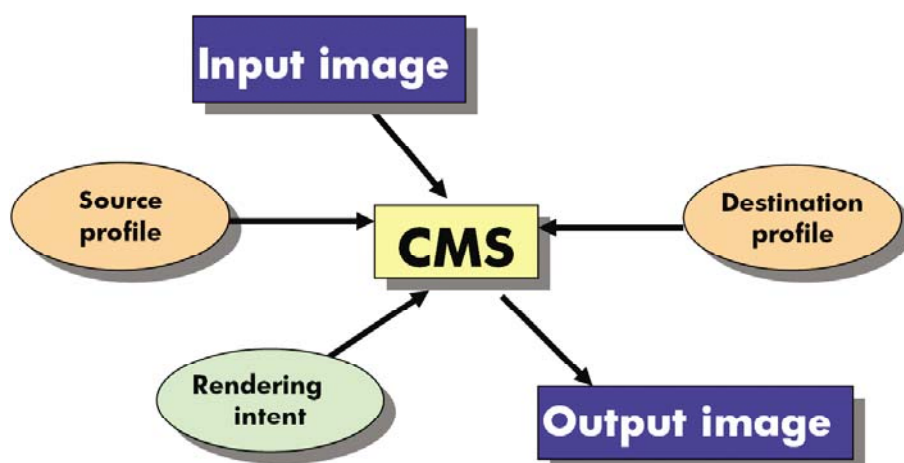
カラー スペースのなかには、CIE LabやCIECAM02など、デバイスに依存することなく、見る側が認識する色を表すものがあります。これらのカラー スペースは、CIE (Commission Internationale de l' Éclairage) によって定義されています。これらのカラー スペースの利点は、同じCIE Lab値を持つ2つのオブジェクトを同一条件下で見た場合に視覚的に同じになる点です。これらのカラー スペースの値は、オブジェクトによって放出反射される光を計測して得ることができます。

# 解決法：カラーマネジメント

CMYKデバイスでは再現できないRGBデバイスの色や、その逆の色は多数あります。これらの色を、「色域外」の色と呼びます。

1. **ICCプロファイルを使用して、デバイスの色の作用をできるだけ正確に記述します。** デバイスの色の作用を記述するには、RGBまたはCMYKのさまざまな組み合わせを選択してデバイスへ送信し、出力結果を計測して、非デバイス依存のカラー スペース（CIE Labなど）で結果の出力を表します。結果の関係はICCプロファイルに格納されます。このプロファイルは、デバイスのカラー スペース（CMYKまたはRGB）を非デバイス依存のカラー スペース（たとえば、CIE Lab）に変換する基準ファイルです。ICCプロファイルを生成する処理をプロファイリングと呼びます。

2. **カラーマネジメント システム（CMS）を使用して、カラーをできるだけ効果的に変換します。** CMSは、ICCプロファイルの情報を使用して、デバイスのカラー スペース（ソース プロファイルで定義）を別のデバイスのカラー スペース（ターゲット プロファイルで定義）に変換するソフトウェアです。この解決方法では、あるデバイスで使用される色域が別のデバイスでは使用されないことがあるため、カラーに関する問題が発生します。

次の4つの設定でCMSについて説明します。

- **CMS**： カラーマネジメント システム。入力イメージ内に格納された（ソース プロファイルで定義された）カラー スペースを持つカラー情報を、ターゲット プロファイルで指定されたカラー スペースを持つ出力イメージに変換するソフトウェアです。ソフトウェア プログラムのCMS、オペレーティング システムのCMS、印刷ソフトウェア のCMS（HP Designjet Z6100内蔵RIPのCMSなど）など、さまざまなCMSが市販されています。
- **ソース プロファイル**： 入力デバイスの色の作用の記述です
- **ターゲット プロファイル**： 出力デバイスの色の作用の記述です
- **レンダリング用途**： カラーマネジメントの最も難しい課題は、ソース内の色域とターゲット内の色域が直接対応していない場合です。完全に一致させることが不可能な場合、色域の違いを処理する方法についてオプションの種類を指定する必要があります。これらのてオプションの種類をレンダリング用途と呼びます。最終的に実現する出力によって、4つのオプションがあります。
  - 元のイメージがRGBの場合、[**知覚的**] を使用すると、最も良好な出力結果が得られます。写真などに適しています。
  - 鮮やかな最終出力を得るには、[**彩度**] を使用します。これはビジネス グラフィック（チャート、プレゼンテーションなど）に適していますが、色を一致させる場合は推奨しません。

- **相対カラーメトリック** は、印刷のプルーフィングに適しています。このレンダリング用途は、ソースとターゲットの色域の両方にある色は一致させ、一致させられない場合は差を最小限に抑えます。
- **絶対カラーメトリック** は、印刷のプルーフィング (相対カラーメトリックなど) で、ソースの用紙の色もシミュレートする場合に適しています。

よく使用されるデバイス カラー スペースとプロファイルを以下に示します。

- RGBモード :
  - **sRGB (sRGB IEC61966-2.1)** : 個人消費者向けのデジタル カメラやスキャナで作成されたイメージ、およびWebサイトなどのイメージに適しています。
  - **Adobe® RGB (1998)** : プロフェッショナル向けのデジタル カメラなどで作成された多くのイメージに適しています。
  - **特定のRGBデバイス スペース** : プロファイリングされた特定のRGBデバイスとの間でやり取りされるイメージに適しています。
- CMYKモード :
  - **SWOP** : 米国の一般的な印刷業者に合わせて定義された印刷規格である「Specifications for Web Offset Publications」の略語です。さまざまな種類の用紙に適しています。
  - **ISO 12647-2** : 国際標準化機構によって定義された印刷規格で、さまざまな種類 (コート紙、非コート紙など) の用紙に適しています。
  - **他の地域の規格** : Euroscale、JMPA、Japan Color。
  - **特定のCMYKデバイス スペース** : プロファイリングされた特定のCMYKデバイスとの間でやり取りされるイメージに適しています。HP Designjet Z6100には計測機能があり、RGB ICCプロファイルを生成します。このときプロファイルには、計測時に取り付けられていた用紙の色の作用が記述されます。

# 色と使用するプリンタ

プロのクリエーターにとって、使用するプリンタで期待通りの信頼できる結果が得られることは不可欠です。効率的なカラー ワークフローにとって、期待通りであることは重要な要素です。大量の出力でも、またプリンタを変えても、選択した用紙に適した中間色のグレーや正しい色で印刷される必要があります。高い信頼性により、品質に欠陥のない印刷物を常に作成し、顧客に渡すことができます。時間と労力を省き、インクと用紙を節約しながら、厳しい制作スケジュールに合わせて、確実に印刷を行うことが可能です。

HP Designjet Z6100 プリンタは、先進のハードウェアとドライバによって期待通りの信頼できる結果を約束し、効率性とカラー ワークフロー管理を劇的に向上させます。

## i1カラー テクノロジ搭載

HP Designjet Z6100シリーズ プリンタは、内蔵の分光測光器によるカラーキャリブレーションおよびプロファイリングにより、プロフェッショナルのカラー ワークフローに革命をもたらします。

分光測光器は、カラー パッチから反射する光の正確な構成を計測できる精密機器です。反射光を異なる波長要素に分解し、各要素の強さを計測します。HP 内蔵分光測光器はプリントヘッド キャリッジに搭載されています。

HP Designjet Z6100プリンタでは、分光測光器を使用して、使用する用紙の種類に適したカスタム ICCプロファイルが自動的に作成されます。次にプリンタのキャリブレーションが行われますが、大量の出力でも、またプリンタを変えても、あらゆる環境条件で、また未知の (工場でプロファイルされていない) 種類の用紙に印刷する場合でも、色の誤差は以前のHP Designjet製品の半分以下に抑えられています。内蔵の白色キャリブレーションタイルは自動シャッターで保護されており、国際標準に準拠した信頼性の高い計測が実現します。

GretagMacbethのi1カラー テクノロジによるプリンタ、カラー イメージング パイプライン、およびプロフェッショナル仕様の分光測光器がZ6100用のHP Color Centerソフトウェアに統合されています。キャリブレーションとプロファイリング処理を出力システムに直接アクセスさせることにより、印刷される各カラー パッチにおけるインク量や色分解を正確にコントロールすることができます。また、測定プロセスの自動化によって、テスト印刷の操作が不要になると共に、繰り返し乾燥時間の設定や、電気機械的な位置制御により、分光測光器のカラーパッチ上の正確な位置合わせを行いながらの高速な測定を行います。これによって、より高価なオフラインのハンドヘルド タイプのプロファイリング システムに勝るとも劣らない、これまでにない使いやすさを実現しています。

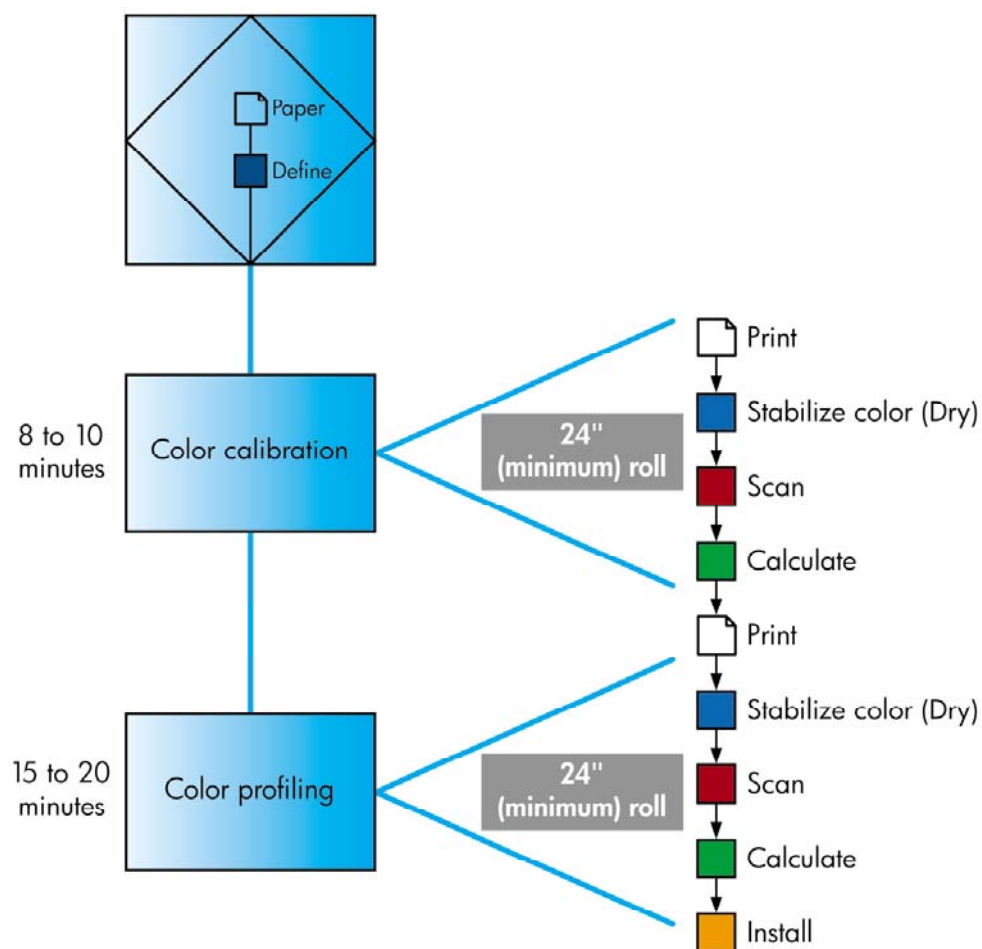
# カラーマネジメント プロセスの概要

正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。

1. 用紙の種類がプリンタで認識されない場合、プリンタの既存の用紙リストに用紙の種類を追加します。62 ページの 「HP純正以外の用紙を使用する 」を参照してください。ユーザは通常、毎年2～3種類のカスタム用紙を追加しています。
2. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションは、プリンタ アラートによる実行の推奨の通知があった際（通常は使用する用紙の種類ごとに数週間間隔で）、実行します。また、特に色再現が重要な印刷ジョブの前には、ただちにキャリブレーションを実行します。
3. 高いカラー精度を得るために、用紙の種類に対応したカラー プロファイルを作成します。通常は、プロファイリングを繰り返し行う必要はありません。特定の用紙の種類に作成したプロファイルをそのまま使用できます。ただし、プロファイリングを繰り返し実行しても問題はないため、毎月プロファイリング処理を実行してプロファイルをアップデートしてもかまいません。
4. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切なカラー プロファイルを選択します。

プリンタで定義された用紙の種類の場合、既に作成されたカラー プロファイルがプリンタに保存されています。ただし、使用前に用紙のキャリブレーションを行うことをお勧めします。

新しい用紙の種類を定義した場合は、キャリブレーションとプロファイリングの手順が自動的に開始されます。

以下の図には、HP Color Centerで処理される操作が順番に示されています。

注記： 図に示すように、3つの操作すべてを順番に実行することもできますが、3つの操作はどこから開始してどこで終了してもかまいません。ただし、新しい用紙の種類が追加されると、カラーキャリブレーションが自動的に実行されます。

# カラーキャリブレーション

お使いのプリンタは、カラーキャリブレーションを使用して、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一します。カラーキャリブレーションを行うと、異なる場所にある2つのプリンタから同じ内容の印刷物を出力することができます。

キャリブレーションは、以下の状況の場合に実行してください。

- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 最後にキャリブレーションを実行した後、一定量の印刷が行われた場合
- 長期間プリンタの電源をオフのままにしておいた場合
- 環境条件（温度や湿度など）が大きく変化した場合

アラートを無効に設定しない限り、プリンタは通常、カラーキャリブレーションが必要なときにアラートを表示します。ただし環境条件が変化してしまった場合には、プリンタはその変化を検出できません。

現在取り付けられている用紙のカラーキャリブレーション ステータスを確認するには、アイコンを選択し、次に［**用紙情報の表示**］－［**用紙の詳細を表示**］を選択します。ステータスは以下のいずれかの状態になります。

- ペンディング：この用紙でキャリブレーションが実行されていません。

**注記：** プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーション ステータスはペンディングにリセットされます。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。

- 推奨：キャリブレーションが必要な条件がプリンタにより認識されたため、プリンタ ソフトウェアはプリンタのキャリブレーションを実行することを推奨します。
- 失効：この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- OK：この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- 無効：この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

**注記：** 半透明ボンド紙、ならびに、クリア フィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、カラー キャリブレーションに適していません。

カラーキャリブレーション ステータスは、HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）でも確認できます。

カラー プロファイルを作成する前に、用紙の種類に対応するキャリブレーションを行ってください。後でカラーキャリブレーションを行う場合は、新しいカラー プロファイルは必要ありません。

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- キャリブレーションの実行を推奨するプリンタ アラートが表示された場合
- HP Color Centerで［**プリンタのキャリブレーション**］を選択した場合
- フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］－［**カラーキャリブレーション**］を選択します。

キャリブレーション処理は完全に自動化され、適切な用紙を取り付けた後は、無人で実行されます。幅61cm（24インチ）以上の用紙を使用してください。

この処理には8分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーション テスト チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。

2. カラーを安定させるため、テスト チャートは、インクが乾くまでプリンタに保持されます。時間は用紙の種類によって異なります。
3. HP 内蔵分光測光器によって、テスト チャートのスキャンと計測が行われます。
4. その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うため、計測結果を基に、必要な修正要素が算出されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

# カラー プロファイリング

**注記：** カラー プロファイリング情報は、PostScriptプリンタにのみ適用されます。

カラーキャリブレーションによって色調を統一することができますが、統一されているからといってカラー精度が高いとは限りません。

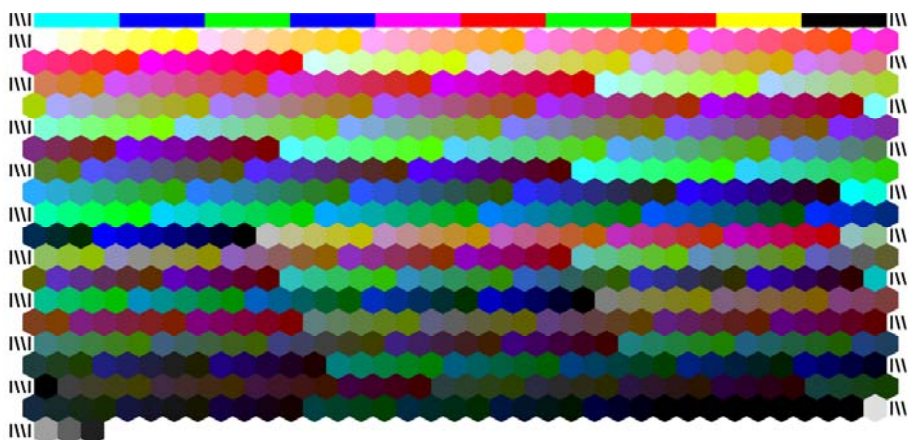
正確な色で印刷するためには、ファイル内でカラー値を変換し、プリンタ、インクおよび用紙を使用する際に適切な色が印刷できるように調整する必要があります。ICCカラー プロファイルにはプリンタ、インク、および用紙の組み合わせが記述されており、これらのカラー変換に関するすべての情報が含まれています。

新しい用紙の種類を定義してキャリブレーションを行うと、プリンタが使用する用紙に適したICCプロファイルを作成できる状態になり、これによって、最高のカラー精度が得られます。また、プリンタが認識済みの用紙の種類を使用する場合、その用紙に適したICCプロファイルがすでに作成されています。

## 独自のプロファイルを作成する

HP Color Centerでカラー プロファイルを簡単に作成できます。[**ICCプロファイルの作成およびインストール**] を選択します。用紙に関する情報を入力するよう求められます。続いて、新しいプロファイルが自動的に作成され、インストールされます。

この処理には15～20分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. プロファイリング テスト チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。キャリブレーション テスト チャートとは異なり、大部分のパッチにインクの組み合わせが使用されています。

**注記：** 乾燥時間を長く取る場合は、HP Color Centerで、プロファイルを作成せずにテスト チャートを作成することができます (Windows：[**ターゲットのみを印刷**] を選択、Mac OS：[**ICCプロファイリング チャートを印刷**] を選択)。チャートが完全に乾燥してからHP Color Centerを再起動し、作成済みのテスト チャートを使用するプロファイルを要求することができます (Windows：[**既に印刷されているターゲットからICCプロファイルを作成する**] を選択、Mac OS：[**ICCプロファイリング チャートをスキャンして、ICCプロファイルを作成します**] を選択)。分光測光器のウォーム アップが済んでからスキャンが開始されます。

2. HP 内蔵分光測光器によって、テスト チャートのスキャンと計測が行われます。

3. その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うため、計測結果を基に、必要な修正要素が算出されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

4. 新しいICCプロファイルは、ソフトウェア プログラムが参照できるように、コンピュータの適切なシステム フォルダに格納されます。

   プロファイルはプリンタにも格納されるので、同じプリンタに接続されている他のコンピュータにコピーできます。プロファイルは、内蔵Webサーバからジョブが送信されるとすぐにアクセスして使用できます。HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) では、コンピュータにまだ格納されていないプロファイルがプリンタにある場合、そのことが表示されます。

注記： 作成されたばかりのプロファイルを使用するには、アプリケーションを閉じて再起動することが必要な場合があります。

## サードパーティ製のプロファイルを使用する

インターネットからのダウンロード、またはサードパーティ製のプロファイリング ソフトウェア パッケージを使用するなど、プリンタ内蔵のプロファイリング ソフトウェアを使用する以外の方法でICCプロファイルを取得した場合でも、そのプロファイルをインストールし、プリンタおよび用紙で使用することができます。

注記： CMYKプロファイルのみ、インポートとエクスポートが可能です。

用紙の種類に対応するプロファイルをプリンタに伝える必要があります。そのため、まずプリンタが認識済みの用紙リストから用紙の種類を選択する必要があります。用紙の種類を選択する際に、実際の用紙の種類になるべく近いものを選択するようにしてください。用紙の種類によって、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータが決まるため、高品質の印刷結果を得るためにはここでの選択が重要となります。選択したプロファイルと用紙の種類で適切な結果を得られない場合は、異なる用紙の種類を選択し、その中から最適なものを選択します。

使用する用紙がリストにない場合、またはそれに近い用紙の種類が見つからない場合には、新しい種類を定義します。62 ページの 「HP純正以外の用紙を使用する 」を参照してください。定義後、その用紙を使用するためにプリンタのキャリブレーションを実行します。ICCプロファイルのインストールは、その後にすることができます。

用紙の種類を選択し、お使いのプリンタと用紙で使用するためのICCプロファイルのファイルを表示します。一般的に、ICCプロファイルのファイル名には、拡張子「.icc」(International Color Consortium) または「.icm」(Image Color Matching) が付きます。プロファイルは、コンピュータの適切なシステム フォルダとプリンタに格納されます。

## モニタのプロファイリングを行う

モニタ (ディスプレイ装置) もキャリブレーションとプロファイリングを行います。これによって、画面に表示される色が、印刷される色により近くなります。以下の方法でこの作業を行うことができます。

- オペレーティング システムを使用します。詳細については、HP Color Centerで [**ディスプレイのキャリブレーション**] を選択してください。
- オプションのHP Advanced Profiling Solutionを使用する方法。より正確な結果が得られます。

## HP Advanced Profiling Solution

HPとX-Riteは、GretagMacbeth™テクノロジで強化されたHP Advanced Profiling Solutionを共同で開発しました。このソリューションは、HPプリンタ内蔵の分光測光器を利用して、きめ細かくキャリブレーションされた革新的なICCカラー ワークフローを提供します。

HPプリンタ用にカスタマイズされたHP Advanced Profiling Solutionでは、強力で自動化された効率のよいカラーマネジメント システムを提供します。このカラーマネジメント システムを使用すると、完全に簡素化されたワークフローを実現できます。これによって、オフラインの計測デバイスのわずらわしい作業が減り、時間やコストを節約できます。GretagMacbethとHPは共同で、デザイナー、写真家、その他のプロのクリエーターが使用することで、正確で一貫したプルーフおよび写真品質の印刷を実現できる新しいツールを提供します。

HP Advanced Profiling Solutionには次のものが含まれます。

- HP Colorimeterモニタ キャリブレータ。この機能を使用して、LCD、CRT、およびラップトップのすべてのモニタを正確にキャリブレーションおよびプロファイリングできます。
- ICC プロファイル作成および編集ソフトウェア プログラム。HP Color Centerに含まれる機能を超えた追加機能が提供されます。

HP Advanced Profiling Solutionを使用して以下の操作を実行します。

- 画面と印刷物の間のカラーマッチング。
- カラー プロファイルを視覚的に高精度に編集する。
- 順を追ったソフトウェア インタフェースを使用した簡単な作業。追加のマニュアルは必要ありません。
- すべての用紙の種類のRGBまたはCMYKでのカラー プロファイルの生成。

HP Advanced Profiling SolutionはHPが完全にサポートします。そのため、複数の会社のさまざまなサポート組織とやり取りする必要がなくなります。

## 主な機能

HP Advanced Profiling Solutionでは、以下のように色の制御ができます。

- LCD、CRT、ラップトップなど、あらゆる種類のモニタ上でキャリブレーションおよびプロファイルを行います。
- 高い印刷精度を保証するために、HPソフトウェア ドライバ経由で自動RGBメディア プロファイリングを行います。
- 高い精度の印刷およびプルーフのためにプリンタでRIP (Raster Image Processor) を実行する場合に、自動CMYKメディア プロファイリングを行います。
- 最終的な色の制御のためのプロファイルを簡単に視覚的に編集します。

# カラーマネジメント オプション

カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには2つの基本的な方法があります。

- **[アプリケーションで管理]**：この場合、ソフトウェア プログラムで、イメージに埋め込まれたICCプロファイルやプリンタおよび用紙の種類のICCプロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラー スペースに合わせてイメージの色が変換されます。
- **[プリンタで管理]**：この場合、ソフトウェア プログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラー スペースに合わせて色が変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。
  - **[PostScript]**：プリンタ内部のPostScriptインタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイルおよびPostScriptジョブと共に送信されたプロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは、PostScriptドライバを使用していてプリンタのカラーマネージメントを指定した場合や、内蔵Webサーバを介してプリンタにPostScriptまたはPDFファイルを直接送信した場合に実行されます。どちらの場合も、デフォルトとして使用するプロファイル（ジョブで指定されない場合に備えて）および適用するレンダリング用途を選択する必要があります。
  - **[PostScript以外（PCL、RTL、HP-GL/2）]**：カラーマネジメントは、保存されたカラー テーブルのセットを使用して実行されます。ICCプロファイルは使用されません。この方法は前の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的なHPの用紙の種類で良好な結果が得られます。この種のカラーマネジメントは、PostScript以外のドライバを使用していてプリンタのカラーマネージメントを指定した場合や、内蔵Webサーバを介してプリンタにPostScript以外のファイルを直接送信した場合に実行されます。

**注記：**　プリンタに格納されているカラー テーブルでプリンタのカラー スペースに変換できるカラー スペースは、2つだけです（Windowsの場合はAdobe RGBとsRGB、Mac OSの場合はAdobe RGBとCYMK）。

使用するソフトウェア プログラムのカラーマネジメント オプションの使用方法については、http://www.hp.com/go/knowledge_center/djz6100/ のHP Knowledge Centerを参照することをお勧めします。

設定する場所に基づいて、**[アプリケーションで管理]** および **[プリンタで管理]** を選択します。

- **Windowsドライバの場合**：**[カラー]** タブをクリックします。
- **Mac OSの [プリント] ダイアログ ボックスの場合**：**[カラー品質]** パネルを選択します。
- **一部のアプリケーションの場合**：アプリケーションで選択できます。

カラーマネジメント

# カラー調整オプション

カラー調整の目的は、正確な色を出力することにあります。カラーマネジメントを適切に実行し、手動でカラー調整を行うことなく、正確な色を出力します。ただし、以下の状況では手動での調整が便利です。

- カラーマネジメントで正確な色が得られない場合
- 正確さより主観的に好ましい色が求められる場合

印刷の色は、WindowsとMac OSでほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windowsドライバのダイアログの場合**：［**カラー**］タブを選択し、［**カラー印刷**］を選択します。［**カラー詳細調整**］チェック ボックスが選択されていることを確認してから、［**設定**］ボタンをクリックします。
- Mac OSの［プリント］ダイアログ ボックスの場合：［**カラー品質**］パネルを選択して、次に［**CMYK設定**］を選択します。

どちらのオペレーティング システムでも、黒スライダと3つのカラー調整スライダを使用して調整できます。

- 黒スライダは、印刷全体を明るくしたり、暗くしたりします。
- カラー調整スライダは、印刷で各原色を弱めたり、強調したりするために使用できます。原色は、イメージで使用されているカラー モデルに応じて、レッド、グリーン、ブルー、またはシアン、マゼンタ、イエローのどちらかになります。

# 黒点の補正を行う

**注記：** このオプションは、PostScriptジョブまたはPDFジョブを印刷する場合にのみ使用できます。

［黒点の補正］オプションでは、カラー スペース間でカラー変換を行ったときに、黒点の差異を調整するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、変換元スペースのダイナミック レンジが変換先スペースのダイナミック レンジにマッピングされます。このオプションにより、変換元スペースの黒点が変換先スペースの黒点より濃い場合に、暗い部分が表示されなくなるのを防ぐことができます。このオプションは、レンダリング用途に［相対カラーメトリック］が選択されている場合のみ使用できます。153 ページの 「レンダリング用途を設定する 」を参照してください。

黒点の補正は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用PostScriptプリンタ ドライバの場合：［**カラー**］タブを選択し、［**黒点の補正**］を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：［**カラー品質**］パネルを選択し、［**黒点の補正**］を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：［**ジョブの送信**］ページを選択し、［**カラー**］－［**黒点の補正**］を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**カラー オプション**］－［**黒点の補正**］を選択します。

# レンダリング用途を設定する

注記：　このオプションは、PostScriptジョブまたはPDFジョブを印刷する場合にのみ使用できます。

レンダリング用途とは、カラー変換を行う際の設定の1つです。印刷する色によっては、プリンタでその色を再現できない場合があるため、レンダリング用途を使用すると、これらの色域外の色を処理する4つの方法のいずれかを選択できます。

- ［**彩度**］：明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- ［**知覚的**］：中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。この設定の場合、カラーの全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- ［**相対カラーメトリック**］：特定のカラーと調和させる場合に最適です。主にプルーフ用に使用され、正確にカラーを印刷できる状態では、正確なカラーが確実に印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現されますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラー スペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- ［**絶対カラーメトリック**］：相対カラー メトリックと同様ですが、このオプションでは、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にプルーフ用に使用されますが、この場合のプルーフは、1台のプリンタの出力のシミュレーション（白点を含む）を目的に行います。

レンダリング用途は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用PostScriptプリンタ ドライバの場合：［**カラー**］タブを選択し、［**レンダリング用途**］を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：［**カラー品質**］パネルをクリックし、［**レンダリング用途**］を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：［**ジョブの送信**］ページを選択し、［**カラー**］－［**レンダリング用途**］を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**カラー オプション**］－［**レンダリング用途の選択**］を選択します。

カラーマネジメント

# HP プロフェッショナルPANTONE* エミュレーション

イメージで特定のPANTONE*カラーを使用すると、通常、ソフトウェア プログラムによってそのカラーに近いCMYKまたはRGBカラーがプリンタに送信されます。ところが、ソフトウェアではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONE*カラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション] では、プリンタや用紙の種類の特性を考慮に入れることによって、特定のプリンタで特定の用紙を使用して再現されるカラーは、元のPANTONE*カラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルが行ったエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション] を使用するには、この機能をオンにするだけです。

- Windows PostScriptプリンタ ドライバのダイアログの場合：**[カラー]** タブをクリックして **[HPプロフェッショナルPANTONEエミュレーション]** を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：**[カラー品質]** パネルをクリックし、**[HPプロフェッショナルPANTONEエミュレーション]** を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：**[ジョブの送信]** ページを選択し、**[カラー]** - **[HPプロフェッショナルPANTONEエミュレーション]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：アイコンを選択し、次に **[印刷設定]** - **[カラー オプション]** - **[黒点の補正]** を選択します。

注記： [HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション] は、PostScriptジョブまたはPDFジョブを印刷する場合にのみ使用できます。

また、内蔵Webサーバを使用して、プリンタが再現するPANTONE*カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することもできます。この見本帳には、各エミュレーションと元のANTONE*スポット カラーの間の色の差（ΔE）の値も示されます。[HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション] を使用すると、お使いのプリンタで実現できる最も一致するカラーを再現できるだけでなく、そのエミュレーションが元のスポット カラーにどの程度近いかに関する明確な情報も得ることができます。

見本帳を印刷するには、内蔵Webサーバの **[メイン]** タブを選択し、**[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]** を選択します。エミュレートするPANTONE*ストックを選択し、印刷するPANTONE*カラーを選択します。必要なカラーをすべて選択したら、**[印刷]** ボタンをクリックします。

# カラー エミュレーション モード

特定の印刷ジョブが、別のHP Designjet シリーズ プリンタでどのような色で印刷されるか、およその色を確認したい場合は、プリンタのエミュレーション モードを使用します。

- Windows用ドライバのダイアログ ボックスの場合：[**カラー**] タブをクリックし、[**プリンタで管理**] を選択し、[**ソースプロファイル**] プルダウン メニューから [**プリンタのエミュレーション**] を選択します。次に、[**エミュレートされるプリンタ**] プルダウン メニューから選択します。
- Mac OSの [**プリント**] ダイアログ ボックスの場合：[**カラー品質**] パネルを選択して、次に [**プリンタのエミュレーション**] を選択します。次に、[**エミュレートされるプリンタ**] プルダウン メニューから選択します。
- フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [**印刷設定**] – [**カラー オプション**] – [**プリンタのエミュレート**] を選択します。

以下のプリンタのエミュレーションが可能です。

- HP Designjet 1050c Plus
- HP Designjet 1055cm Plus
- HP Designjet 5500 UVシリーズ
- HP Designjet 5500 Dyeシリーズ

以下の表は、プリンタのエミュレーションで最高の結果を得るための、印刷品質設定と用紙の推奨される組み合わせをまとめたものです。

| | 高品質 | 標準 | 標準-高速 |
|---|---|---|---|
| **HP プレミアム速乾光沢フォト紙** | はい | はい | いいえ |
| **HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙** | はい | はい | いいえ |
| **HP 厚手コート紙** | はい | はい | いいえ |
| **HPコート紙** | はい | はい | はい |
| **HP インクジェット普通紙** | はい | はい | はい |

注記： The HP Designjet 5500 UVおよびHP Designjet 5500 Dyeシリーズ プリンタは、HPインクジェット普通紙をサポートしません。

## CMYKカラー エミュレーション

CMYKエミュレーションのオプションはすべて、PDFファイル、PostScriptファイル、TIFFファイル、およびJPEGファイルにのみ使用できます。

従来の処理では、CMYKスペースでカラーが定義されます。最高の印刷結果を得るには、カラーをプリンタに合わせて調整する必要があります。これは、プリンタが変わると同じCMYKデータから異なるカラーが生成されるためです。印刷中のイメージ ファイルがHP Designjet Z6100プリンタに合わせて

作成されていない場合は、プリンタから再調整を要求するメッセージが表示されます。再調整を行うには、プリンタの以下のオプションからいずれかを選択します。

- [米国 Web Coated (SWOP) 2]：インクの総使用量300%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [米国 Web Coated 2]：インクの総使用量260%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [米国 Sheetfed Coated 2]：インクの総使用量350%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [米国 Sheetfed Coated 2]：インクの総使用量260%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [Euroscale Coated v2]：インクの総使用量350%、ポジ版、普通コート紙の印刷条件下で、Euroscaleインクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [Euroscale Coated v2]：インクの総使用量260%、ポジ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、Euroscaleインクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [HP CMYK Plus]：HP独自の再レンダリング方式で、ほとんどの商業用のデジタル印刷で最適な印刷結果を得られます。限定された色域を拡張し、豊富な色彩を実現します。
- [JMPA]：オフセット印刷用の日本国内の規格です。
- [Photoshop 4デフォルトCMYK]
- [Photoshop 5デフォルトCMYK]
- その他の [HP Designjet] プリンタをエミュレートできます。
- [なし (ネイティブ)]：エミュレーションを行いません。ソフトウェアまたはオペレーティング システムでカラー変換が行われた場合に使用します。したがって、プリンタに既にカラーマネージメント済みのデータを送る場合に使用します。

フロントパネルと内蔵Webサーバを使用する場合は、さらに以下のオプションを利用できます。

- [Japan Color 2001 Coated]：Japan Color 2001のタイプ3 (コート紙) の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- [Japan Color 2001 Uncoated]：Japan Color 2001のタイプ4 (普通紙) の仕様に準拠します。これは、インクの総使用量310%、ポジ版、普通紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- [Japan Web Coated (Ad)] は、日本国内の雑誌および広告業界向けにイメージのデジタル プルーフ用として日本雑誌協会が作成した仕様に準拠しています。
- [Toyo] は、高品質の色分解を行うための東洋インキ製造独自の仕様です。
- [DIC] は、高品質の色分解を行うための大日本インキ化学工業独自の仕様です。

**注記：** 以上のオプションは、ソフトウェアで独自のCMYKスペース (PostScriptではキャリブレートされたCMYKまたはCIEBasedDEFGと言う) が定義されている場合は無効になります。

## RGBカラー エミュレーション

以下のオプションは、PDFファイル、PostScriptファイル、TIFFファイル、JPEGファイルに使用できます。HP-GL/2およびRTLファイルでは、sRGBおよびAdobeRGBのみがサポートされます。

RGBイメージを印刷する場合は、CMYKデータに変換する必要があります。ソフトウェアまたはオペレーティング システムで変換できる場合もあります。この変換を行うため、プリンタで以下のカラー プロファイルを使用します。

- **[なし (ネイティブ)]**：エミュレーションを行いません。プリンタは、デフォルト設定の内部変換を使用してRGBをCMYKに変換します。特定のカラー標準には準拠しません。これは、結果が悪くなるということではありません。
- **[sRGB IEC61966-2.1]**：一般的なPCモニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーから支持されており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア プログラムに標準装備されるカラー スペースになりつつあります。
- **[ColorMatch RGB]**：Radius Pressviewモニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、[Adobe RGB (1998)] よりも色域が狭く、印刷製作作業に使用することができます。
- **[Apple RGB]**：一般的なAppleモニタの特性をエミュレートし、さまざまなDTPアプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Appleモニタでファイルを表示する場合、または古いDTPファイルを処理する場合に使用します。
- **[Adobe RGB (1998)]**：RGBカラーの広い色域を再現します。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

# 8　実際の印刷（例）

## 概要

ここでは、特定のソフトウェアを使用した特定の印刷ジョブを手順を追って説明します。これは、Web上にあるHPのKnowledge Centerに掲載されているものとほとんど同じです。RIPでのシナリオなど、その他の例および最新の情報については、Knowledge Center (http://www.hp.com/go/knowledge_center/djz6100/) を参照してください。

印刷例

# Adobe Photoshop（HP-GL/2およびPostScriptドライバ）を使用してイメージのサイズを変更する

## アプリケーションの設定

1. Adobe Photoshopを開き、[**イメージ**] メニューから、[**画像解像度**] を選択します。

   [**画像解像度**] ダイアログ ボックスが表示されます。

2. 解像度のオプションを設定します。

   - [**ピクセル数**]：出力されるページ サイズを設定します。
   - [**ドキュメントのサイズ、解像度**]：出力されるページ サイズと解像度を設定します。一般的なガイドラインとして、印刷品質設定に基づいて解像度を設定してみてください。以下の表を参照してください。

| 印刷品質設定 | 推奨解像度の設定 |
|---|---|
| 高速 | 300 |
| 標準-高速 | 300～600 |
| 標準 | 600～900 |
| 高品質 | 1200 |

     印刷品質設定についての詳細は、100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。

   - [**縦横比を固定**]：元のイメージの縦横比を保持する場合、このオプションを選択します。
   - [**画像の再サンプル**]：画像の再サンプルが行われると、内挿法を使用し、イメージ内のピクセルのカラー値に基づいて、Photoshopが作成する新しいピクセルにカラー値を割り当て

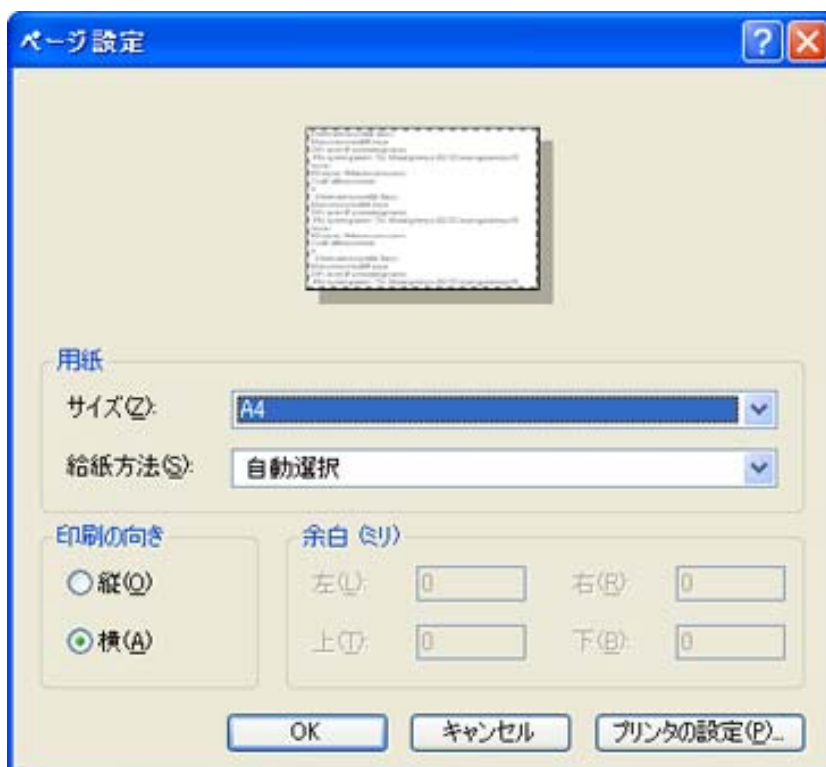
印刷例

ます。Photoshopが使用する高度な方法により、イメージを再サンプルしたときの元のイメージ品質とディテールが保たれます。以下の再サンプル オプションの1つを選択します。

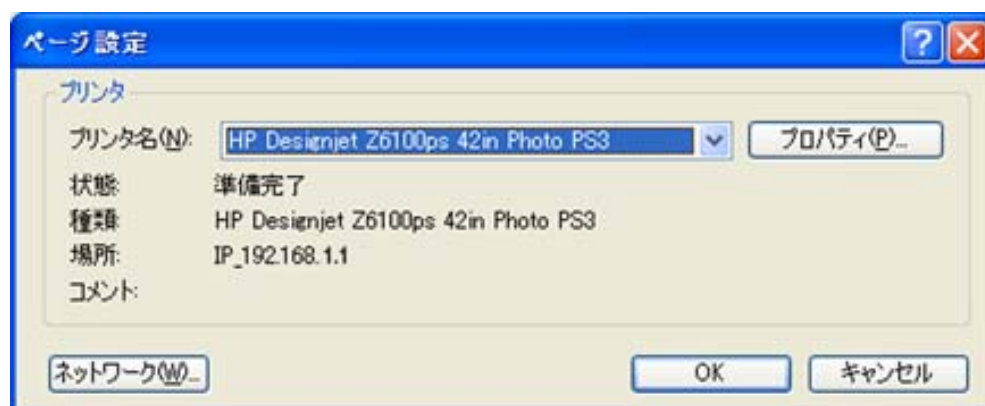
- **[ニアレストネイバー法]**：高速な反面、正確性が低い方法でイメージ内のピクセルが再現されます。この方法は、アンチ エイリアスされていないエッジが含まれているイラストで使用し、エッジが鮮明に保持されるためファイルを小さくできます。ただし、この方法の場合、イメージを歪めたり、イメージを拡大縮小したり、あるいは複数の操作を行ったりすると、ギザギザが鮮明になります。
- **[バイリニア法]**：周囲のピクセルのカラー値を平均させてピクセルを追加します。結果として、中程度の品質が得られます。
- **[バイキュービック法]**：周囲のピクセルの値を調べて基にするため、低速な反面、より正確な方法です。より複雑な計算が行われるため、バイキュービック法を使用すると、ニアレストネイバー法やバイリニア法と比較して、より滑らかな階調のグラデーションが生成されます。
- **[バイキュービック法（滑らか）]**：バイキュービック法の内挿を基にしたイメージを拡大する場合には良い方法ですが、より滑らかな結果が得られるように設計されています。
- **[バイキュービック法（シャープ）]**：バイキュービック法の内挿を基にしたイメージを、よりシャープにしてサイズを縮小する場合に適した方法です。この方法の場合、再サンプルしたイメージのディテールが保持されます。バイキュービック法（シャープ）を使用するとイメージの一部が過度に尖ってしまう場合は、バイキュービック法を使用してみてください。

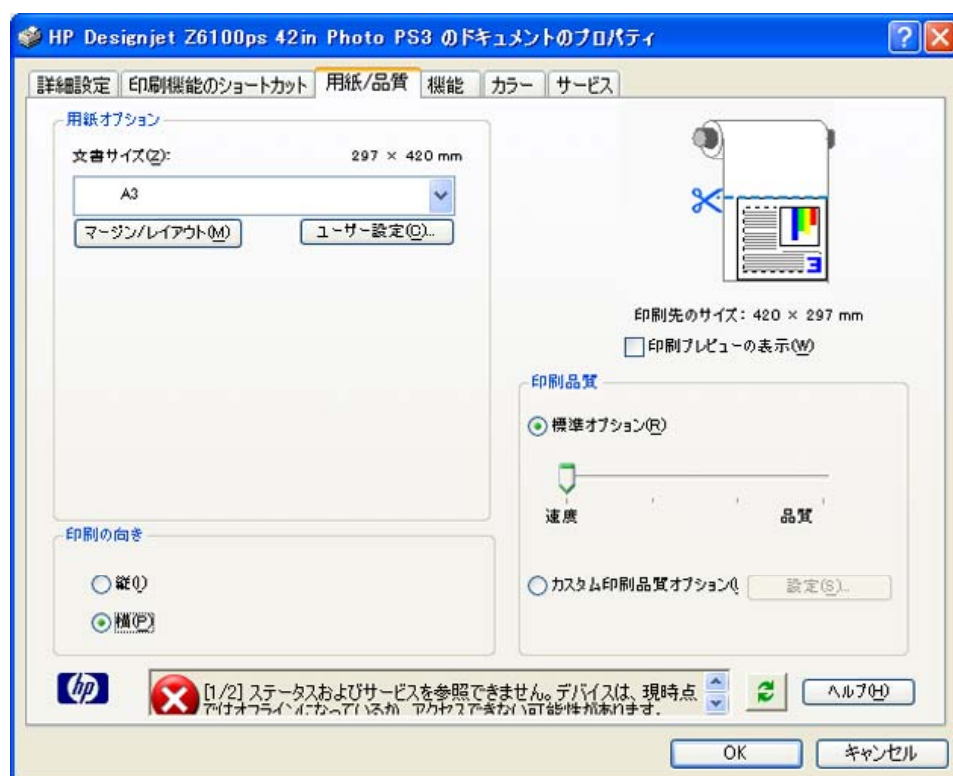
3. 解像度のオプションを設定したら、[OK] ボタンをクリックします。
4. **[ファイル]** メニューから **[プリントプレビュー]** を選択します。
5. **[ページ設定]** ボタンをクリックします。

   **[ページ設定]** ダイアログ ボックスが表示されます。

印刷例

6. ［**用紙のサイズ**］プルダウン メニューで、印刷するイメージのページ サイズとマージン設定を選択し、［**プリンタの設定**］ボタンをクリックします。

   新しい［ページ設定］ダイアログ ボックスが表示されます。

7. ［**ページ設定**］ボタンをクリックします。

8. プリンタと用紙サイズを選択し、［**プロパティ**］ボタンをクリックします。

   プリンタ ドライバのダイアログ ボックスが表示されます。

9. 必要な印刷オプションを設定し、次に、［OK］ボタンをクリックします。印刷オプション設定についての詳細は、99 ページの 「印刷オプション」を参照してください。

印刷例

# カラー写真を印刷する（Photoshop CS2 v9.0、Win）

この例では、Windows XP環境でAdobe Photoshop CS2 V9.0を使用します。カラーマネジメントはPhotoshopによって行います。

1. 推奨される初期設定
   - ジョブに応じて適切な用紙の種類を選択します。
   - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。144 ページの 「カラーキャリブレーション 」および146 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。
   - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe Photoshop CS2を開きます。
3. ［**編集**］メニューから［**カラー設定**］を選択します。
   - ［**詳細オプション**］が表示されていることを確認します。
   - ［**カラーマネジメントポリシー**］で、［**埋め込まれたプロファイルの保持**］を選択します。
   - ［**プロファイルの不一致**］で、［**開く時に確認**］と［**ペーストする時に確認**］を選択します。
   - ［**埋め込みプロファイルなし**］で、［**開くときに確認**］を選択します。
   - ［**変換オプション**］で、［**詳細オプション**］ボタンをクリックして［**変換オプション**］を開き、次に［**マッチング方法**］-［**知覚的**］を選択します。
   - ［OK］ボタンをクリックします。
4. ［**ファイル**］メニューから［**開く**］を選択し、イメージを開きます。
   - ドキュメントに、現在の作業用スペースと一致しない埋め込みプロファイルがある場合は、［**作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用**］を選択します。そうでない場合は、［**作業用RGBを指定**］を選択します。

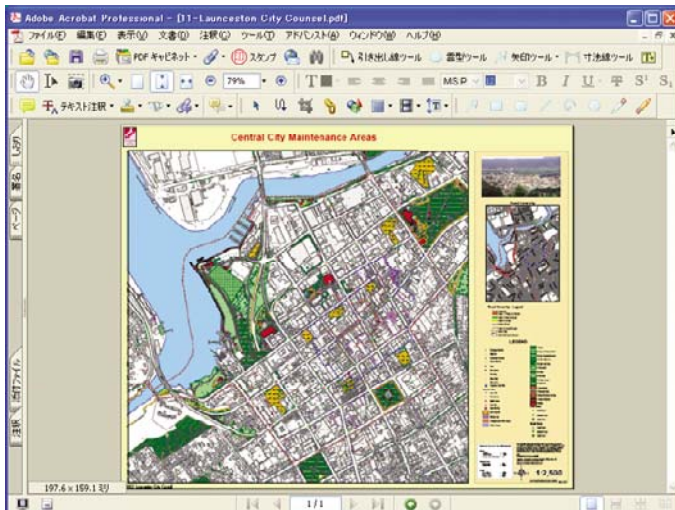
     このとき、イメージのカラーが適切であるように見えない場合は、［**編集**］-［**プロファイルの指定**］を選択して、［**sRGB**］、［**Adobe RGB**］、［**ColorMatch RGB**］など、他のカラー スペースを試します。
   - ［OK］ボタンをクリックします。
5. ［**ファイル**］メニューから［**プリントプレビュー**］を選択します。
   - ［**用紙設定**］を選択します。
   - プリンタを選択します（例：［**HP Designjet Z6100ps 60-インチ**］）。
   - ［**用紙サイズ**］：プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
   - ［**方向**］：用紙上の画像の向き（縦または横）を選択します。
   - ［OK］ボタンをクリックします。
   - 必要な［**位置**］と［**拡大・縮小したプリントサイズ**］を設定します。
   - ［**詳細オプション**］が表示されていることを確認します。
   - ［**カラーマネジメント**］タブをクリックします。

- ［**プリント**］:［**ドキュメント**］を選択します。
- ［**オプション**］ – ［**カラー処理**］を選択し、次に［**Photoshopによるカラー処理**］を選択します。
- ［**オプション**］ – ［**プリンタプロファイル**］を選択し、次に 使用するプリンタと用紙の種類に適したプロファイルを選択します。
- ［**オプション**］ – ［**マッチング方法**］を選択し、次に［**知覚的**］を選択します。
- ［**プリント**］ボタンをクリックします。

6. ドライバ設定を選択します。
   - ［**プリンタ**］: プリンタを選択します（[**HP Designjet Z6100ps 60インチ**]）。
   - ［**用紙/品質**］タブをクリックし、次のオプションを指定します。
     - ［**用紙オプション**］: プリンタに現在取り付けられている用紙の種類を選択します。
     - ［**品質**］:［**標準**］を選択し、スライダを［**品質**］にドラッグします。
   - ［**カラー**］タブをクリックし、次のオプションを指定します。
     - ［**カラー印刷**］を選択します。
     - ［**カラーマネジメント**］で、［**アプリケーションで管理**］を選択します。
   - ［**印刷**］ボタンをクリックします。

# 正しい倍率で試し印刷する

## Adobe Acrobatを使用する

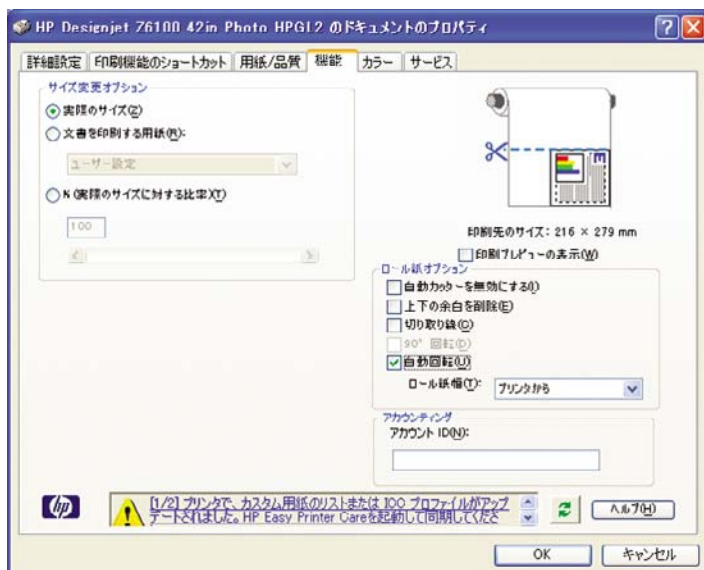
1. Acrobatのウィンドウで、マウスのカーソルを画面の左下隅まで移動して図面のサイズを確認します。

2. ［ファイル］－［印刷］をクリックします。

**注記：** ページ サイズは、描画サイズに従って自動的に選択されるわけではありません。

3. 倍率を維持するために、[**ページの拡大/縮小**] を [**なし**]（これはデフォルトの設定ではありません）に設定します。

4. [**プロパティ**] ボタンをクリックし、[**用紙/品質**] タブをクリックします。

5. 使用する [**文書サイズ**] および [**印刷品質**] を選択します。[**ユーザー設定**] ボタンをクリックして新しいカスタム用紙サイズを定義します。

6. ［機能］タブをクリックし、［自動回転］を選択します。

7. ［OK］をクリックし、［印刷］ダイアログ ボックスの印刷プレビューが正しいことを確認します。

印刷例

# 一貫したカラーでジョブを再印刷する

このシナリオでは、すべての印刷結果に一貫したカラーを使用する方法を説明します。

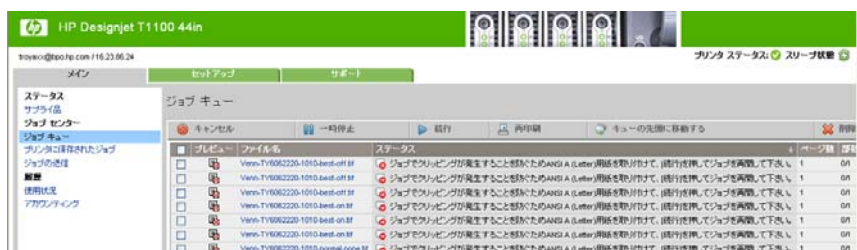
**注記：** HPは、同じ機種のプリンタで同じ種類の用紙を使用して実行される印刷ジョブ間でのカラーの一貫性をサポートします。

## シナリオ1

同じプリンタを使用して、一貫したカラーでジョブを再印刷します。

ジョブの再印刷時に一貫したカラーを使用するには、同じ種類の用紙を使用してください。

1. 取り付けられている用紙の種類に対して、カラーキャリブレーションが有効なことを確認してください。フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**用紙情報の表示**］－［**用紙の詳細を表示**］を選択します。［**用紙情報**］ウィンドウで、［**カラー キャリブレーション**］が［OK］になっていることを確認します。カラーキャリブレーションが［**待機**］または［**推奨**］になっている場合、HP Color Centerまたはフロントパネルからカラーキャリブレーションを実行します。

2. ジョブの再印刷：内蔵Webサーバから［**ジョブ キュー**］に移動し、再印刷するジョブを選択し、［**再印刷**］ボタンをクリックします。

ファイルがプリンタに保存されている場合も、もう一度印刷できます。内蔵Webサーバから［**プリンタに保存されたジョブ**］に移動し、印刷するジョブを選択してから［**印刷**］ボタンをクリックします。

## シナリオ2

2台のHP Designjet Z6100プリンタを使用して、ジョブを再印刷します。

ジョブの再印刷時に一貫したカラーを使用するには、同じ種類の用紙を使用してください。

1. 両方のプリンタに取り付けられている用紙の種類に対して、カラーキャリブレーションが有効なことを確認してください。フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**用紙情報の表示**］－［**用紙の詳細を表示**］を選択します。［**用紙情報**］ウィンドウで、［**カラー キャリブレーション**］が［OK］になっていることを確認します。カラーキャリブレーションが［**待機**］または［**推奨**］になっている場合、HP Color Centerまたはフロントパネルからカラーキャリブレーションを実行します。

2. ジョブを印刷します。

# ESRI ArcGIS 9を使用してマップを印刷する

ArcGISは、地図データの作成、管理、統合、分析、および配布に使用するスケーラブルなソフトウェア システムです。個人ユーザからネットワークで接続された各国ユーザに至るまで、あらゆる組織に対応しています。

このソフトウェアでは、RGBデータが常にプリンタ ドライバに送信されます。複数のプリンタエンジンから使用するエンジンを選択します。プリンタ エンジンにより、ArcMapがプリンタ ジョブをプリンタに送信するときに使用する形式と方法が決定されます。ライセンスとプリンタの設定に応じて、1種類から3種類のオプションを使用できます。

- [Windows] ：デフォルトです。使用するプリンタに関係なく、いつでも使用できます。ソフトウェアは、インストールされているHP-GL/2およびRTL ドライバを使用できます。
- [PostScript] ：プリンタがPostScriptをサポートしており、[Name] セクションでPostScript ドライバが選択されている場合にのみ、使用できます。この場合は、ファイルをPostScriptファイルとして出力できます。このオプションは、特定の状況では便利ですが、通常の使用にはお勧めできません。
- [ArcPress] ：ArcGISの印刷用拡張機能です。別途購入が必要です。これはソフトウェアRIPで、元のメタファイルをプリンタに送信する前にラスタ データに変換します。従って、プリンタでラスタ データに変換する必要がなくなります。プリンタにラスタ データへの変換機能がないか、プリンタに大きなジョブを処理できるだけのメモリがない場合に便利です。ArcPressは常にHP RTL (RGB) TrueColorで使用します。



## Windowsプリンタ エンジンを使用する

1. HP-GL/2 & RTL ドライバがインストールされていることを確認します。
2. 印刷する準備ができたら、**[ファイル]** - **[ページ設定/印刷設定]** をクリックし、HP-GL/2およびRTL ドライバを選択します。

3. ［プロパティ］ボタンをクリックし、以下のようにドライバを設定します。

- **［用紙/品質］**タブで、**［印刷品質］**を**［品質］**に設定します。
- **［カラー］**タブで、**［グレースケールで印刷］**チェック ボックスをオフにし、**［ソース プロファイル］**プルダウン メニューで**［プリンタで管理］**を**［sRGB］**に設定します。

4. ［OK］ボタンをクリックします。

5. **［ファイル］**－**［印刷］**をクリックします。

- **［プリンタ エンジン］**：［Windows Printer］を選択します。
- **［出力画像の品質（リサンプリング率）］**：ArcMapの印刷ファイル生成時のサンプル ピクセル数を変更します。また、プリンタに送信するファイルの作成に使用される、地図ドキュメントのピクセル数を指定します。
  - 粗い（速い）＝1:5
  - 標準＝1:3
  - 精密（遅い）＝1:1（そのまま）

**［精密（遅い）］**を選択すると、印刷ジョブの処理に大量のリソースを消費します。地図のサイズによっては、処理の完了に時間がかかったり、メモリ不足を示すメッセージが表示されたりする場合があります。このような場合は、［出力画像の品質］を**［精密（遅い）］**よりも低くしてください。プリンタの入力解像度より高い解像度のイメージを送信しても、印刷品質が向上するわけではありません。

6. ［OK］ボタンをクリックして印刷します。

## ArcPressプリンタ エンジンを使用する

1. 必要なドライバがインストールされていることを確認します。ただし、このドライバはポートとしてのみ機能します。

2. 印刷する準備ができたら、[**ファイル**] - [**ページ設定/印刷設定**] を選択します。ドライバを選択し（ドライバの設定は影響しません)、[OK] ボタンをクリックします。

3. [**ファイル**] - [**印刷**] をクリックします。

   - [**プリンタ エンジン**] : [**ArcPressプリンタ**] を選択します。
   - [**プロパティ**] ボタンをクリックします。[HP RTL (RGB) TrueColor] ドライバを選択し、ドライバに送信される解像度を選択します。

   - ガンマ、明るさ、コントラスト、または彩度を調整する場合は、[**色調整**] タブを選択します。変更結果はプレビューで確認できます。

4. 印刷するには、このダイアログ ボックスおよび [**印刷**] ダイアログ ボックス両方の [OK] ボタンをクリックします。

印刷例

# 9　プリンタの保守

## プリンタの外部をクリーニングする

湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹸など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用して、プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分（インクカートリッジの引き出し用のハンドルなど）のクリーニングを行います。

**警告！** 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

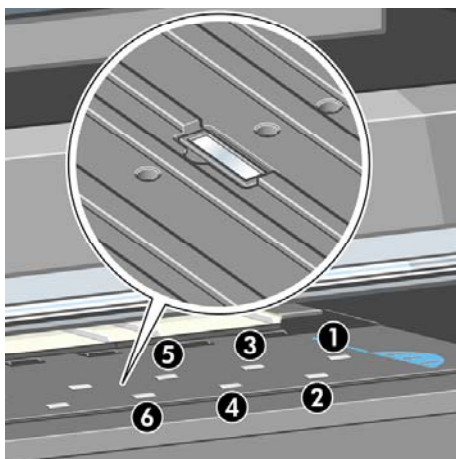
**注意：** プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

プリンタの保守

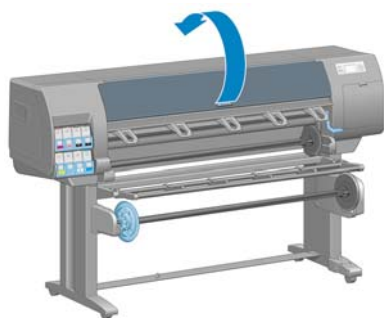
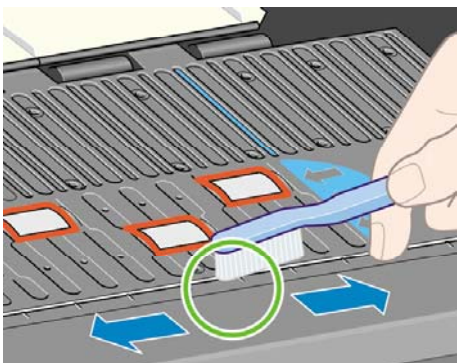
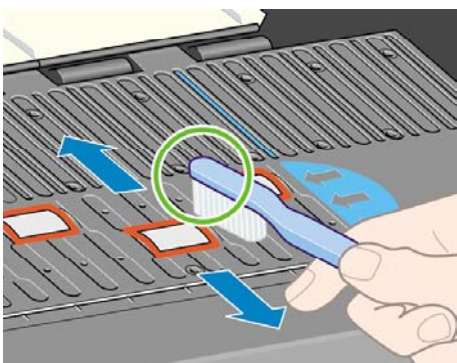
# プラテンのクリーニングを行う

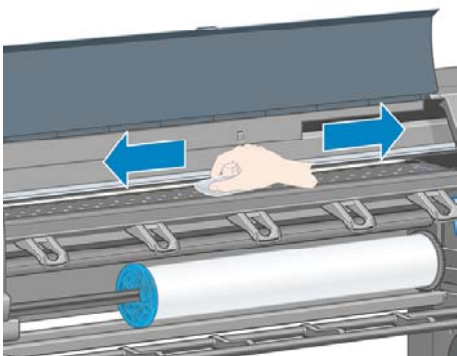
数か月ごとに、または必要に応じて、プリンタのプラテンのクリーニングを行う必要があります。

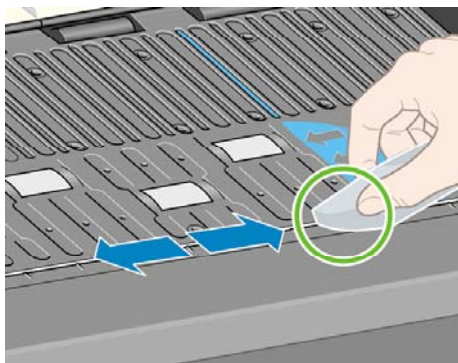
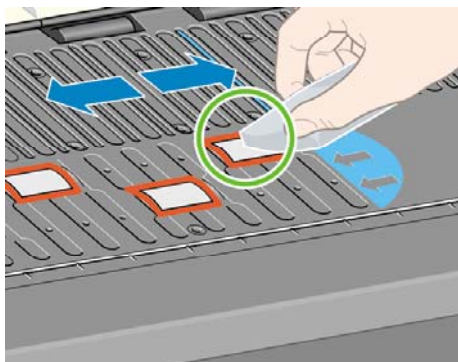
**注記：** 特定の用紙をしばらく使用した後で、それより幅の広い用紙に印刷を行うと、プラテンの左側が汚れている場合があります。汚れている箇所をクリーニングしないと、インクが用紙の裏面に残る場合があります。

**警告！** プラテンをクリーニングする際は、用紙送りセンサーに損傷を与えないよう注意してください。センサーは極小の長方形の窓で（1平方センチメートル以下で、以下の図に示します)、右から6番目のプラテン ローラーの近くにあります。178 ページの 「用紙送りセンサーの窓をクリーニングする 」を参照してください。

以下の手順に従って、プラテンのクリーニングを行います。

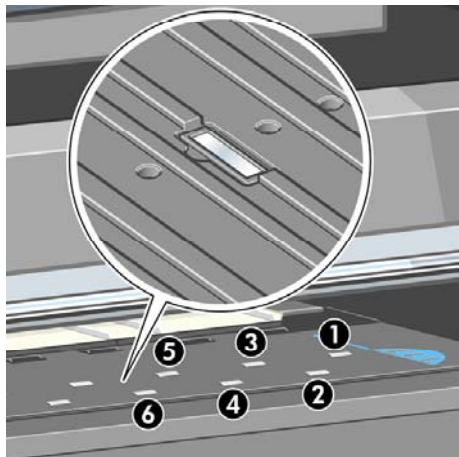
1. プリンタからすべての用紙を取り外します。48 ページの 「プリンタからロール紙を取り外す 」を参照してください。
2. ウィンドウを開きます。

プリンタの保守

3. 乾いたブラシで、カッターの溝からインクの付着を取り除きます。

4. 同じ乾いたブラシで、プラテンの表面からインクの付着を取り除きます。

5. 吸収性のあるきれいな柔らかい布に、イソプロピル アルコールを少し付けて、プラテンから落ちたインクの付着を拭き取ります。

**注記：** イソプロピル アルコールは、メンテナンス キットに含まれていません。

**注意：** 市販の洗剤や研磨剤入り洗剤は使用しないでください。プラテンに水分が残るため、プラテンを直接濡らさないでください。

6. 湿った布を使用して、カッターの傾斜面のクリーニングを行います。

7. 乾いた布で、ホイールの露出している部分のクリーニングを行います。できれば、このホイールの周辺全体のクリーニングを行ってください。

# 用紙送りセンサーの窓をクリーニングする

用紙送りセンサーは極小の長方形の窓で（1平方センチメートル以下で、以下の図に示します）、右から6番目のプラテン ローラーの近くにあります。

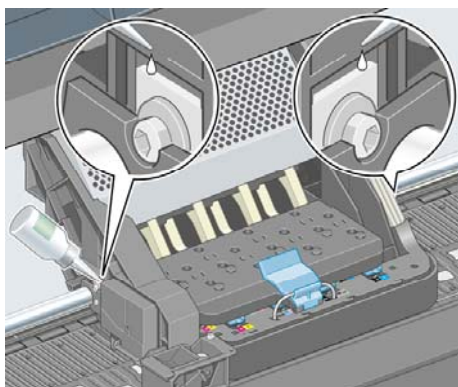
吸収性のあるきれいな柔らかい布に、イソプロピル アルコールを少し付けて、センサーの窓から落ちた埃とインクの付着を拭き取ります。

# プリントヘッド キャリッジを潤滑する

プリントヘッド キャリッジは、年に1度程度、潤滑油をさして、スライダ ロッドがスライドしやすいようにします。

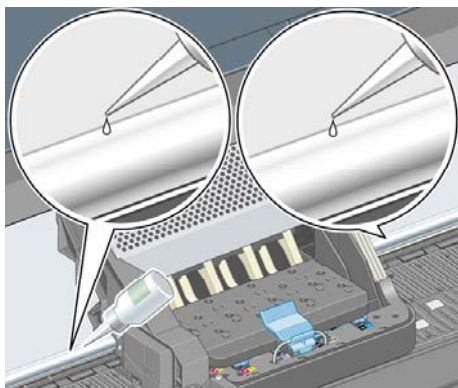
1. キャリッジを所定の位置に移動するには、フロントパネルでアイコンを選択し、次に［**プリントヘッドの交換**］を選択します。キャリッジがプリンタの中央部分にスライドします。

   注意： キャリッジはプリンタの中央部分に7分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

2. プリンタに付属のメンテナンス キットから、潤滑油を取り出します。必要に応じて、交換用のキットを注文できます。

3. ウィンドウを開き、キャリッジの両側のパッドに、数滴の潤滑油をさします。

4. キャリッジの両側のスライダ ロッドに直接、数滴の潤滑油をさします。

5. ウィンドウを閉じます。

プリンタの保守

## インクカートリッジを保守する

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。使用期限は、カートリッジに記載されている製造日プラス30ヶ月です。

プリンタの保守

# 予防保守を実行する

プリンタを使用していると、常に使用されるコンポーネントは、消耗していきます。

コンポーネントの消耗によるプリンタの故障を防ぐために、プリンタは、プリンタ キャリッジがプリンタの軸を横切った回数と、使用したインクの合計量を記録しています。

プリンタはこの数値を使用して、予防保守が必要なことを検出します。その際には、フロントパネルに以下のメッセージが表示されます。

- 保守#1が必要です
- 保守#2が必要です

これらのメッセージは、コンポーネントの寿命が近づいていることを示します。プリンタの使用状況によっては、長期にわたって印刷を続行することもできますが、日本HP カスタマー・ケア・センターに連絡して、予防保守を依頼することをお勧めします。サービスエンジニアは、消耗した部品をオンサイトで交換します。これにより、より長くプリンタをお使いいただくことができます。

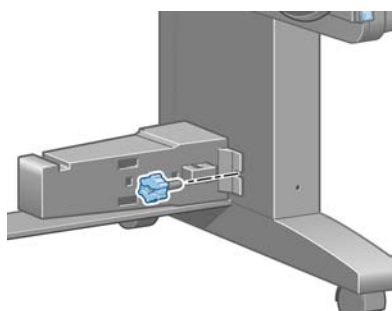
フロントパネルにこれらのメッセージが表示されたときに、サービスエンジニアの派遣を手配すると、以下の2つの利点があります。

- プリンタ コンポーネントをお客様の都合に合わせて交換することができます。
- サービスエンジニアが予防保守を実行する場合、一度に複数の部品を交換するため、何度もお客様を訪問することはありません。

# プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、長期間保管する必要がある場合は、準備作業を正しく行い、プリンタの損傷を防ぐ必要があります。

1. インクカートリッジ、プリントヘッド、またはプリントヘッド クリーナは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プリントヘッド キャリッジが、プリンタ右端のサービス ステーションにあることを確認します。
4. フロントパネルに「**印刷可能です**」メッセージが表示されていることを確認します。
5. フロントパネルの 電源 ボタンを押して、電源をオフにします。
6. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
7. 電源ケーブル、およびネットワーク、コンピュータ、またはスキャナにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。
8. 巻き取りリールが取り付けられている場合は、巻き取りリール センサーとケーブル格納ユニットをプリンタ スタンド下部から取り外します。センサーとケーブル格納ユニットをプリンタ スタンドのクロスバーに合わせて配置し、図に示すように、プリンタの移動中に、青いプラスチック ネジを使用して格納ユニットをスタンドの脚部に固定します。格納ユニットを再度取り付ける場合、プリンタ スタンドの脚部のキャスターが前を向くようにしてください。

プリンタの保守

# プリンタ ファームウェアのアップデート

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、随時、Hewlett-Packardから入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。

ファームウェアのアップデートは、インターネットからダウンロードしてプリンタにインストールできます。以下の中から最も便利な方法をご使用ください。

- Windowsの場合、HP Easy Printer Careで使用するプリンタを選択し、[**サポート**] タブ、[**ファームウェアのアップデート**] を選択します。
- Mac OSの場合、HP プリンタユーティリティを開き、[**サポート**] を選択してから [**ファームウェアのアップデート**] を選択します。
- 使用するプリンタの内蔵Webサーバで [**セットアップ**] タブを選択し、[**ファームウェアのアップデート**] を選択します。

画面の指示に従ってファームウェア ファイルをハードディスクに保存します。次に、ダウンロードしたファイルを選択し、[**アップデート**] をクリックします。

ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プロファイルが含まれています。追加の用紙プロファイルは、別途ダウンロードできます。61 ページの 「用紙プロファイルをダウンロードする 」を参照してください。

ファームウェア ファイルをプリンタにアップロードする処理に非常に時間がかかる場合は、プロキシ サーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵Webサーバに直接アクセスします。

- WindowsのInternet Explorer 6を使用している場合は、[**ツール**] - [**インターネット オプション**] - [**接続**] - [**LANの設定**] をクリックし、[**ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない**] チェック ボックスを選択します。さらに高度な設定を行うには、[**詳細設定**] タブをクリックし、プロキシ サーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスを [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] の一覧に追加します。
- Mac OSのSafariを使用している場合は、[**Safari**] - [**環境設定**] - [**詳細**] をクリックし、[**プロキシ : 設定を変更**] ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。

# 保守アブソーバーを変更する

保守アブソーバーが最大彩度に達すると、フロントパネルに警告が表示され、交換が必要になると、さらにもう一度表示されます。

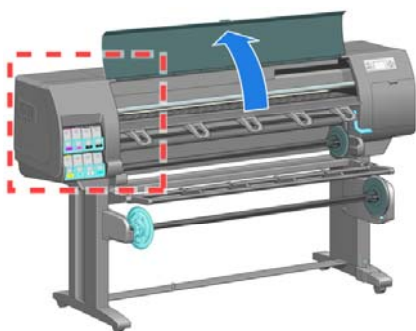
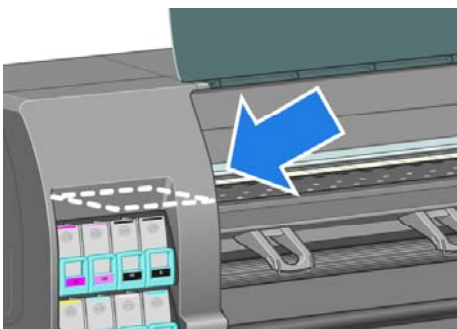
**注記：** 保守アブソーバーは、湿度が継続して25%を下回ると、極度に乾燥して正確に動作しなくなります。

**注意：** 湿っているか、または極度に乾燥した保守アブソーバーは、プリントヘッドおよびプリンタのその他の部品に深刻な損傷を与える原因となります。警告が示されたら、保守アブソーバーを直ちに交換することを強くお勧めします。

## 保守アブソーバーを取り外す

1. プリンタに同梱のメンテナンス キットに含まれている保守アブソーバーと使い捨てビニール手袋を出します。

2. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に保守アブソーバーを交換するためのオプションを選択します。

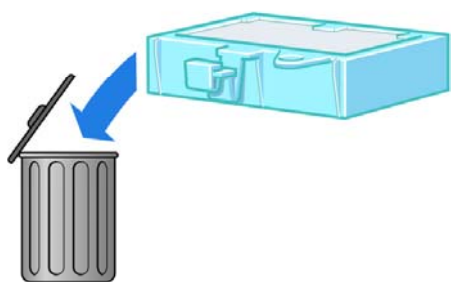
3. ウィンドウを開きます。

4. 左スピトゥーンを確認します。

5. 保守アブソーバーを確認します。

6. 保守アブソーバーの前面の端から延びているタブを持ち上げます。

 **注記：** 手にインクがつかないように使い捨てビニール手袋をはめてください。

7. スピトゥーンから離れるまで保守アブソーバーのタブを持ち上げます。これで簡単にタブを掴むことができます。

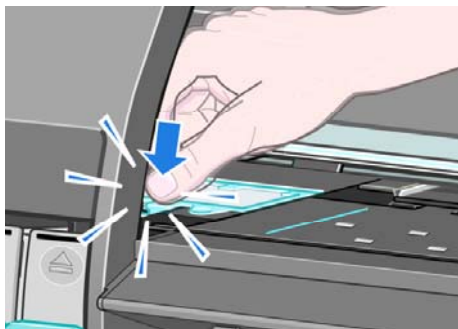
8. 保守アブソーバーを持ち上げてスピトゥーンから取り外します。

9. 居住地域の規制に基づいて、汚れた保守アブソーバーを廃棄してください。

## 保守アブソーバーを取り付ける

1. 図のように、新しい保守アブソーバーを手で掴みます。

2. 保守アブソーバーの背面の端をスピトゥーンの取り付け場所に差し込みます。

3. 親指で、保守アブソーバーをスピトゥーン内の取り付け場所の後方にスライドさせます。

4. タブの付いている端を奥まで挿入し、所定の位置にカチッと音がするまで上から押し込みます。保守アブソーバーの上部が平らな状態で取り付けられていること、および、保守アブソーバーのどの端もプラテンの面より高くなっていないことを確認します。

5. フロントパネルの [OK] ボタンを押します。保守アブソーバーが正しく取り付けられていることがプリンタで確認されます。正しく取り付けられていないことがフロントパネルのメッセージで表示される場合は、保守アブソーバーを取り外してからもう1度挿入し、[OK] ボタンを押します。

# 安全なディスク消去

プリンタのハード ディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。安全なディスク消去機能を使用すれば、ハード ディスクから情報を完全に消去して、許可のないアクセスから情報を保護できます。特定のファイルを消去することも、ハード ディスク全体を消去することも可能です。

安全なディスク消去機能では、次の3つのセキュリティ レベルを設定できます。

- **[非セキュア高速消去]**：情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハード ディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータ システムでファイルを消去するときに使用される通常の方法です。最も短時間で消去できますが、最も安全性の低い方法です。
- **[セキュア高速消去]**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。非セキュア高速消去よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気の痕跡を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。
- **[セキュア サニタイジング消去]**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュア サニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスク メディアの消去およびサニタイジングの要件 (5220-22.m) を適合しています。安全なディスク消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティ レベルです。

安全なディスク消去は、HPから無料で提供されているWebベースの印刷管理ソフトウェアWeb JetAdminの機能の1つです。http://www.hp.com/go/webjetadmin/ を参照してください

Web JetAdminから安全なディスク消去するときに問題が発生した場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。

注記： ハード ディスク全体を消去すると、処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なディスク消去では約6時間、セキュア サニタイジング消去では約24時間かかります。

# 10 アクセサリ

# アクセサリについて

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

| 名前 | 製品番号 |
| --- | --- |
| HP Designjet 256MBメモリ アップグレード（複雑なファイルを処理するために、プリンタのメモリを増設できます） | Q5673A |
| HP Designjet 42インチ スキャナ | Q1277A |
| HP Advanced Profiling SolutionソフトウェアWW | Q6695A |
| HP Advanced Profiling SolutionソフトウェアAP | Q6701A |
| HP Jetdirect 635n IPv6/IPsecプリント サーバ | J7961A |
| HP Jetdirect 625nギガビットイーサネット プリント サーバ | J7960G |
| HP Designjet USB 2.0アダプタ（プリンタに直接接続し、高速データ転送を実現します） | Q5680A |
| HP Designjet Z6100 42インチ スピンドル（スペアのスピンドルがあれば、種類の異なる用紙の交換作業が楽になります） | Q6707A |
| HP Designjet Z6100 60インチ スピンドル（スペアのスピンドルがあれば、種類の異なる用紙の交換作業が楽になります） | Q6708A |
| HP Designjet Z6100 42インチ 巻取りリール キット | Q6706A |

# 11 トラブルシューティング（印刷品質）

# 一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、67 ページの 「用紙について 」を参照してください。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認してください。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。

**注意：** 誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。

- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。印刷品質の低下が起こりやすいのは、印刷品質 のスライダを［**高速**］の端に移動させるか、またはカスタムの印刷品質レベルを［**高速**］に設定した場合です。
- 環境状況（温度、湿度）が推奨する範囲内にあることを確認します。276 ページの 「動作環境の仕様 」を参照してください。
- インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します。180 ページの 「インクカートリッジを保守する 」を参照してください。
- 印刷の実行中は、用紙に触れないようにします。

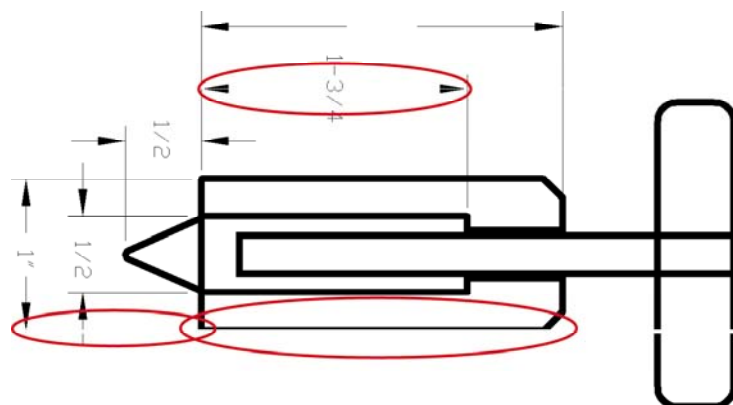
# 内蔵Webサーバの［印刷品質のトラブルシューティング］ウィザード

内蔵Webサーバの［印刷品質のトラブルシューティング］ウィザードは、大判印刷でユーザが直面する最も一般的な印刷品質に関する問題の一部を解決する上で役立てていただけるように設計されました。ウィザードに従って、以下の印刷品質に関する問題を解決します。

- イメージに、暗いまたは明るい横線（バンディング）が見られる
- 粒状感
- 線品質の低下
- 色が正確に再現されない

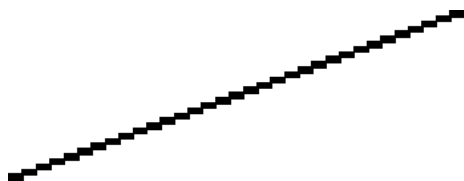
内蔵Webサーバの［印刷品質のトラブルシューティング］ウィザードにアクセスするには、［**サポート**］タブの［**印刷品質のトラブルシューティング**］をクリックします。発生している印刷品質の問題を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。

適切な解決策のリストが表示されます。手順に従って解決処理を行います。

# 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。
3. HP-GL/2ドライバを使用している場合、イメージの解像度が印刷解像度よりも高いと、線品質が低下する場合があります。[**アプリケーションの最大解像度**] オプションは、Windowsドライバのダイアログの[**詳細設定**] タブで、[**ドキュメントのオプション**] - [**プリンタの機能**] の下に表示されます。オプションを変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷します。
4. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、プリントヘッドのステータス プロットを印刷します。89 ページの 「プリントヘッドのステータス プロットを使用する 」を参照してください。
5. プリントヘッドの軸合わせを行います。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合は、この時点でジョブを再印刷します。
6. アイコンを選択し、[**用紙情報の表示**] を選択して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが [保留] になっている場合は拡張精度キャリブレーションを実行します。59 ページの 「拡張精度キャリブレーションを実行する 」を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

# 線画が段状またはギザギザに表示される

印刷時に、イメージの線が段状になるとか、またはギザギザになった場合、以下の手順に従ってください。

1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているソフトウェア プログラムで、イメージの品質を向上させてみます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。
3. HP-GL/2ドライバを使用している場合、イメージのレンダリング解像度を、印刷時の必要に応じて300 dpiまたは600 dpiに変更します。[**アプリケーションの最大解像度**] オプションは、Windowsドライバのダイアログの[**詳細設定**] タブで、[**ドキュメントのオプション**] - [**プリンタの機能**] の下に表示されます。

# 描画またはテキストの一部が印刷されない

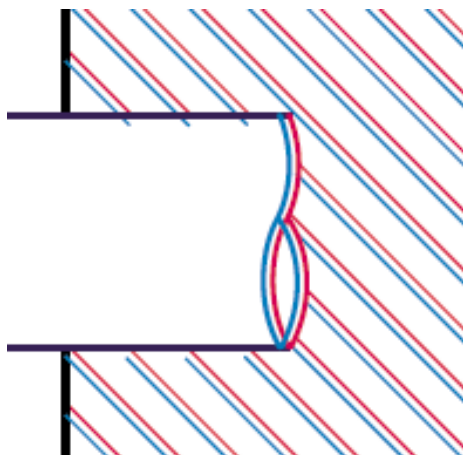
高品質の大判印刷ジョブを生成するには、大量のデータが必要な場合があり、一部の特別なワークフローでは、期待した出力が得られない場合があります。この問題を防ぐための推奨方法は、次のとおりです。

- ドライバまたはフロントパネルで、最終ページ サイズに応じてより小さいページ サイズを選択します。
- ファイルをTIFFやEPSなど別の形式で保存し、別のプログラムで開きます。
- RIPを使用してファイルを印刷します。
- お使いのソフトウェアでビットマップ イメージの解像度を下げます。
- 印刷されるイメージの解像度を下げるために、より低い印刷品質を選択します。
- Windowsドライバのダイアログの［**詳細設定**］タブで、［**ドキュメントのオプション**］－［**プリンタの機能**］を選択し、以下の手順に従います。
  - ［**ビットマップ形式でジョブを送信する**］を［**有効**］に設定します（HP-GL/2ドライバのみ）。
  - ［**16ビットアプリケーション互換性**］を［**有効**］に設定します。
  - ［**アプリケーションの最大解像度**］を［300］に設定します。

**注記：** 上記の設定はトラブルシューティングのみのために挙げたものであり、最終的な出力品質や、印刷ジョブを生成するために必要な時間に影響する場合があります。したがって、問題が解決されない場合は、これらの設定をデフォルト値に戻してください。

# 線が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。

- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。

この問題を修正するには以下の手順に従います。

1. プリントヘッドの軸合わせを行います。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。

# 線がぼやけている（にじむ）

湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明に見える原因となります。以下の解決方法を試してください。

1. 環境状況（温度、湿度）が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。276 ページの「動作環境の仕様 」を参照してください。
2. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうか確認します。確認するには、プリンタのフロントパネルから、アイコンを選択し、次に［**用紙情報の表示**］を選択します。
3. HP 厚手コート紙、HP スーパー厚手コート紙、またはデジタルファインアート紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 光沢紙を使用している場合は、別の種類の用紙に変更してみてください。
5. プリントヘッドの軸合わせを行います。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。

## 線が少しゆがんでいる

用紙自体がゆがんでいる可能性があります。これは、用紙を不適切な環境で使用または保管している場合に発生します。276 ページの 「動作環境の仕様 」を参照してください。

# イメージに、暗いまたは明るい横線（バンディング）が見られる

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合（色は異なる場合があります）は、下の手順に従います。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、印刷品質のスライダを［**速度**］に設定している場合は、［**品質**］に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. プリントヘッドのステータス プロット。89 ページの 「プリントヘッドのステータス プロットを使用する 」を参照してください。
4. フロントパネルで用紙の拡張精度のキャリブレーション ステータスを確認します。ステータスが［保留］になっている場合は拡張精度キャリブレーションを実行します。59 ページの 「拡張精度キャリブレーションを実行する 」を参照してください。
5. プリントヘッドの軸合わせを行います。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合は、この時点でジョブを再印刷します。

問題が解決しない場合は、日本HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。

# イメージが粒状になる

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、印刷品質のスライダを［**速度**］に設定している場合は、［**品質**］に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. プリントヘッドの軸合わせを行います。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合は、この時点でジョブを再印刷します。
5. フロントパネルで用紙の拡張精度のキャリブレーション ステータスを確認します。ステータスが［保留］になっている場合は拡張精度キャリブレーションを実行します。59 ページの 「拡張精度キャリブレーションを実行する 」を参照してください。

問題が解決しない場合は、日本HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。

# イメージにメタリックの色相（褐色化する）が現れる

褐色化するとは、特定の角度から見た場合に、メタリックの色相のあるイメージのことを言います。褐色化は、フォト用紙などの非マット紙上に顔料インクで印刷した場合に最も一般的に発生します。標準の印刷品質オプションと褐色化効果が含まれたイメージを使用する場合、スライダを［**品質**］に移動します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。

グレースケール イメージを光沢紙で印刷した際に褐色化が発生する場合、［**全プリントカートリッジ**］印刷オプションを使用してみてください。このオプションを使用するには、［**カラー**］タブをクリックしてから［**グレースケールで印刷**］を選択します。次に、プルダウン メニューから［**全プリントカートリッジ**］を選択します。

# 印刷結果が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。
2. HP 厚手コート紙、HP スーパー厚手コート紙、またはより厚手のデジタルファインアート紙などに変更してみてください。

# 触れたときに印刷が汚れる

黒の顔料は、指やペンで触れると汚れます。これは特に、ベラム紙、半透明ボンド紙、フィルム、フォト用紙、およびトレーシングペーパーを使用した場合に顕著です。

汚れを少なくするには、以下の手順に従ってください。

- 湿度が高すぎない環境で印刷してみます。276 ページの 「動作環境の仕様 」を参照してください。
- イメージの純粋な黒のオブジェクトを、こげ茶などの暗い色に変更して、黒インクではなくカラー インクで印刷するようにします。
- HP厚手コート紙を使用します。
- 乾燥時間を増やします。64 ページの 「乾燥時間を変更する 」を参照してください。

# 用紙にインク跡が付く

この問題は、いくつかの原因によって発生します。

## コート紙の表面に汚れがある

コート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。

この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。フロントパネルの キャンセル ボタンを押して、コンピュータ ソフトウェアのジョブをキャンセルします。そのままにしておくと、インクが染み込んだ用紙が原因で、プリントヘッドが損傷する可能性があります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。

- 推奨用紙の使用。37 ページの 「サポートされている用紙の種類 」を参照してください。
- 印刷するイメージに強い色彩が含まれている場合は、HP厚手コート紙を使用してみます。
- マージン設定を広くします（詳細は、「103 ページの 「マージンとレイアウトのオプションを調整する 」」を参照）。または、ソフトウェア プログラムを使用してページ内のイメージを移動し、マージンを大きくします。
- 必要に応じて、透明フィルムなどの紙以外の材質のものに変更してみます。

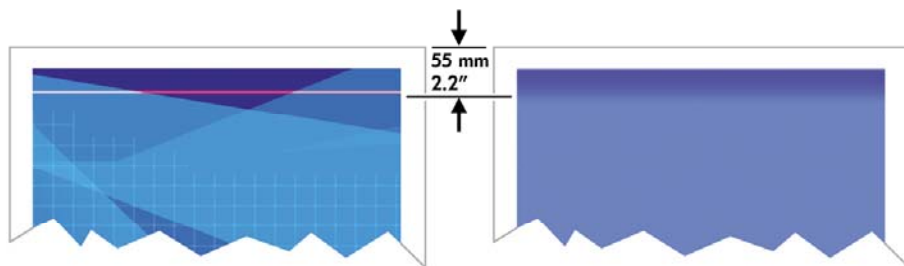
## 光沢紙の表面に汚れやキズがある

光沢紙は、スタッカなどの印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。これは、印刷したインクの量と、印刷時の環境条件によって異なります。用紙の表面に触れないようにして、印刷物は注意深く扱ってください。

## 用紙の裏にインクが付着する

プラテンや給紙ローラーに残ったインクが用紙の裏に付着する場合があります。175 ページの 「プラテンのクリーニングを行う 」を参照してください。

# 印刷の上部で不具合が発生する

用紙の端から5.5cm以内の、印刷の最初の部分にのみ不具合が発生し、色調がそろっていない帯が現れることがあります。

この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 最も簡単な解決方法は、プリンタ ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルで、**[マージン設定 － 広い]** を選択します。この解決方法に従うことで、問題の起こりやすい（ページの始まり）範囲が印刷されなくなります。103 ページの 「マージンとレイアウトのオプションを調整する 」を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。

# 色が正確に再現されない

印刷物の色が予期したものと一致しない場合、以下の解決方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。同時に、カラーキャリブレーションのステータスを確認してください。ステータスが［ペンディング］または［失効］の場合、カラーキャリブレーションを実行する必要があります。144 ページの 「カラーキャリブレーション 」を参照してください。変更を行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷します。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。［**速度**］オプションを選択した場合、正確な色が得られない場合があります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. アプリケーション カラーマネジメントを使用している場合、選択した用紙の種類および印刷品質設定に合ったカラー プロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、135 ページの 「カラーマネジメント」を参照してください。カラー プロファイルを作成する必要がある場合は、146 ページの 「カラー プロファイリング 」を参照してください。
5. 問題が印刷物とモニタ間でのカラーの差異による場合、HP Color Center の「ディスプレイのキャリブレーション方法」セクションの手順に従ってください。問題が解決したらジョブを再印刷します。
6. プリントヘッドのステータス プロット。89 ページの 「プリントヘッドのステータス プロットを使用する 」を参照してください。
7. http://www.hp.com/go/knowledge_center/djz6100/ のHP Knowledge Centerへアクセスして、別のソフトウェア プログラム（英語のみの内容）によるカラーアシスタンスの手順を参照してください。

問題が解決しない場合は、日本HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。259 ページの 「ヘルプ」を参照してください。

## PANTONE* 色が正確に再現されない

154 ページの 「HP プロフェッショナルPANTONE* エミュレーション 」を参照してください。

## 他のHP Designjetと色が一致しない

異なる2機種のプリンタ（HP Designjet Z6100シリーズ プリンタとHP Designjet 5500シリーズ プリンタなど）でイメージを印刷した場合、2つの印刷物の色が一致しないことがあります。

それぞれの印刷デバイスで、インクの化学組成、用紙の化学組成、およびプリントヘッドが違っている場合、色を完全に一致させることはできません。ここでは、特定のプリンタを別のプリンタで一致させる方法を説明します。

### PostScriptドライバで印刷する

PostScriptドライバがインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。以下の例では、HP Designjet Z6100シリーズ プリンタおよびHP Designjet 5500シリーズ プリンタを使用しているものとします。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。HP製プリンタの最新のプリンタ ドライバを、http://www.hp.com/go/designjet からダウンロードします。
3. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。HP Designjet Z6100のフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］－［**カラーキャリブレーション**］－［**オン**］を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. イメージをHP Designjet 5500で印刷するには、通常の設定を使用します。
7. 同じイメージを、今度はHP Designjet Z6100で印刷する準備を行います。

   ソフトウェアで、イメージのカラー スペースを設定し、HP Designjet 5500とそのプリンタで使用した特定の用紙の種類をエミュレートします。ドライバに送信されるデータは、既にこのエミュレーション カラー スペース（CMYKカラー スペース）に変換されている必要があります。変換方法の詳細については、ソフトウェア プログラムのオンライン ヘルプを参照してください。このようにして、この用紙の種類で印刷が行われたときに5500が作成した色が、Z6100によってエミュレートされます。
8. HP Designjet Z6100用PostScriptドライバで［カラーマネジメント］セクションに移動し、CMYK入力プロファイルを、ソフトウェアで選択したものと同じHP Designjet 5500のカラー スペース（エミュレーション カラー スペース）に設定します。

   注記： 別のプリンタのエミュレートを行う場合は、RGBカラーではなく必ずCMYKカラーを使用してください。
9. 用紙の白さをエミュレートする場合は、レンダリング用途を［相対カラーメトリック］または［絶対カラーメトリック］に設定します。
10. HP Designjet Z6100でイメージを印刷します。

## HP-GL/2 ドライバで印刷する

HP-GL/2 ドライバがインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。HP製プリンタの最新のプリンタ ドライバは、http://www.hp.com/support/japanにアクセスしてダウンロードできます。
3. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。HP Designjet Z6100シリーズ プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］-［**カラーキャリブレーション**］-［**オン**］を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. HP Designjet Z6100用HP-GL/2 ドライバで、［**カラー**］タブを選択し、カラー マネージメント オプションのリストから［**プリンタのエミュレーション**］を選択します。次に、エミュレートされるプリンタのリストからDesignjet 5500を選択します。
7. HP Designjet 5500用HP-GL/2 ドライバで、［**オプション**］タブを選択して、［**マニュアルカラー**］-［**カラーコントロール**］-［**ディスプレイカラー**］を選択します。また、［**用紙サイズ**］タブを選択して、［**用紙の種類**］を選択します。

## 同一のHP-GL/2ファイルを印刷する場合

一方のプリンタにインストールされたHP-GL/2ドライバを使用してHP-GL/2ファイル（PLTファイルとも呼ばれます）を生成し、生成したファイルを別のプリンタに送信する場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。
2. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。HP Designjet Z6100のフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］-［**カラーキャリブレーション**］-［**オン**］を選択します。
3. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
4. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
5. HP Designjet 5500用に生成したHP-GL/2ファイルを、HP Designjet Z6100で印刷する場合は、内蔵Webサーバまたはフロントパネルで以下の手順に従います。
   - 内蔵Webサーバを使用する場合：カラー オプションを［**デフォルト**］のままにします。
   - フロントパネルを使用する場合：アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］-［**カラー オプション**］-［**RGB入力プロファイルの選択**］-［**HP Designjet 5500シリーズ**］を選択します。

   その他のHP Designjetプリンタを使用する場合は、画面の色がそれぞれのHP-GL/2ドライバを使用して印刷したときと一致するように（選択できる場合はsRGBに）、両方のプリンタを設定します。

## まったく印刷されない

フロントパネルのグラフィック言語の設定が［**自動**］（デフォルト）の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScriptファイルの場合は［**PostScript**］、HP-GL/2ファイルの場合は［**HP-GL/2**］になります。次に、再度ファイルを送信します。

この印刷が完了したら、グラフィック言語を［**自動**］に再設定します。

# 一部しか印刷されない

- プリンタがすべてのデータを受信する前に キャンセル を押した場合、データの送信が途中で終了したため、ページを印刷し直す必要があります。
- [**I/Oタイムアウト**] 設定が短すぎる可能性があります。この設定により、ジョブが終了したとプリンタが判断する前に、コンピュータがデータをさらに送信するまでのプリンタの待ち時間が決まります。フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [**接続**] - [**詳細設定**]- [**I/O タイムアウトの選択**] を選択して、[**I/O タイムアウト**] の設定値を大きくしてから、もう一度印刷を行います 。
- コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある可能性があります。USBまたはネットワークケーブルを確認してください。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページ サイズ（長尺印刷など）に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワーク ソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

# イメージの一部が印刷されない

イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで説明されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューすることにより、この問題を印刷前に確認することができます。116 ページの 「プレビュー待ち 」を参照してください。

- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。

  印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン

- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域 (「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます) を確認します。たとえば、ソフトウェア プログラムによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用してみてください。103 ページの 「マージンとレイアウトのオプションを調整する 」を参照してください。
- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、[**内容をマージンでクリップ**] を使用することによって正常に印刷できることがあります。103 ページの 「マージンとレイアウトのオプションを調整する 」を参照してください。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- 幅が足りない用紙サイズの場合、横置きにページを回転するように求めるメッセージが表示されることもあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にぴったり収まるようにします。

イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAWなどのプログラムは、16ビットの内部座標系を使用するため、32,768ピクセルを超えるイメージを処理できません。これより大きいイメージを印刷しようとすると、イメージの下部が印刷されません。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。

- HP-GL/2ドライバを使用している場合、イメージが32,768ピクセル以下になるように解像度を下げることができます。Windowsドライバのダイアログには、[**16ビットアプリケーションとの互換性**] が含まれており、解像度が自動的に下げられます。このオプションは、[**詳細設定**] タブで [**ドキュメントのオプション**] - [**プリンタの機能**] の下に表示されます。
- ファイルをTIFFやEPSなど別の形式で保存し、別のプログラムで開きます。
- RIPを使用してファイルを印刷します。

## イメージが印刷可能な範囲に小さく印刷される

- ソフトウェアで選択したページ サイズが小さすぎる可能性があります。
- イメージがページの一部であるとアプリケーションで認識されている可能性があります。

## イメージが誤った向きに回転される

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**用紙オプション**］－［**回転**］を選択します。設定が正しいかどうかを確認してください。

PostScript以外のファイル：［**ネスティング**］が［**オン**］になっている場合、用紙を節約するためにページが自動的に回転することがあります。126 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする 」を参照してください。

# イメージが左右反対に印刷される

フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**用紙オプション**］－［**左右反転の有効化**］を選択します。設定が正しいかどうかを確認してください。

# 印刷が歪むまたは不鮮明になる

- プリンタをネットワーク（またはコンピュータ）に接続しているインタフェース ケーブルに問題が発生した可能性があります。ケーブルを変えて試してみます。
- フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］-［**グラフィック言語の選択**］を選択します。フロントパネルのグラフィック言語の設定が［**自動**］（デフォルト）になっている場合は、PostScriptファイルの場合は［**PostScript**］、HP-GL/2ファイルの場合は［**HP-GL/2**］など、他の設定を試してください。次に、再度ファイルを送信します。
- プリンタで使用しているソフトウェア、ドライバ、およびRIPによっては、この問題を解決する独自の方法があります。詳細については、販売元のマニュアルを参照してください。

# 同じ印刷上でイメージが別のイメージと重なる

［**I/Oタイムアウト**］設定が長すぎる可能性があります。フロントパネルで設定を小さくして、印刷し直してください。アイコンを選択し、次に［**接続**］-［**詳細設定**］-［**I/Oタイムアウトの選択**］を選択します 。

## ペンの設定が適用されない

- アイコンを選択してから［**印刷設定**］－［**HP-GL/2の設定**］－［**パレットの定義**］を選択して、フロントパネルの設定を変更しましたが、このパレットは［**印刷設定**］－［**HP-GL/2の設定**］－［**パレットの選択**］で選択されていません。
- ソフトウェアによるペンの自動設定を有効にするには、フロントパネルでアイコンを選択し、次に［**印刷設定**］－［**HP-GL/2の設定**］－［**パレットの選択**］－［**ソフトウェア**］を選択します。

# イメージに木目が現れる（エアロワーム）

エアロワームは、波打っている水平方向の帯状のムラで、空気により引き起こされるDPE（ドット配置エラー）です。場合によっては、エアロワームによってイメージに木目が現れます。低品質および高速で設定された印刷ジョブで最も一般的に発生します。カスタム印刷品質設定が［高品質］に設定されていると、発生しません。

エアロワームを解消するには、より高いIQ印刷設定を選択します。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。

# 12 トラブルシューティング（用紙）

## 用紙が正しく取り付けられない

用紙を正しく取り付けられない場合は、以下の点を確認してください。

- 用紙が、斜めまたは間違った位置に取り付けられている可能性があります。用紙の右端が、プラテンの右端にある半円に揃えられているかどうかを確認してください。また、先端がプラテンの金属バーに揃えられているかどうかを確認してください。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。
- プラテンへの用紙経路の紙詰まりは、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れていることが原因の場合があります。用紙の先端の2cm（1インチ）を切り取ってもう一度試してください。新しいロール紙の場合でもこの処理が必要な場合があります。
- スピンドルが正しく挿入されているかどうかを確認します。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙の向きが正しいことを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。

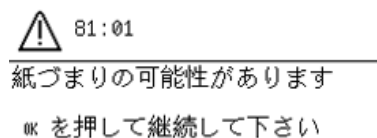
# 用紙が詰まっている

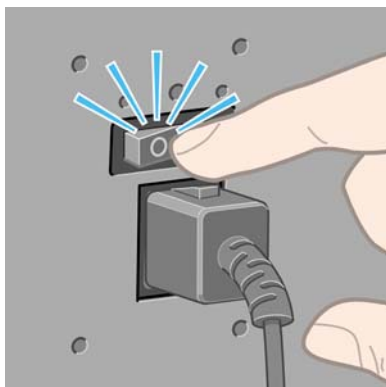
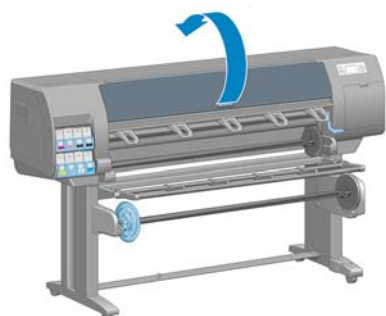
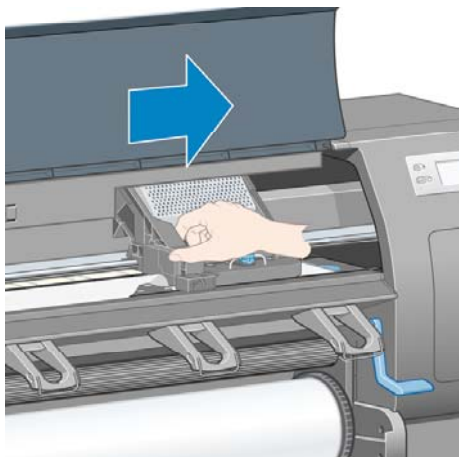
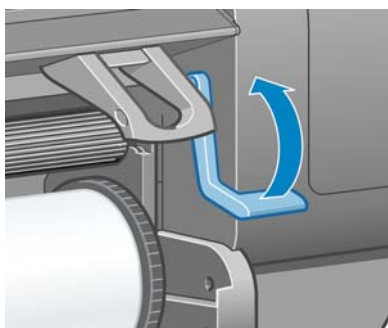
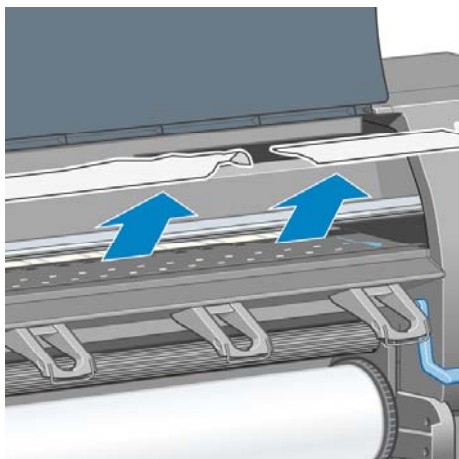
紙詰まりが発生した場合、通常は **「紙づまりの可能性があります」** というメッセージがフロントパネルに表示されます。このメッセージには、次の2つのエラーコードのいずれかが表示されます。

- 「81:01」が表示された場合は、用紙がプリンタに送られていません。
- 「86:01」が表示された場合は、プリントヘッド キャリッジが左右に移動できません。

81:01

紙づまりの可能性があります

OK を押して継続して下さい

## プリントヘッドの給紙経路を確認する

1. フロントパネルでプリンタの電源を切り、背面にある電源スイッチもオフにします。

2. ウィンドウを開きます。

3. プリントヘッド キャリッジを邪魔にならない場所に移動します。

4. 用紙取り付けレバーを上がるところまで持ち上げます。

5. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。

6. 残りのロール紙をプリンタから慎重に引き出します。

7. プリンタの電源を入れます。

8. ロール紙を取り付け直します。43 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける 」を参照してください。

9. さらにプリンタ内に障害の原因となる用紙が残っている場合は、手差し用紙をプリンタに取り付けることで、取り除くことができる場合があります。

10. 紙詰まりが発生した後で印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを再度行ってください。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。

## 用紙経路を確認する

- この問題は、ロール紙が終了したときに、ロール紙の端が厚紙の芯に張り付いている場合に発生します。この場合は、ロール紙の端を芯から切り取ってください。次に、プリンタに用紙を給紙できるようにしてから、新しいロール紙を取り付けます。
- それ以外の場合は、前述の223 ページの 「プリントヘッドの給紙経路を確認する」 の手順に従います。

トラブルシューティング（用紙）

# 印刷物がスタッカに正しくスタックされない

注記： このトピックはHP Designjet Z6100 42インチプリンタにのみ適用されます。

- 用紙は端でカールすることが多いため、積み重ねの問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。
- 異なるサイズの印刷物が混じっていたり、ネスティングしている場合、スタッカに複数のサイズの用紙が積み重ねられるため、問題が発生することがあります。

# 自動用紙カッターが機能しない

巻き取りリールを使用すると、自動用紙カッターはオフになります。カッターを用紙で使用するには、フロントパネルでアイコンを選択し、次に［**巻き取りリール**］－［**巻き取りリールの無効化**］を選択して、巻き取りリールをアンインストール（無効化）します。

注記： 自動用紙カッターの機能は、一部の最も厚手のメディアの種類では無効になっています。これは、一部の厚手メディアではカッターが損傷する可能性があるためです。

# 巻き取りリールの紙詰まり

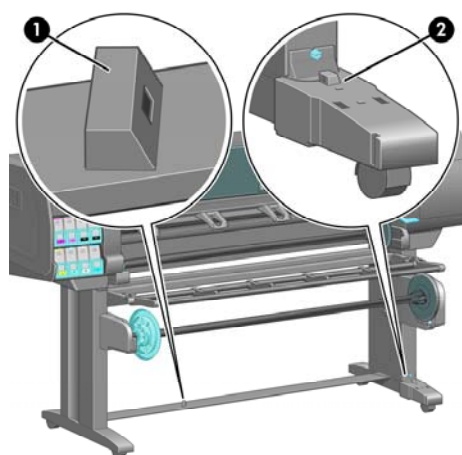
用紙が巻き取りリール スピンドルの芯でひどく破損している場合、プリンタのカッターを使用して用紙をカットしたり取り除いたりしないでください。代わりに、用紙を可能な限りウィンドウに近づけて手動でカットし、次に、ロール紙を取り外します。48 ページの 「プリンタからロール紙を取り外す 」を参照してください。

トラブルシューティング (用紙)

# 巻き取りリールで巻き取ることができない

巻き取りリールで期待した通りに巻き取ることができない場合、可能性としては、印刷物が床の上にすでに出力されている場合があります。プリンタは、巻き取りリールの問題を認識すると、問題が解決されるまで印刷ジョブを中断します。プリンタが問題を認識しない場合、ジョブの印刷が続行されます。考えられる問題と解決策を以下の表に示します。

| 巻き取りリールのLEDステータス | 問題 | 印刷ジョブの中断 | 考えられる原因 | 考えられる解決策 |
|---|---|---|---|---|
| 速く点滅 | 巻き取りリールで巻き取ることができない | はい | センサービームが3秒以上遮られた。 | Designjet Z6100 42インチ プリンタを使用している場合は、巻き取りリール センサーが、用紙の切れ端、用紙収集スタッカ、およびその他の物で遮られていないことを確認する必要があります。下の図を参照して、用紙収集スタッカがフット ブレースの後ろに置かれていることを確認します。<br><br>また、巻き取りリールの電源スイッチが［オン］の位置にあることを確認します。 |
| 遅く点滅 | 巻き取りリールで巻き取ることができない | いいえ | センサー ケーブルがたるんでいるか、抜けている。 | センサー ケーブルが正しく留められていることを確認します。 |
| 点灯（赤色） | 巻き取りリールで巻き取ることができない | いいえ | 巻き取りリール モーターに、負荷がかかりすぎている。 | 用紙が極端にきつく巻かれていないことを確認します。管状の芯は、50 ページの 「巻き取りリールを使用する 」の手順10で示されているように挿入して垂れ下がるようにしてください。 |
| 点灯（緑色） | 巻き取りリールで巻き取ることができない | いいえ | 巻き取りリールの電源スイッチが［オフ］の位置にある。 | 巻き取りリールの電源スイッチが［オン］の位置にあることを確認します。 |
| 点灯（緑色） | 巻き取りリールが間違った方向で巻き取る | いいえ | 巻き取りリールの巻き取り方向スイッチが間違った巻き取り位置にある。<br><br>3秒後、プリンタで問題が認識され、印刷ジョブが中断されます。この表にリストされている最初のエラーを参照してください。 | 巻き取りリールの巻き取り方向スイッチを正しい位置にカチッと入れてください |

以下の図に、巻き取りリール センサーとケーブルを示します。

1. 巻き取りリール センサー
2. 巻き取りリール センサーとケーブル格納ユニット

# 13 トラブルシューティング（インクシステム）

## インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ（モデル番号）を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、インクカートリッジの正面の矢印が上を向いているかどうかを確認します。

**注意：** インクカートリッジ スロットの内部はクリーニングしないでください。

## プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ（モデル番号）を使用しているかどうかを確認します。
2. プリントヘッドから、保護キャップを取り外し、透明の保護テープを剥がしたかどうかを確認します。
3. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
4. プリントヘッドの向きが正しいかどうかを（他のプリントヘッドと比較して）確認します。
5. プリントヘッドのカバーを閉じて、ラッチで固定されているかどうかを確認します。

## 保守カートリッジを取り付けられない

保守カートリッジの向きが正しいことを確認します。

## フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. プリントヘッドを取り外し、保護フィルムが剥がされていることを確認します。
2. プリントヘッドとキャリッジ間の電極部分のクリーニングを行います。85 ページの 「プリントヘッドの電極をクリーニングする 」を参照してください。
3. プリントヘッドをキャリッジに取り付け直して、フロントパネルのメッセージを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてください。

## ［プリントヘッドの品質が低下しています］というメッセージが表示される

このメッセージは、1つまたは複数のプリントヘッドが最適に機能していないことがプリンタによって検出された場合、フロントパネルに表示されます。この条件の下、品質を維持するためにプリントヘッドはさらに走査を行います。この問題を解消するには、以下の方法を試してください。

- 印刷品質のレベルを上げます。100 ページの 「印刷品質の選択 」を参照してください。
- プリントヘッドをクリーニングしてください。85 ページの 「プリントヘッドをクリーニング (修復) する 」を参照してください。
- プリントヘッドのステータス プロットを使用して、問題の原因となっているプリントヘッドを確認します。89 ページの 「プリントヘッドのステータス プロットを使用する 」を参照してください。

# プリントヘッドをクリーニングする

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的にプリントヘッドの自動クリーニングが実行されます。ただし、印刷品質の低下が見られ、他の方法では問題を解決できない場合は、プリントヘッドをクリーニングする必要があります。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止できます。

プリントヘッドのステータス プロット印刷すると、問題のあるカラーが判断できます。十分に機能していないプリントヘッドを2個1組選択します。クリーニングするプリントヘッドが不明な場合は、すべてのプリントヘッドをクリーニングします。

プリントヘッドのクリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルで アイコンを選択し、[**イメージ品質の保守**] - [**プリントヘッドのクリーニング**] を選択してから、クリーニング対象のプリントヘッドを選択します。すべてのプリントヘッド、または一部のプリントヘッドをクリーニングできます。選択肢は以下の通りです。

- すべてのクリーニング
- M-Yのクリーニング
- LM-LCのクリーニング
- PK-LGのクリーニング
- MK-Cのクリーニング
- インクの除去

すべてのプリントヘッドのクリーニングには、5分ほどかかります。すべてのプリントヘッドのクリーニングには、3分ほどかかります。この処理には6分ほどかかります。

注記： すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。

# プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラー グラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

カスタム用紙を使用して紙詰まりが発生した場合、またはカラーが正確に再現されない問題が発生した場合は、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」を参照してください。

注記： 紙詰まりが発生した場合は、プリントヘッドを取り付け直してから軸合わせ処理を行います。

ヒント： 印刷に使用するのと同じ用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行います。最高の品質を得るには、フォト用紙をお勧めします。普通紙、ボンド紙、薄手のコート紙の場合、許容範囲ですが最低限の結果しか得られません。

警告！ 半透明ボンド紙、ならびに、クリア フィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

## プリントヘッドを再度取り付ける手順

1. プリントヘッドの軸合わせ処理の実行中に誤った用紙が取り付けられている場合は、フロントパネルの キャンセル ボタンを押してください。

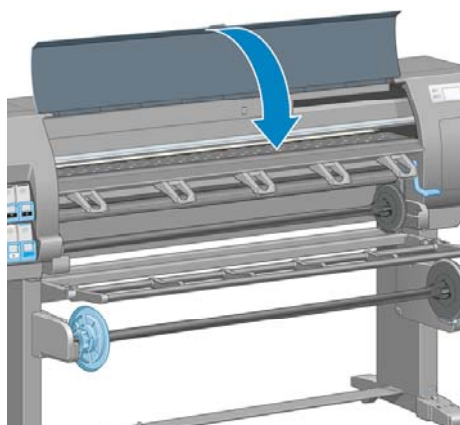
   注意： プリントヘッドの軸合わせ処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。

2. 使用する用紙を取り付けます。最高の品質を得るには、フォト用紙をお勧めします。

   警告！ 半透明ボンド紙、ならびに、クリア フィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

3. すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。79 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」および82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ処理が開始されます。

**注記：** プリントヘッドの軸合わせが行われている間は、ウィンドウが閉じていることを確認してください。

4. この処理には6分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

**注記：** プリントヘッドの軸合わせ処理中に、キャリブレーション イメージが印刷されます。処理中にエラーがある場合は、フロントパネルに表示されます。

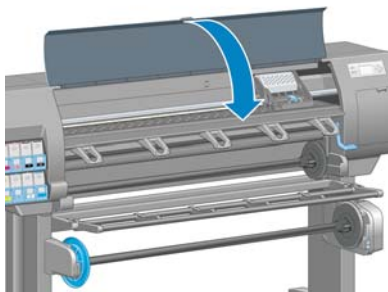
## ［イメージ品質の保守］メニューの手順

1. 使用する用紙を取り付けます。最高の品質を得るには、フォト用紙をお勧めします。普通紙、ボンド紙、薄手のコート紙の場合、許容範囲ですが最低限の結果しか得られません。

**警告！** 半透明ボンド紙、ならびに、クリア フィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

2. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］－［**プリントヘッドの軸合わせ**］を選択します 。プリンタはプリントヘッドの軸合わせを行うのに十分な用紙があるかどうか確認します。

3. 取り付けた用紙がプリントヘッドの軸合わせを行う上で許容範囲内ならば、プリンタは軸合わせを行い、軸合わせパターンを印刷します。

**注記：** プリントヘッドの軸合わせが行われている間は、ウィンドウが閉じていることを確認してください。

4. この処理には5分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

## 軸合わせ中のスキャン エラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合、**スキャンの問題** に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが行われていないため、印刷品質を高くするには、印刷前に軸合わせを繰り返す必要があります。問題の原因は以下のシナリオのいずれかになります。

- プリントヘッドの軸合わせ処理で使用した用紙が許容範囲外だった場合。推奨する用紙の種類のいずれかを使用して、軸合わせ処理を繰り返します。
- プリントヘッドが汚れている場合。プリントヘッドをクリーニングしてください。237 ページの 「プリントヘッドをクリーニングする 」を参照してください。
- プリントヘッドの軸合わせ処理中、ウィンドウが開いていた場合。ウィンドウを閉じて、軸合わせ処理を繰り返します。

推奨する以下の救済措置を行っても問題が解消されない場合、すべてのプリントヘッドを交換してください。プリントヘッドを交換しても問題が解消されない場合、スキャニング システムに問題がある可能性があります。

# 14 トラブルシューティング（その他）

## プリンタで印刷されない

コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合の理由には、以下が含まれます。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルが反応しない場合、電源ケーブルが正しく取り付けられていること、および電源ソケットが動作していることを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している可能性があります。このような現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの 電源 ボタンを押してプリンタの電源を切り、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、日本HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。
- グラフィック言語の設定が間違っている可能性があります。
- 正しいプリンタ ドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。
- 用紙に関する以下のいずれかのシナリオが存在している可能性があります。
  - プリンタにセットされている用紙名がフロントパネルに反映されていない。
  - ロール紙に、ジョブ全体が印刷できるだけの十分な用紙がセットされていない。

  このような場合は、あるジョブが印刷される一方、別のジョブが印刷キューで一時停止の状態になります。この問題を解決するには、プリンタからロール紙を取り外し、フロントパネルに表示される処理手順に従って、新しいロール紙をセットします。
- ネスティングが［**オン**］になっているため、指定のネスティング待ちのタイムアウトまで待機しています。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。このような場合は、Webブラウザにプレビューが表示されます。

トラブルシューティング（その他）

# 印刷ジョブの生成中にソフトウェア プログラムの処理速度が低下したり停止する

高品質の大判印刷ジョブを生成するには、大量のデータが必要な場合があります。これが原因で、ソフトウェア プログラムの処理速度が低下したり停止します。印刷解像度を下げることでこのようなシナリオを回避できますが、印刷解像度を下げると印刷品質が低下します。

Windows HP-GL/2ドライバで、[**詳細設定**] タブを選択し、次に [**ドキュメントのオプション**] - [**プリンタの機能**] を選択して、[**アプリケーションの最大解像度**] を [300] に設定します。

トラブルシューティング（その他）

## プリンタの印刷が遅い

この場合、いくつかの原因が考えられます。

- 印刷品質を［**高品質**］に設定している場合。印刷品質が［**高品質**］に設定されたイメージの印刷には、より多くの時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。プリンタにセットされている用紙名がフロントパネルに反映されているかどうか確認してください。
- プリンタがネットワークに接続されている。ネットワーク上のすべてのコンポーネント（ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル）が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- 乾燥時間を［**長い**］に設定している場合。乾燥時間を［**最適**］に変更してみてください。64 ページの 「乾燥時間を変更する 」を参照してください。
- プリントヘッドの状態が悪い場合。プリントヘッドのクリーニングが必要な場合、印刷時間が長くなる可能性があります。フロントパネルまたは内蔵Webサーバでプリントヘッドのステータスを確認してください。必要に応じてプリントヘッドを修理するか交換します。
- イメージにインク濃度の高い黒い塗りつぶしがある場合。インク濃度の高い黒い塗りつぶしがあると、印刷時間が長くなる場合があります。

# コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに［**データを受信していま す**］というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとすると、コンピュータにエラー メッセージが表示される。
- データ送信時に、コンピュータまたはプリンタが停止する。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する（線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど）。

通信の問題を解決するには、以下の手順に従います。

- ソフトウェア プログラムで、正しいプリンタが選択されていることを確認します。
- 別のソフトウェア プログラムを使用して、そのプリンタが正常に動作することを確認します。
- 大きなイメージの場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタがUSBで接続されている場合、USBケーブルをいったん取り外してから再びコンピュータに取り付けます。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブル アダプタ、ケーブル コンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェース ケーブルを別のものに変えて試してみます。17 ページの 「使用する接続方法を選択する 」を参照してください。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。

トラブルシューティング（その他）

# 内蔵Webサーバにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず31 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」をお読みください。

**注記：** USBケーブルでプリンタを直接コンピュータに接続している場合は、HP Easy Printer Care (Windows) またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) を使用してください。

1. フロントパネルで、アイコンを選択します。
2. **[接続]** – **[詳細設定]** – **[内蔵Webサーバ]** – **[内蔵Webサーバを使用]** – **[オン]** の順に選択します 。
3. プリンタとTCP/IPで接続されている場合は、フロントパネルに移動し、アイコンを選択してから **[接続]** を選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. **[情報の表示]** を選択します。
6. 設定の情報で、**[IP有効: はい]** と表示されていることを確認します。表示されていない場合は、別の接続を選択する必要があります。

それでもまだ内蔵Webサーバにアクセスできない場合は、フロントパネルの 電源 ボタンでプリンタの電源をいったん切ってから、もう一度入れ直してください。

内蔵Webサーバへのアクセスに非常に時間がかかる場合は、プロキシ サーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵Webサーバに直接アクセスします。

- WindowsのInternet Explorer 6を使用している場合は、**[ツール]** – **[インターネット オプション]** – **[接続]** – **[LANの設定]** をクリックし、**[ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない]** チェック ボックスを選択します。**[詳細設定]** ボタンをクリックし、プロキシ サーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスを [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] の一覧に追加します。
- Mac OSのSafariを使用している場合は、**[Safari]** – **[環境設定]** – **[詳細]** をクリックし、**[プロキシ：設定を変更]** ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。

# [メモリ不足] エラー メッセージ

コンピュータでのファイル サイズと、そのファイルの印刷に必要なメモリ量には、直接の関係はありません。実際には、ファイル圧縮などのさまざまな要因があるため、ジョブの印刷で必要なメモリ量を推定することは困難です。より大きなジョブの印刷を過去に行ったことがある場合でも、プリンタに搭載されているメモリでは特定のジョブを印刷するのに十分ではない可能性があります。プリンタにメモリを追加することが、1つの解決策になります。

Windows HP-GL/2ドライバを使用している場合は、プリンタのメモリの問題を解決する方法として、**[詳細設定]** タブを選択し、次に **[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** - **[ビットマップ形式でジョブを送信する]** を選択します。

注記： このオプションを選択すると、コンピュータでのジョブの処理がかなり長くなる場合があります。

トラブルシューティング（その他）

## AutoCAD 2000でメモリ アロケーション エラーが発生する

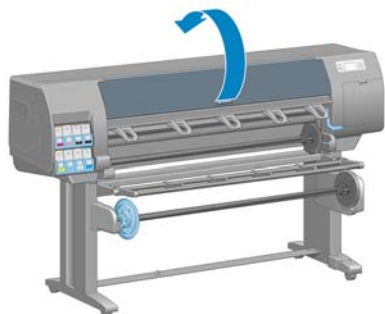
プリンタ ドライバのインストール後、AutoCAD 2000から最初に印刷しようとすると、**メモリ アロケーション エラー** を示すメッセージが表示されます。

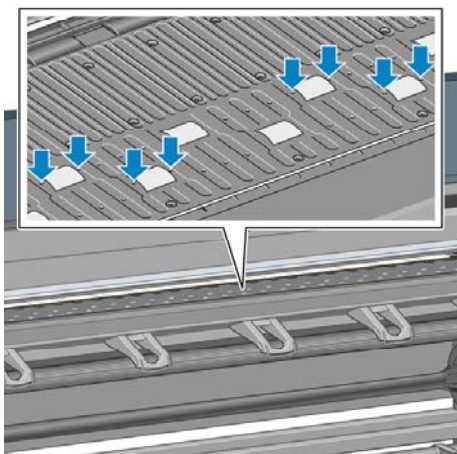
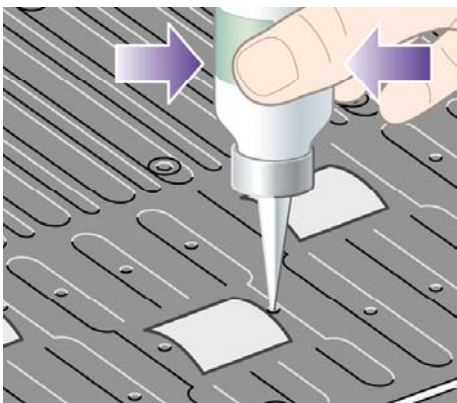
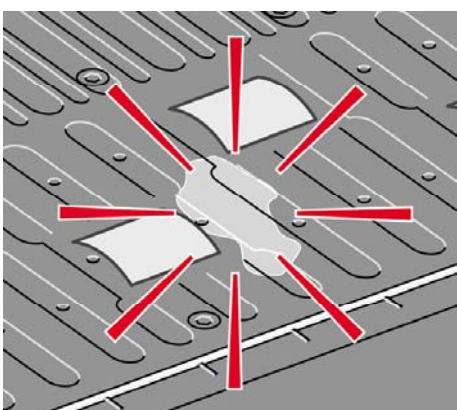
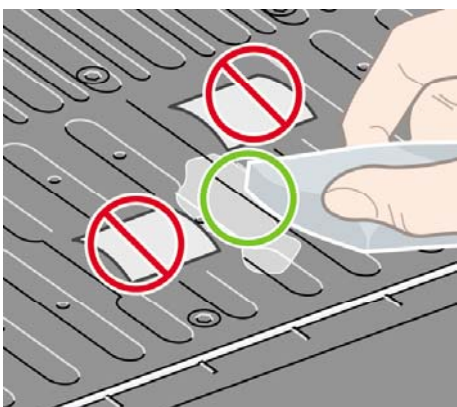
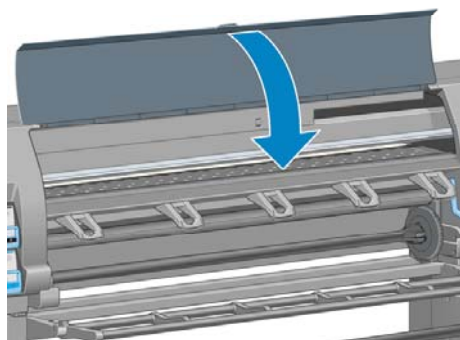
これは、AutoCAD 2000の問題です。この問題を解決するには、プロッタ アップデート パッチ（plotupdate.exe）を、AutodeskのWebサイト（http://www.autodesk.co.jp）からダウンロードします。

AutoCAD 2000での印刷に関してその他の問題がある場合も、プロッタ アップデート パッチをダウンロードすることをお勧めします。

# プラテン ローラーからきしみ音がする

プラテン ローラーには、オイルをさして潤滑する必要があります。プリンタに付属のメンテナンス キットから、潤滑油を取り出します。

1. フロントパネルの 電源 ボタンを押して、電源をオフにします。
2. ウィンドウを開きます。

3. ローラーの横にあるプラテンに、小さい穴があります。

トラブルシューティング (その他)

4. プラテンにある穴に、オイルを3滴さします。

**注記：** オイルがプラテンにこぼれないように注意してください。

5. オイルがプラテンにこぼれてしまった場合は、メンテナンス キットに付属の布できれいに拭き取ってください。

6. ウィンドウを閉じます。

# HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）にアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず33 ページの 「HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）の設定オプション 」をお読みください。

**注記：** HP Easy Printer CareはWindows XP Professional x64 Editionでサポートされていないため、このバージョンのWindowsを使用しているコンピュータにインストールすることはできません。

1. フロントパネルで、アイコンを選択します。
2. **[接続]** - **[詳細設定]** - **[Webサービス]** - **[プリンタ ユーティリティ ソフトウェア]** - **[有効]** の順に選択します。
3. プリンタとTCP/IPで接続されている場合は、フロントパネルに移動し、アイコンをもう一度選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. **[情報の表示]** を選択します。

それでもまだ接続できない場合は、フロントパネルの 電源 ボタンを使用してプリンタの電源を切ってから、入れ直してください。

# Microsoft Visio 2003から出力されない

Microsoft Visio 2003から大きなイメージ（長さ129インチ以上）を印刷する場合の問題についての詳細は、Microsoftのオンライン サポート技術情報（http://support.microsoft.com/search/）を参照してください。

これらの問題を解消するには、Visioでイメージのサイズを129インチ以下に縮小し、ドライバでイメージをを拡大します。Visioでイメージのサイズを変更し、Windowsドライバで［**機能**］タブをクリックし、［**サイズ変更**］オプションを選択します。

トラブルシューティング（その他）

## プレビュー待ちのとき、印刷ジョブがキャンセルおよび削除される

このプリンタでは、最大64ページまでプレビューが保存されます。プレビューするために選択したジョブに64ページを超えるページが含まれている場合、65ページ目の処理がプリンタで開始されると、予告なしにジョブがキャンセルおよび削除されます。64ページを超えるページが含まれているジョブをプレビューする場合、65ページ目の処理がプリンタで開始される前に［続ける］ボタンを押します。プレビュー イメージは最初のページが処理されるとすぐに準備されるため、プレビュー イメージの確認には十分な時間が必要です。

# 15 フロントパネルのエラー メッセージ

状況によっては、フロントパネルにエラー メッセージが表示されます。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってエラーを解決します。

このリストにないエラー メッセージがフロントパネルに表示され、的確な対応が不明な場合は、日本HPカスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。

**表 15-1 テキスト メッセージ**

| メッセージ | 推奨 |
| --- | --- |
| [カラー] カートリッジの使用期限が切れています | カートリッジを交換してください。77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」および79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」を参照してください。 |
| [カラー] カートリッジがありません | 該当するカラーのカートリッジを取り付けてください。79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」を参照してください。 |
| [カラー] カートリッジがインク切れです | カートリッジを交換してください。77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」および79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」を参照してください。 |
| [カラー] プリントヘッド #[n] エラー : 取り付けられていません | 該当するプリントヘッドを取り付けてください。82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。 |
| [カラー] プリントヘッド #[n] エラー : 取り外して下さい | 間違ったプリントヘッドを取り外し、該当する種類（カラーおよび番号）の新しいプリントヘッドを取り付けてください。79 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」および82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。 |
| [カラー] プリントヘッド #[n] エラー : 交換して下さい | 機能していないプリントヘッドを取り外し、新しいプリントヘッドを取り付けてください。79 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」および82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」を参照してください。 |
| [カラー] プリントヘッド #[n] エラー : 再度取り付けて下さい | プリントヘッドを取り外してから同じプリントヘッドを取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。235 ページの 「フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される 」を参照してください。 |
| [カラー] プリントヘッド #[n] は保証期間切れです | 試用期間の長さまたはインク消費量のいずれかが原因で、プリントヘッドの保証期間が切れました。279 ページの 「法律情報」を参照してください。 |
| [カラー] プリントヘッド #[n] での保証に関する警告です | 間違った種類のインクを使用したことにより、プリントヘッドの保証が無効になっている可能性があります。279 ページの 「法律情報」を参照してください。 |

エラー メッセージ

**表 15-1 テキスト メッセージ（続き）**

| メッセージ | 推奨 |
|---|---|
| [警告] 内部エラー : プリントを作成できません | このプリンタには、印刷メニュー ファイルはありません。内蔵Webファイル経由で印刷メニュー ファイルを読み込んでください。 |
| IOエラー | プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |
| IO/警告 | 再試行してください。それでも問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |
| PDLエラー : インク切れ | プリントヘッドをクリーニングしてください。237 ページの 「プリントヘッドをクリーニングする 」を参照してください。 |
| PDLエラー : ジョブがクリップされました | イメージが用紙またはプリンタに対して大きすぎます。より大きい用紙を取り付けるか、またはイメージ サイズを小さくしてください。 |
| PDLエラー : メモリが足りません | プリンタを再起動し、ジョブを再送信してみてください。必要に応じて、ジョブの複雑さを軽減します。 |
| PDLエラー : 用紙切れ | 用紙を追加してください。 |
| PDLエラー : 解析エラー | 印刷ジョブがプリンタで解析できません。作成し直して、再送信してください。プリンタの接続を確認してください。 |
| PDLエラー : 印刷モードエラー | 用紙の種類またはジョブに対して指定した印刷品質が不適切です。取り付けられている用紙の種類または印刷設定を変更してください。 |
| PDLエラー : 印刷エラー | ジョブをもう一度送信してください。 |
| PDLエラー : 仮想メモリが足りません | プリンタを再起動し、ジョブを再送信してみてください。必要に応じて、ジョブの複雑さを軽減します。 |
| [カラー] カートリッジを交換して下さい | カートリッジを交換してください。77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」および79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」を参照してください。 |
| [カラー] カートリッジを再度取り付けて下さい | カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」および79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」を参照してください。 |
| アップデート : 失敗。無効なファイルです。 | 正しいファームウェアのアップデート ファイルが選択されていることを確認してください。次に、再度アップデートを実行してください。 |

状況によっては、フロントパネルに数字でエラー メッセージが表示されます。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってエラーを解決します。

このリストにないエラー メッセージがフロントパネルに表示される場合は、プリンタの電源をいったんオフにし、再びオンにしてください。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。

**表 15-2 数字のエラー メッセージ**

| エラー コード | 推奨 |
|---|---|
| 26.n.01 (n には問題のあるインクカートリッジの番号が入ります) | 問題のあるインクカートリッジを取り外し、もう一度、プリンタに取り付けます。それでも同じエラーが表示される場合は、問題のインクカートリッジを交換します。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |

表 15-2　数字のエラー メッセージ（続き）

| エラー コード | 推奨 |
|---|---|
| 29.01 | 保守カートリッジが正しく挿入されていません。プリンタの右側にある保守カートリッジのドアを開き、保守カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してから、ドアを閉めます。それでも問題が解決されない場合は、保守カートリッジを交換します。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |
| 32.1.01 | 巻き取りリールでエラーが発生しました。用紙が巻き取りリールのスピンドル芯にしっかり巻きついており、巻き取り方向が正しく設定されていることを確認してください。 |
| 32.2.01 | 巻き取りリールを検出できません。巻き取りリールのセンサー ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 |
| 61.01 | ファイル形式が間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。以下の救済措置を試してください。<br>● フロントパネルの［電源］ボタンと、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにしてから、電源コードをいったん抜き取ります。-その後、電源コードをもう一度差し込んで、プリンタの電源をオンにします。<br>● グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。133 ページの 「グラフィック言語の設定を変更する 」を参照してください。<br>● プリンタにファイルを再送信します。<br>● プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。<br>問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |
| 63.04 | ネットワーク カードの入力/出力に問題が発生しました。以下の救済措置を試してください。<br>● ネットワーク ケーブルが、ネットワーク カードに正しく接続されていることを確認します。<br>● プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。<br>問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |
| 71.03 | “メモリ不足” エラーが発生しました。内蔵Webサーバを使用して、プリンタのハード ディスクから不要なファイルを削除することをお勧めします。 |
| 74.01 | ファームウェア アップデート ファイルのアップロード中にエラーが発生しました。以下の救済措置を試してください。<br>● フロントパネルの［電源］ボタンと、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにしてから、電源コードをいったん抜き取ります。-その後、電源コードをもう一度差し込んで、プリンタの電源をオンにします。<br>● もう一度、このファームウェア アップデート ファイルをプリンタにアップロードしてください。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。<br>問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |

**表 15-2　数字のエラー メッセージ（続き）**

| エラー コード | 推奨 |
| --- | --- |
| 76.03 | “ディスク容量不足” エラーが発生しました。以下の救済措置を試してください。<br>● フロントパネルの［電源］ボタンと、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにしてから、電源コードをいったん抜き取ります。-その後、電源コードをもう一度差し込んで、プリンタの電源をオンにします。<br>● プリンタにファイルを再送信します。<br>● 内蔵Webサーバを使用して、プリンタのハード ディスクから不要なファイルを削除することをお勧めします。<br>● EEROM（Electrically Erasable Read-Only Memory）をリセットし、もう一度、プリンタにファイルを送信します。<br>問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |
| 77.04 | 内蔵Webサーバの内部ソフトウェア エラーが発生しました。以下の救済措置を試してください。<br>● フロントパネルの［電源］ボタンと、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにしてから、電源コードをいったん抜き取ります。-その後、電源コードをもう一度差し込んで、プリンタの電源をオンにします。<br>● プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」を参照してください。<br>問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |
| 81.01、81.03、86.01 | プリンタのウィンドウを開き、ドライブ ローラーの動きを妨げる物がないことを確認します。紙詰まりによってドライブ ローラーの動きが制限されている場合は、用紙取り付けレバーを持ち上げ、詰まった用紙を取り除きます。問題が解決されない場合は、HPサポートにお問い合わせください。263 ページの 「HPカスタマー・ケア 」を参照してください。 |

# 16 ヘルプ

ヘルプ

# 概要

HPカスタマー・ケアは、優れたサポート内容により受賞経験もあります。お使いのHP Designjetから常に最高の結果を得られるようにサポートいたします。HPカスタマー・ケアは、広範囲にわたる信頼のおけるサポート専門知識と新しい技術で、ほかには類を見ないきめ細かなサポートを提供いたします。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話とWebによるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HPカスタマー・ケアの詳細は、弊社Webサイト(http://www.hp.com/support/japan) をご覧ください。

# HPインスタント サポート

HPインスタント サポート プロフェッショナル エディションは、プリンタから診断情報を収集し、HPのナレッジベースに蓄積された解決策と照合して迅速に問題を解決する、HPのトラブルシューティング用のツールです。

HPインスタント サポート セッションを開始するには、プリンタの内蔵Webサーバに表示される [**サポート**] タブのリンクをクリックします。31 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスする 」を参照してください。

HPインスタント サポートを使用するには、以下の条件を満たす必要があります。

- プリンタの接続方法がTCP/IPを使用したものであること。HPインスタント サポートは、内蔵Webサーバからのみアクセス可能です。
- Webにアクセスできること。HPインスタント サポートは、Webベースのサービスです。

HPインスタント サポートは現在、英語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご利用いただけます。

HPインスタント サポートの詳細については、http://www.hp.com/go/ispe/ をご覧ください。

## HPプロアクティブ サポート

HPプロアクティブ サポートは、商業用のイメージや印刷製品の使用時に発生する問題を識別、診断、および解決するHPのトラブルシューティング用のサポート ツールです。HPプロアクティブ サポートは、HP Easy Printer Care (Windows) やHPプリンタユーティリティ (Mac OS) など複数のHPソフトウェア プログラムに内蔵されているので、簡単で手軽にすべてのHPプリンタを監視、更新、および最適な状態に保持することができます。

HPプロアクティブ サポートの詳細については、http://www.hp.com/go/proactivesupport をご覧ください。

# HPカスタマー・ケア

弊社はお客様を支えるパートナーとして、お客様のビジネスを円滑にするお手伝いをしたいと考えております。HPカスタマー・ケアは、優れたサポート内容により受賞経験もあります。お使いのHP Designjetから常に最高の結果を得られるようにサポートいたします。

HPカスタマー・ケアは、広範囲における信頼のおけるサポート専門知識を提供し、常に新しい技術を効果的に使用することで、ほかには類を見ないきめ細かなサポートを提供いたします。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話とWebによるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HPカスタマー・ケアについての詳細は、弊社Webサイト（http://www.hp.com/support/japan）をご覧ください。お問い合わせに関する最新情報は、**お問い合わせ** リンクをクリックするか、プリンタに付属している クイック リファレンス ガイド の電話番号にお電話ください。

お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 本製品のドライバ付属のマニュアル（PostScriptファイルを印刷する場合、またはMicrosoft Windowsのユーザの場合）を参照してください。
- サードパーティ社製のソフトウェア ドライバとRIPをインストールしている場合は、それらのマニュアルを参照してください。
- 問題がソフトウェア プログラムに関連していると思われる場合は、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- 弊社にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
  - お使いのプリンタの情報（プリンタの背面のラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号。フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**プリンタ情報の表示**］を選択して確認します）
  - プリンタのサービスID（同様に、［**プリンタ情報の表示**］オプションにあります。）
  - フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモに取ってください。
  - お使いのプリンタの商品名とモデル番号
  - お使いの特別な機器やソフトウェア（スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェア ドライバなど）
  - お使いのネットワーク ケーブルの製品番号と購入した際の店舗名
  - プリンタでお使いのインタフェースの種類（USB、またはネットワーク）
  - 使用中のソフトウェアの名前とバージョン
  - ［サービス情報の印刷］を印刷しておいてください。サポート センターからこれらのページのFAX送信をお願いする場合があります。

    フロントパネルの場合：アイコンを選択し、次に［**印刷メニュー**］－［**サービス情報の印刷**］－［**上記の全ページの印刷**］を選択します。

    内蔵Webサーバの場合：［**サポート**］タブの［**サービス サポート**］ページにアクセスして、［**プリンタ情報**］－［**全ページ**］を選択します。

## 電話番号

HPサポートの電話番号の最新リストは、Webで提供しています。弊社Webサイト(http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html) をご覧ください。Webにアクセスできない場合は、以下のいずれかの電話番号までご連絡ください。

- アルジェリア：213 17 63 80
- アルゼンチン：0 800 777 HP INVENT、5411 4778 8380 (国内)
- オーストラリア：13 10 47
- オーストリア：0810 00 10 00
- バーレーン：800 171
- ベルギー：(0) 78 600 600
- ボリビア：0 800 1110、54 11 4708 1600 (国内)
- ボリビア：0800 157 751、55 11 3747 7799 (国内)
- カナダ：1 800 HP INVENT
- カリブ海諸国：1 800 711 2884
- 中央アメリカ：1 800 711 2884
- チリ：800 HP INVENT、123 800 360 999
- 中国：800 810 59 59、10 6564 59 59
- コロンビア：01 8000 51 HP INVENT、571 606 9191 (国内)
- チェコ共和国：420 261 307 310
- デンマーク：70 11 77 00
- エクアドル：999 119、1 800 225 528
- エジプト：202 532 5222
- フィンランド：0203 53232
- フランス：08 26 10 49 49
- ドイツ：0180 52 58 143
- ギリシャ：210 6073603、801 11 22 55 47
- グアドループ：0800 99 00 11、877 219 8791
- グアテマラ：1 800 999 5105、1 800 711 2884
- 香港：852 3002 8555
- カリブ海諸国：06 1 382 1111
- ハンガリー：1 600 112 267
- インドネシア：350 3408
- アイルランド：1 890 946500
- イスラエル：09 830 4848

- イタリア：02 3859 1212
- ジャマイカ：0 800 711 2884
- 日本：0120 014121
- 韓国：82 1588 3003
- ルクセンブルグ：27 303 303
- マレーシア：1 800 80 5405
- マルティニク：0 800 99 00、877 219 8671
- メキシコ：01 800 472 6684、5258 9922（国内）
- 中東：4 366 2020
- モロッコ：2240 4747
- オランダ：0900 1170 000
- ニュージーランド：09 365 9805
- ノルウェー：800 62 800
- パラグアイ：00 811 800、800 711 2884
- パナマ：001 800 711 2884
- ペルー：0 800 10111
- フィリピン：632 888 6100
- ポーランド：22 566 6000
- ポルトガル：213 164 164
- プエルトリコ：1 800 652 6672
- 南アフリカ共和国：27 11 258 9301、086 000 1030（国内）
- ルーマニア：40 21 315 4442
- ロシア：095 797 3520、812 3467 997
- サウジアラビア：6272 5300
- スロバキア：2 50222444
- 南アフリカ：0800 001 030
- スペイン：902 010 333
- スウェーデン：077 130 30 00
- スイス：0848 80 20 20
- 台湾：886 2 872 28000
- タイ：0 2353 9000
- チュニジア：71 89 12 22
- トルコ：216 444 71 71

- アラブ首長国連邦：800 4520、04 366 2020
- ウクライナ：44 4903520
- 英国：0870 842 2339
- アメリカ合衆国：1 800 HP INVENT
- ウルグアイ：54 11 4708 1600
- ベネズエラ 0 800 HP INVENT、58 212 278 8000（国内）
- ベトナム：84 8 823 45 30
- 西アフリカ（フランス語）：351 213 17 63 80

# HP Designjet Online

HPは専用のサービスとリソースを取り揃えており、HP Designjet 製品およびソリューションに関して最高のパフォーマンスが得られます。

HP Designjet Onlineは、大判印刷に携わる方々のコミュニティです（http://www.hp.com/go/designjet/）。ご登録いただくと、以下のリソースを無制限でご利用になれます。

- ダウンロード – プリンタの最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プロファイルなど
- 技術サポート – オンラインのトラブルシューティング、HPカスタマー・ケアへのご連絡など
- HPの専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です
- 技術資料およびトレーニング用のビデオ。
- 最新の製品情報：プリンタ、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど。
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライ センター

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

最高のパフォーマンスを実現するため、是非、HP Designjet Onlineにご登録ください。

HP Designjet Onlineは、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご覧いただけます。

## その他の情報

その他に、以下の情報をご利用いただけます。

- 内蔵Webサーバから、プリンタのステータス、技術サポート、オンライン マニュアルなどをご利用いただけます。11 ページの 「プリンタ ソフトウェア 」を参照してください。
- プリンタの組み立てに関するマニュアル（プリンタに同梱）。

# 17 プリンタの仕様

# プリンタ機能の仕様

表 17-1 HP No. 90インク サプライ品

| | |
|---|---|
| プリントヘッド | マットブラック/シアン、ライトマゼンタ/ライトシアン、マゼンタ/イエロー、フォトブラック/ライトグレー |
| 保守カートリッジ | 特定の色に依存せず |
| インクカートリッジ | マゼンタ、ライトマゼンタ、フォトブラック、マットブラック、イエロー、ライトシアン、ライトグレー、シアン。すべてのカートリッジのインク容量は、775 mlです。 |

表 17-2 用紙サイズ

| | 最小 | 最大 |
|---|---|---|
| 幅 | 610mm (24インチ) | 1524mm (60インチ) |
| 長さ | 420 mm (16.5インチ) | 外経が最大で170mm (6.7インチ) のロール紙 |

表 17-3 印刷解像度 (Windows HP-GL/2ドライバを使用)

| 印刷品質 | フォト用紙での最大解像度 | レンダリング解像度 | 印刷解像度 |
|---|---|---|---|
| [高品質] | オン | 1200×1200 | 2400×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙)<br><br>1200×1200 (その他の用紙) |
| [高品質] | オフ | 1200×1200 | 600×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙)<br><br>1200×1200 (その他の用紙) |
| [標準] | なし | 600×600 | 600×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙)<br><br>1200×1200 (その他の用紙) |
| [標準-高速] | なし | 600×600 | 600×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、 |

表 17-3　印刷解像度（Windows HP-GL/2ドライバを使用）（続き）

| 印刷品質 | フォト用紙での最大解像度 | レンダリング解像度 | 印刷解像度 |
|---|---|---|---|
| | | | HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙）<br><br>1200×1200（その他の用紙） |
| [高速] | なし | 300×300 | 600×1200（普通紙、インクジェット普通紙、HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙）<br><br>1200×1200（その他の用紙） |

表 17-4　マージン設定

| | |
|---|---|
| 左右マージン | 5mm = 0.2インチ（狭い、ふつう）<br><br>15mm = 0.6インチ（広い） |
| 上マージン（用紙の上端） | 5mm = 0.2インチ（狭い、ふつう）<br><br>11.5mm = 0.6インチ（ふつう）<br><br>55mm = 2.2インチ（広い） |
| 下マージン（用紙の下端） | 5mm = 0.2インチ（狭い、ふつう、広い） |

表 17-5　機構的な精度

指定ベクトル長±0.1%または±0.1mm（いずれか大きい方）、気温23°C（73°F）、相対湿度50～60%、A0サイズの印刷物に［高品質］または［標準］でHPマットフィルムを使用して印刷。

表 17-6　サポートされているグラフィック言語

| | |
|---|---|
| HP Designjet Z6100プリンタ | HP-GL/2、RTL、TIFF、JPEG、CALS G4 |
| HP Designjet Z6100psプリンタのみ | Adobe PostScript 3、PDF 1.5 |

プリンタの仕様

# 物理的仕様

**表 17-7　プリンタの物理的仕様**

| | |
|---|---|
| 重量（スタンド部を含む） | < 163kg（HP Designjet Z6100 42インチ）<br>< 195kg（HP Designjet Z6100 60インチ） |
| 幅 | < 1990 mm（HP Designjet Z6100 42インチ）<br>< 2450 mm（HP Designjet Z6100 60インチ） |
| 奥行き | < 860mm（巻き取りリール付き）<br>< 700mm（巻き取りリールなし） |
| 高さ | ≈ 1370mm |

# メモリの仕様

表 17-8　メモリの仕様

| | |
|---|---|
| 標準搭載メモリ（DRAM） | 256MB |
| 最大メモリ（DRAM） | 512MB |
| ハードディスク | 40GB |

# 電源の仕様

**表 17-9　プリンタの電源の仕様**

| 電源 | 100 – 127 V AC / 220 – 240 V AC±10%、自動調整 |
| --- | --- |
| 周波数 | 50-60 Hz |
| 電流 | < 4A |
| 消費電力 | 350W（最大） |

# エコロジーに関する仕様

本製品は、欧州連合におけるWEEEおよびRoHSの指示に準拠しており、米国EPA (環境保護庁)のEnergy Star Programに適合しています。

プリンタのエコロジーに関する仕様の最新情報については、http://www.hp.com/ にアクセスし、「ecological specifications」で検索してください。

# 動作環境の仕様

**表 17-10 プリンタの動作環境の仕様**

| | |
|---|---|
| イメージを最高品質で印刷するための相対湿度範囲 | 20-80% (用紙の種類により変動) |
| イメージを最高品質で印刷するための温度範囲 | 15～35° C (59～86° F) (用紙の種類により変動) |
| 印刷時の温度範囲 | 5～40° C (41～104° F) |
| 印刷時以外の温度範囲 | -20～+55° C (-4～+131° F) |
| 動作可能な最大高度 | 3000 m |

# 動作音に関する仕様

表 17-11 プリンタの動作音に関する仕様

| | |
|---|---|
| アイドリング時の動作音 | ≤ 5.8B (A) |
| 操作時の動作音 | ≤ 7.0B (A) |
| アイドリング時の音圧 | ≤ 41dB (A) |
| 操作時の音圧 | ≤ 53dB (A) |

プリンタの仕様

# 18 法律情報

# Hewlett-Packard無償保証−HP Designjet Z6100シリーズ プリンタ

| HP製品 | 無償保証期間 |
|---|---|
| プリンタ | 1年間（お客様の新規購入日から。ただし、中古機を除く。） |
| ソフトウェア | 90日間（お客様の新規購入日から。ただし、中古機を除く。） |
| プリントヘッド | 製品に印刷されている「保証期限日」に達するまで、あるいはプリントヘッドで1000mlのHPインクを使い切るまでの、いずれか先に到達したとき。 |
| インクカートリッジ | HPインクを消費するまで、または製品に印刷されている「保証期限日」に達するまでの、いずれか先に到達したとき。 |

## A. HP無償保証の範囲、内容および条件

1. HP（以下「弊社」と言います）はお客様に対して、上記のHPハードウェア製品について、上記に定める無償保証期間中、部品および製造上の理由により不具合が発生した場合に、無償で保証いたします。無償保証期間の開始日は、購入日になります。お手元にある日付の入った領収書または納品受領証など、本製品のご購入日が記載された書類が、ご購入日の証明書となります。保証サービスを受ける際には、ご購入日を証明する書類の提出が必要となる場合があります。

2. ソフトウェア製品について、弊社の無償保証は、上記に定める無償保証期間中、プログラム命令が実行されない欠陥に対してのみ適用されます。

3. 弊社はいかなるソフトウェア製品についても、動作の中断について、あるいはエラーが発生しないという保証はいたしません。

4. 弊社の限定保証は、製品を通常の用法に従って使用した結果発生した不具合に対してのみ適用されます。以下のような場合を含め、その他の問題には適用されません。

   a. お客様の不適切または不十分な保守による場合。

   b. 弊社が提供またはサポートしていないソフトウェア、インタフェース、用紙、サプライ品を使用した場合。

   c. 製品仕様または本マニュアルの記載の範囲外での製品操作に起因する場合。または

   d. 無断の改変または誤った使い方。

   クリーニング サービス、予防保守サービス（予防保守キットに含まれる部品、および弊社サービス エンジニアによる作業を含む）など、HP Designjet Z6100シリーズ プリンタの日常的なプリンタ保守作業は、無償保証の対象になりません。

5. 故障、変化、またはデータの喪失に備え、本プリンタのハード ディスクまたはその他のストレージ デバイスに格納されたデータのバックアップ コピーを定期的に作成してください。サービスを受けるために本製品のユニットを弊社に送付する場合、必ず事前にデータのバックアップを作成し、機密情報、社外秘情報、個人情報などは削除しておいてください。弊社は、本プリンタのハード ディスクまたはその他のストレージ デバイスに格納されたいかなるファイルまたはデータの破損または喪失に対しても責任を負いません。また、弊社は、喪失したファイルまたはデータの復元も行いません。

6. HPプリンタ製品について、補充用またはその後ご購入いただいたHPサプライ品（インク、プリントヘッド、インクカートリッジ）を使用いただいても、お客様へのHP無償保証またはお客様とのHPサポート契約には影響いたしません。ただし、HP製品以外のインクカートリッジ、またはHP製品以外の補充用のインクカートリッジその他HP製品以外のサプライ品の使用によるプリ

法律情報

ンタの故障や破損については、無償保証の範囲外とし、修理に必要とされる技術者派遣費、技術費および、材料費を請求させていただきます。

7. 保証期間中に、この無償保証の対象となっている製品の不具合の通知を弊社が受け取った場合：

   a. この無償保証の対象となるHPソフトウェア、メディア、または消耗品について、不具合のあるものを回収し、それに代わる別の製品をお届けします。

   b. 弊社独自の判断に基づき、不具合のあるハードウェア製品またはコンポーネント部品を、技術者を派遣して修理するか、または交換します。コンポーネント部品の交換が必要と弊社が判断した場合、お客様に対し、(i) 不具合のある部品と引き換えに交換部品を提供し、(ii) 必要に応じて電話等による部品取り付けのサポートを行います。

8. 万一、この無償保証の対象となっている不具合のある製品の修理または交換に対応ができない場合は、不具合の通知を受けてからしかるべき期間内に、製品の購入代金を返金いたします。

9. お客様から故障したコンポーネント、部品、消耗品、メディア、およびハードウェア製品を弊社にご返却いただくまで、弊社には交換または返金の義務はありません。この無償保証による交換によって返却されたコンポーネント、部品、消耗品、メディア、またはハードウェア製品は、弊社の所有物となります。上記の内容にかかわらず、弊社は、故障した部品の返却をお客様に要求しない場合もあります。

10. 特に明記しない限り、地域の法律の定める範囲内において、パフォーマンスと信頼性の向上のため、同種類の製品について、新しい材料、または新しい材料と同等な使用済み材料を使用して製造する場合があります。弊社は、製品の修理または交換を行う際、(i) 修理または交換の対象となる製品と同等の製品またはその材料を使用しますが、再利用品になる場合があります。または、(ii) 元の製品が生産中止になっている場合、元の製品と同等の製品またはその材料を使用します。

11. 弊社の無償保証は、弊社または弊社認定のプロバイダが保証サービスを提供し、弊社がこの保証対象製品を販売したあらゆる国/地域において有効です。ただし、保証サービスの有効性と応答時間は、国/地域により異なる場合があります。弊社では、法律上または規制により、動作を想定していない国/地域で製品を動作させるために、弊社製品の形状、適合性、または機能を変更することはありません。

12. 本文書に記載されている弊社製品が、弊社または正規輸入業者によって提供されている地域では、弊社認定のサービス部門に対して、その他のサービス契約が適用される場合があります。

## B. 保証の制限

法律の定める範囲において、弊社および弊社指定の協力会社は、弊社の製品およびサービスに関して、上記以外のいかなる保証も、債務の負担もいたしません。弊社は、市場性、品質、特定目的への適合性について、いかなる保証も債務の負担もいたしません。

## C. 責任の制限

法律の定める範囲において、この無償保証で特に明記されている責任を除き、契約、不法行為、その他の法的原因に基づいているか否かに関わらず、またそうした損害の可能性を予期または報告されていたか否かに関わらず、弊社または弊社指定の協力会社は、直接的損害、間接的損害、付随的損害または結果損害、および通常のまたは特別な事情による損害その他一切の損害（収益または資金の損失を含む）に対していかなる責任も負いません。

## D. 国/地域別の法律

1. この無償保証は、特定の法的権利をお客様に与えるものです。その他の権利は、米国とカナダでは州によって、またはその他の国/地域ではその国/地域によって異なる可能性があります。お客様が有するその他の権利については、国/地域の法律をご確認ください。

2. この無償保証の一部が特定の国/地域の法律と一致していない場合は、その国/地域の法律に合致するよう修正されます。当該国/地域の法律上許されていない場合を除き、本保証の条件は除

法律情報

外、制限、または変更されません。さらに、本保証の条件は、当該国/地域のお客様へのHP製品の販売に適用される、当該国/地域の法律の定める範囲内で法的拘束力のある権利義務となります。

改訂：2006年12月10日

法律情報

# Hewlett-Packardソフトウェア使用許諾書

注意：本ソフトウェアの使用にあたり、お客様は、以下に記載するHPソフトウェア使用許諾条件に従うものとします。本ソフトウェアを使用することによって、お客様はこれらの使用許諾条件に同意したものとみなされます。お客様がこれらの条件に同意しない場合であって、本ソフトウェアの購入金額の払い戻しを受けるためには、本ソフトウェアをご返却していただく場合があります。また、本ソフトウェアが他の製品と共に提供されている場合は、払い戻しのために、当該製品全てを未使用でご返却していただく場合があります。

## HPソフトウェア使用許諾条件

HPと別途契約を締結しない限り、以下の条件が、HP Designjet Z6100シリーズ プリンタのソフトウェアの使用に適用されます。

**定義**　HP Designjet Z6100シリーズ プリンタ ソフトウェアには、HPソフトウェア製品（本ソフトウェア）およびオープン ソース ソフトウェア コンポーネントが含まれます。

「オープン ソース ソフトウェア」には、当該ソフトウェアの関連資料に記載されたオープン ソース使用許諾契約の条項に基づいて使用許諾されるApache、Tomcat、MySQL、およびomniORBを含むさまざまなオープン ソース ソフトウェア コンポーネントが含まれますが、これらに限定されません（下記の「オープン ソース ソフトウェア」の項を参照）。

**使用許諾** HPは、お客様に、HP Designjet Z6100シリーズ プリンタにプレインストールされた本ソフトウェアの複製物ひとつを使用する権利を許諾します。「使用」とは、本ソフトウェアを保存、ロード、実行、または表示する行為をいいます。お客様は、本ソフトウェアの翻案、ならびに本ソフトウェアの使用許諾する機能または使用をコントロールする機能を損なうような行為はできません。

**所有権** 本ソフトウェアに関するすべての所有権および著作権は、HPまたは供給元である第三者に帰属します。お客様は、本使用許諾によって、本ソフトウェアに関し、これらの所有権または著作権を取得するものではありません。また、本使用許諾は、本ソフトウェアにおけるいかなる権利をも譲渡するものではありません。本使用許諾条件に違反した場合、本ソフトウェアの供給元である第三者は、当該第三者の有する権利を保護することができます。

**複写および翻案**　お客様は、保存目的ならびに本ソフトウェアを許諾された範囲内で使用するために複製または翻案が不可欠の手段であるときに限り、本ソフトウェアを複製または翻案することができます。本ソフトウェアに付されたすべての著作権表示は、すべての複製物または翻案物の上に表示されなければなりません。お客様は、本ソフトウェアを一般公開されているいかなるネットワーク上にも複製またはアップロードできません。

**逆アセンブルまたは解読**　HPの書面による事前の承諾を取得しない限り、お客様は、本ソフトウェアを逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。ただし、一部の地域の法律によっては、限定的な逆アセンブルまたは逆コンパイルに対しHPの合意が不要な場合があります。要求された場合、お客様は、逆アセンブルまたは逆コンパイルについて合理的な範囲の詳細情報をHPに提供しなければなりません。お客様は、本ソフトウェアの使用のために必要でない限り、本ソフトウェアを解読できません。

**譲渡**　本ソフトウェアを譲渡した時点で、お客様に対する本使用許諾は自動的に終了します。譲渡時には、お客様は、すべての複製物および関連文書を含めて、本ソフトウェアを譲受人に引き渡さなければならないものとします。また、譲受人は、当該譲受の条件として本使用許諾条件を承諾しなければなりません。

**終了** 本使用許諾条件のいずれかに違反した場合、HPは、通知をもって本使用許諾を終了することができます。当該終了をもって、お客様は、本ソフトウェア、その複製物、翻案物、およびいかなる形態であるかを問わず他の一部として統合されたものすべてを、ただちに破棄しなければなりません。また、本ソフトウェアがHP Designjet Z6100シリーズ プリンタに付属している場合は、HP Designjet Z6100シリーズ プリンタの使用を停止してください。

**輸出時の条件**　本ソフトウェア、その複製物または翻案物は、適用される法律や規則に違反して輸出または再輸出することはできません。

**米国 政府の権利制限** 本ソフトウェアおよび付属する文書は、全て民間の費用負担により開発されたものです。これらは、DFARS、FARS、あるいはこれに相当する連邦政府関係機関が定める規定または契約条項で規定された「商用コンピュータ ソフトウェア」または「制限付きコンピュータ ソフトウェア」のいずれか適用可能なものとして提供され使用許諾されます。お客様は、適用される条項および規定、あるいは製品に付属するHP標準ソフトウェア契約によって当該ソフトウェアおよび文書に提供される権利のみを付与されるものとします。

**オープン ソース ソフトウェア** オープン ソース ソフトウェアは、個別のソフトウェア コンポーネントから構成され、それぞれのソフトウェアコンポーネントに独立した著作権と使用許諾条件があります。お客様は個別のパッケージに含まれる使用許諾条件を確認し、お客様の権利を理解する必要があります。使用許諾書は、プリンタに同梱の**HP Designjet Driver and Documentation (HP Designjetドライバおよびプリンタの使い方**)CDのlicensesフォルダに収録されています。オープン ソース ソフトウェアの著作権は、それぞれの著作権者が保有します。

法律情報

# オープン ソース ソフトウェア

## オープン ソースについて

- 本製品には、Apache Software Foundation社（http://www.apache.org/）が開発したソフトウェアが含まれています。
- com.oreilly.servletのパッケージに含まれるソース コード、オブジェクト コード、および文書は、Hunter Digital Ventures,LLCによって使用許諾されています。

## オープン ソースの書面による申し出

HPは、GNU General Public license （GNU一般公的使用許諾契約）、SMAIL General Public License（SMAIL一般公的使用許諾契約）、およびSleepy Cat software license（Sleepy Catソフトウェア使用許諾）に従って、GNU General Public licenseおよびSleepy Catソフトウェア、またはどちらか一方に基づいてお客様に配布される全てのコードに対応するソースコードの完全な機械読取り可能な複製物を、$30の代金と引き換えにCD-Rで受領するために、システム購入日から3年間有効な本書面による申し出をお客様に提供します。このCD-Rはお近くのHPサポートに請求できます。連絡先の電話番号および電子メール アドレスは http://www.hp.com/support/japansupport/ をご覧ください。

法律情報

# 規格適合情報

このHP製品では、内部のマザーボードにリチウム電池が使用されています。使用期間が過ぎたら、指定の方法に従って処理する必要があります。

## Material Safety Data Sheets (MSDS)

プリンタで使用されているインク システムの最新のMaterial Safety Data Sheets (MSDS) を取得するには、次の住所宛にご請求ください。Hewlett-Packard Customer Information Center, 19310 Pruneridge Avenue, Dept. MSDS, Cupertino, CA 95014, U.S.A.

次のWebページでもご請求いただけます：http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/psis_inkjet.htm

## 規制適合モデル番号

適合する規制を識別する目的上、製品には規制適合モデル識別番号 (RMN) が割り当てられています。お使いのプリンタの規制適合モデル番号は **BCLAA-0701**、巻き取りリールの規制適合モデル番号は **BCLAA-0702** です。この規制適合モデル番号は、商品名 (HP Designjetシリーズ プリンタやHP Designjet プリンタ シリーズ用巻き取りリールなど) または製品番号 (Q####X-Xは任意の1文字、#は数字) とは異なるものです。

## 各規制のステートメント

- **米国**
  - **電磁的両立性 (EMC)**
  - **FCCステートメント (米国)**

    米国 連邦通信委員会は、連邦規制基準15.105の47において、本製品のユーザに対して下記の事項を通知する旨の通告を行っています。

    本装置は、FCC規制の第15章に準拠しています。本装置の動作は下記の2つの条件に従います。(1) 本装置は有害な電波障害を発生させてはならない、(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある電波障害を含め、あらゆる電波障害を受容できなければならない。
  - **シールド ケーブル**

    FCC規制第15章のクラスA制限に適合させるため、シールド付きデータ ケーブルを使用する必要があります。

    **注意：** 本機器はFCC規制第15.21章に準拠しており、弊社の明示的な許可なく機器の変更、修正を行った場合は有害な電波障害を引き起こす可能性があります。また、そのような機器の動作はFCCの認可対象外となります。

    本機器は、FCC規制第15章に定められたクラスAデジタル機器に関する制限に従ってテストされ、これに準拠するものと認定されています。これらの制限は、本機器を商業用の環境で使用する際に有害な電波障害を起こさないために規定されたものです。本機器は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。また、手順に沿って適切に取り付けられ、使用されていない場合、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。本機器を居住地域で使用すると有害な電波障害を引き起こす可能性があります。この場合、ユーザーは自費でこの電波障害を解決する必要があります。

- カリフォルニア州

  Attention California users:

  The battery supplied with this product may contain perchlorate material. Special handling may apply. See **www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate** for information.

  Atención a los usuarios de California:

  La pila proporcionada con este producto puede contener perclorato. Podría requerir manipulación especial. Consulte **www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate** para obtener más información.

- カナダ
  - 電磁的両立性（EMC）
  - Normes de sécurité（カナダ）

    Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de Classe A prescrites dans le réglement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministére des Communications du Canada.

    本装置は、FCC規制の第15章に準拠しています。本装置の動作は下記の2つの条件に従います。(1) 本装置は有害な電波障害を発生させてはならない、(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある電波障害を含め、あらゆる電波障害を受容できなければならない。

  - DOCステートメント（カナダ）

    本デジタル機器が放出する電波雑音は、Canadian Department of CommunicationsのRadio Interference Regulationsで制限されているデジタル機器のクラスA制限を超えません。

- EMIステートメント（韓国）

  사용자 안내문 :A 급 기기

  이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 받은 기기이오니, 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의 하시기 바라며, 만약 잘못 구입 하셨을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환 하시기 바랍니다.

- EMIステートメント（台湾）

  警告使用者：

  這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

法律情報

- VCCIクラスA（日本）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 電源コードの安全警告

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

translation
Please use the attached power cord.
The attached power cord is not allowed to use with other product.

- EMIステートメント（中国）

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

- ドイツ

**騒音**：Geräuschemission (Germany) LpA < 70 dB, am Arbeitsplatz, im Normalbetrieb, nach DIN45635 T. 19.

- ヨーロッパ向け

**警告！** この製品はクラスA製品です。この製品をご家庭で使用する場合は、電波障害が発生する可能性があります。この場合、ユーザは適切な措置を行うように求められることがあります。

- **欧州連合における一般家庭ユーザによる使用済み機器の処分について**

  製品またはその梱包材に表示されているこの記号は、この製品を他の家庭ごみと一緒に捨ててはいけないことを示しています。使用済み電気/電子機器のリサイクルのために、使用済み機器は指定された回収場所に引き渡す必要があります。使用済み機器の分別回収とリサイクルは、天然資源の保全、および人間の健康と環境の保護につながります。リサイクルのための使用済み機器の回収場所に関する詳細については、地域の市役所、家庭ごみ処理サービス、または製品を購入したお店にお問い合わせください。

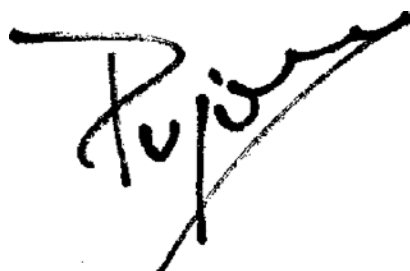
法律情報

# 適合宣言 (DECLARATION OF CONFORMITY)

ISO/IEC 17050-1およびEN 17050-1に準拠

| | |
|---|---|
| 供給者の名称： | Hewlett-Packard Company |
| 供給者の住所： | Avenida Graells, 501<br>08174 Sant Cugat del Vallès<br>Barcelona, Spain |

## 製品について

| | |
|---|---|
| 規制適合モデル番号 (1)： | BCLAA-0701、BCLAA-0702 |
| 製品名およびモデル | HP Designjet Z6100シリーズ プリンタ、HP Designjet Z6100 プリンタ シリーズ用巻き取りリール |
| 製品オプション： | すべて |



## 本製品は下記の製品仕様に一致します。

| | |
|---|---|
| 安全性： | IEC 60950-1:2001 / EN 60950-1:2001 |
| EMC： | EN 55022:1998 +A1:00 +A2:03/ CISPR 22:1997+A1:00 +A2:02 Class A<br>EN 55024:1998 +A1:2001 +A2:2003<br>EN 61000-3-2:2000 +A2:2005/ IEC 61000-3-2:2000 +A1:2001 +A2:2004<br>EN 61000-3-3:1995+A1:2001/ IEC 61000-3-3:1994 +A1:2001 |

## 追加情報

本製品は、Low-Voltage Directive 73/23/EECおよびEMC Directive 89/336/EECの必須要件に準拠しているため、CEマークが付与されています。

▲ 本製品にはデザインの規制に伴う規制適合モデル識別番号 (RMN) が割り当てられています。規制適合モデル番号は規制文書および試験報告書の主要な製品識別子です。この番号は商品名または製品番号とは異なるものです。

Josep-Maria Pujol

Hardware Quality Manager

Sant Cugat del Vallès (Barcelona)

2006年12月5日

## 規格適合に関する問い合わせ先

**EMEA 問い合わせ先**： Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany

**米国問い合わせ先**： Hewlett-Packard Company, Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304, USA. Phone: (650) 857 1501

**オーストラリア問い合わせ先**： Hewlett-Packard Australia Ltd, Product Regulations Manger, 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria, 3130, Australia

# A　シナリオ（無人印刷ジョブ）

このシナリオでは、PSP（印刷サービス プロバイダ）が業務終了間際に新たな注文を受注したことを想定しています。この注文は翌日早く納品する必要があります。プロッタは現在印刷を行っており、また、キュー内には翌日までに納品が必要なジョブがあります。最も良い解決方法は、新しいジョブのキューを実行し、無人印刷を行うことです。

以下の情報には、無人印刷を心配することなく行うために必要な作業が記載されています。

付録A

# タスク1：デジタル コンテンツの取り扱い

以下の手順に従って、デジタル コンテンツを正しく取り扱います。

1. Adobe Acrobat でPDFファイルを開きます。
2. フォントや高解像度のイメージなど、ジョブを送信するのに必要なすべての情報があることを確認します。
3. 印刷の向き、マージン、印刷上の体裁、カラーや解像度をチェックして、印刷または仕上がりの不一致がないことを確認します。
4. 小型プリンタで作業のドラフトのコピーを印刷し、校正刷りとして検証します。
5. RIP用にPDFを生成します。
6. PDFをRIPへ送信します。

注記： 現在の作業量、用紙、およびインク サプライ品で、ジョブが完了し、所定の時間までに納品できることを確認します。

付録A

# タスク2：用紙の取り扱い

キューになっているすべてのジョブと新しい注文をカバーできるだけの十分な用紙が、ロール紙に残っていることを確認します。十分な用紙が残っていない場合、印刷キューを一時停止し、新しいロール紙をセットします。

用紙の取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立てるため、下の表に、このユーザーズ ガイドの該当するセクションを示します。

**表 A-1　使用方法（用紙）**

| タスク項目 | ユーザーズガイド対象セクション |
|---|---|
| 用紙の取り外し | 48 ページの 「プリンタからロール紙を取り外す 」 を参照してください |
| 用紙を取り付けてください | 40 ページの 「ロール紙をスピンドルに取り付ける 」 を参照してください |
| ロール紙を巻き取りリールに取り付ける | 50 ページの 「ロール紙を巻き取りリールに取り付ける」 を参照してください |
| 用紙プロファイルを確認する | 58 ページの 「用紙に関する情報を表示する 」 を参照してください |
| **トラブルシューティング** | **ユーザーズガイド対象セクション** |
| 用紙をセットできない | 222 ページの 「用紙が正しく取り付けられない 」 を参照してください |
| 用紙プロファイルが見つからない | 61 ページの 「用紙プロファイルをダウンロードする 」および183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」 を参照してください。 |
| HP純正用紙を持っていない | 62 ページの 「HP純正以外の用紙を使用する 」および37 ページの 「サポートされている用紙の種類 」 を参照してください。 |
| 用紙が詰まっている | 223 ページの 「用紙が詰まっている 」 を参照してください |
| 巻き取りリールで紙詰まりが発生している | 228 ページの 「巻き取りリールの紙詰まり 」 を参照してください |
| 巻き取りリールで巻き取ることができない | 229 ページの 「巻き取りリールで巻き取ることができない 」 を参照してください |

**注記：**　用紙に関する詳細情報は、35 ページの 「使用方法（用紙）」を参照してください。

付録A

# タスク3：インク システムの取り扱い

インク消耗品の残量が十分にあり、キューになっているすべてのジョブと新しい注文に足りていることを確認してください。インク消耗品の残量が低すぎる場合、印刷キューを一時停止し、必要に応じてコンポーネントの交換と軸合わせを行います。

インク システムの取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立てるため、下の表に、このユーザーズ ガイドの該当するセクションを示します。

**表 A-2　使用方法（インクシステム）**

| タスク項目 | ユーザーズ ガイド対象セクション |
|---|---|
| インクカートリッジの情報を確認する | 95 ページの 「インクカートリッジのステータスを確認する 」 を参照してください |
| インクカートリッジを取り外す | 77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」 を参照してください |
| インクカートリッジを取り付ける | 79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」 を参照してください |
| プリントヘッドの使用状況を確認する | 96 ページの 「プリントヘッドのステータスを確認する 」 を参照してください |
| プリントヘッドを取り外す | 79 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」 を参照してください |
| プリントヘッドを取り付ける | 82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」 を参照してください |
| プリントヘッドの軸合わせ | 89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」 を参照してください |
| 保守カートリッジを取り外す | 92 ページの 「保守カートリッジを取り外す 」 を参照してください |
| 保守カートリッジを取り付ける | 93 ページの 「保守カートリッジを取り付ける 」 を参照してください |
| **トラブルシューティング** | **ユーザーズガイド対象セクション** |
| 内蔵Webサーバにアクセスできない | 246 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスできない 」 を参照してください |
| インクカートリッジを取り付けられない | 232 ページの 「インクカートリッジを取り付けられない 」 を参照してください |
| プリントヘッドを取り付けられない | 233 ページの 「プリントヘッドを取り付けられない 」 を参照してください |
| プリンタがプリントヘッドを認識しない | 85 ページの 「プリントヘッドの電極をクリーニングする 」 を参照してください |

**注記：**　インク システムに関する詳細情報は、73 ページの 「使用方法（インクシステム）」を参照してください。

付録A

# タスク4：印刷ジョブの取り扱い

インク消耗品と用紙の残量を確認したら、ジョブをプリンタに送信できます。画面のプレビューで、必要に応じ、用紙の種類、プリントサイズ、部数、およびネスティングの調整を行います。次に、ジョブをRIPキューに移動します。

印刷ジョブの取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立てるため、下の表に、このユーザーズ ガイドの該当するセクションを示します。

**表 A-3　印刷ジョブの取り扱い**

| タスク項目 | ユーザーズガイド対象セクション |
|---|---|
| ジョブを送信する | 122 ページの 「ジョブを送信する 」 を参照してください |
| ジョブを保存する | 122 ページの 「ジョブを保存する 」 を参照してください |
| ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する | 128 ページの 「ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する 」 を参照してください |
| ジョブをキャンセルする | 123 ページの 「ジョブをキャンセルする 」 を参照してください |
| 印刷キューを管理する | 124 ページの 「印刷キューを管理する 」 を参照してください |
| **トラブルシューティング** | **ユーザーズガイド対象セクション** |
| 内蔵Webサーバにアクセスできない | 246 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスできない 」 を参照してください |

**注記：**　印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえるには、カラー キャリブレーションを実行してみてください。カラーキャリブレーションに関する詳細情報は、144 ページの 「カラーキャリブレーション 」を参照してください。

付録A

# タスク5：印刷されるイメージの調整

印刷の品質を確認します。印刷されるイメージの調整に関する情報を素早く見つけるのに役立てるため、下の表に、このユーザーズ ガイドの該当するセクションを示します。

**表 A-4　使用方法（インクシステム）**

| タスク項目 | ユーザーズガイド対象セクション |
|---|---|
| 印刷品質の選択 | 100 ページの 「印刷品質の選択 」 を参照してください |
| ページ サイズを選択する | 101 ページの 「ページ サイズを選択する 」 を参照してください |
| マージン オプションを選択する | 103 ページの 「マージンとレイアウトのオプションを調整する 」 を参照してください |
| 印刷のサイズを変更する | 105 ページの 「印刷のサイズを変更する 」 を参照してください |
| 重なった線の処理方法を変更する | 114 ページの 「重なった線の処理方法を変更する 」 を参照してください |
| グレースケールで印刷する | 120 ページの 「グレースケールで印刷する 」 を参照してください |
| 切り取り線を印刷する | 106 ページの 「切り取り線を印刷する 」 を参照してください |
| イメージを回転させる | 107 ページの 「イメージを回転させる 」 を参照してください |
| カラー エミュレーション モードを選択する | 113 ページの 「カラー エミュレーション モードを選択する 」 を参照してください |
| 左右反転させて印刷する | 109 ページの 「左右反転させて印刷する 」 を参照してください |
| イメージの方向を選択する | 110 ページの 「イメージの方向を選択する 」 を参照してください |
| 上下の余白を削除する | 111 ページの 「上下の余白を削除する 」 を参照してください |
| アカウントIDを入力する | 112 ページの 「アカウントIDを入力する 」 を参照してください |
| **トラブルシューティング** | **ユーザーズガイド対象セクション** |
| 印刷品質に関する問題が発生している | 191 ページの 「トラブルシューティング（印刷品質）」 を参照してください |

注記：　印刷されるイメージの調整に関する詳細情報は、99 ページの 「印刷オプション」 を参照してください。

注記：　印刷後に巻き取りリールからロール紙を取り外す操作に関する詳細情報は、55 ページの 「ロール紙を巻き取りリールから取り外す」を参照してください。

付録A

# B　シナリオ（予約なしで入った緊急ジョブ）

このシナリオでは、PSP（印刷サービス プロバイダ）が予約のない緊急な注文を受注したことを想定しています。この注文は2時間以内に納品する必要があります。プロッタは現在印刷を行っており、キュー内にはジョブがありますが、印刷優先順位が最も高いのは新しいジョブです。また、新しいジョブの場合、現在プリンタにセットされている用紙とは別の用紙が必要です。

**注記：**　新しいジョブは、RIP処理された保管ファイル内にすでにあるデジタル コンテンツのリピート オーダーです

以下の情報には、予約なしで入った緊急なジョブを正しく行うために必要な作業が記載されています。

付録B

# タスク1：デジタル コンテンツの取り扱い

以下の手順に従って、デジタル コンテンツを正しく取り扱います。

1. RIPワークステーションでデジタル コンテンツを見つけます。
2. Adobe Acrobat でPDFファイルを開きます。
3. フォントや高解像度のイメージなど、ジョブを送信するのに必要なすべての情報があることを確認します。
4. 印刷の向き、マージン、印刷上の体裁、カラーや解像度をチェックして、印刷または仕上がりの不一致がないことを確認します。

**注記：** 現在の作業量、用紙、およびインク サプライ品で、ジョブが完了し、所定の時間までに納品できることを確認します。

# タスク2：印刷ジョブの取り扱い

予約なしで入った新しいジョブの緊急性により、印刷キュー内にある現在のジョブを中断する必要があります。以下の手順に従って、印刷ジョブを取り扱います。

1. 印刷キューを一時停止します。
2. 新しいジョブを印刷キューの先頭に移動します。
3. 必要に応じ、光沢、用紙の種類、プリントサイズ、部数、およびネスティングについて、新しいジョブの設定を調整します。
4. 現在プロッタにあるジョブは、最後のイメージの完了後、キャンセルします。

**注記：** 印刷キューの再開は、用紙とインク システムの処理を終えた場合にのみ行います。新しいジョブの終了後は、印刷キューを一時停止し、キューに残っているジョブが誤った用紙で印刷されないようにしてください。

印刷ジョブの取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立てるため、下の表に、このユーザーズ ガイドの該当するセクションを示します。

**表 B-1 印刷ジョブの取り扱い**

| タスク項目 | ユーザーズガイド対象セクション |
| --- | --- |
| ジョブを送信する | 122 ページの 「ジョブを送信する 」 を参照してください |
| ジョブを保存する | 122 ページの 「ジョブを保存する 」 を参照してください |
| ジョブをキャンセルする | 123 ページの 「ジョブをキャンセルする 」 を参照してください |
| 印刷キューを管理する | 124 ページの 「印刷キューを管理する 」 を参照してください |
| **トラブルシューティング** | **ユーザーズガイド対象セクション** |
| 内蔵Webサーバにアクセスできない | 246 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスできない 」 を参照してください |

**注記：** 印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえるには、カラー キャリブレーションを実行してみてください。カラー キャリブレーションに関する詳細情報は、{ref: カラー キャリブレーション} を参照してください。

付録B

# タスク3：用紙の取り扱い

新しいジョブには、中断したジョブとは異なる用紙が必要です。以下の手順に従って、用紙を取り扱います。

1. プロッタから印刷結果を取り除き、残りのジョブをメモしておきます。
2. 現在セットされている用紙を取り外します。
3. ジョブに必要な正しい用紙を取り付けます。

注記： 印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえるには、カラー キャリブレーションを実行してみてください。カラーキャリブレーションに関する詳細情報は、144 ページの 「カラーキャリブレーション 」を参照してください。

用紙の取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立てるため、下の表に、このユーザーズ ガイドの該当するセクションを示します。

**表 B-2 使用方法（用紙）**

| タスク項目 | ユーザーズガイド対象セクション |
|---|---|
| 用紙の取り外し | 48 ページの 「プリンタからロール紙を取り外す 」 を参照してください |
| ロール紙を巻き取りリールから取り外す | 55 ページの 「ロール紙を巻き取りリールから取り外す」 を参照してください |
| 用紙を取り付けてください | 40 ページの 「ロール紙をスピンドルに取り付ける 」 を参照してください |
| ロール紙を巻き取りリールに取り付ける | 50 ページの 「ロール紙を巻き取りリールに取り付ける」 を参照してください |
| 用紙プロファイルを確認する | 58 ページの 「用紙に関する情報を表示する 」 を参照してください |
| カラー キャリブレーションを実行する | 144 ページの 「カラーキャリブレーション 」 を参照してください |
| **トラブルシューティング** | **ユーザーズガイド対象セクション** |
| 用紙をセットできない | 222 ページの 「用紙が正しく取り付けられない 」 を参照してください |
| 用紙プロファイルが見つからない | 61 ページの 「用紙プロファイルをダウンロードする 」および183 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート 」 を参照してください。 |
| HP純正用紙を持っていない | 62 ページの 「HP純正以外の用紙を使用する 」および37 ページの 「サポートされている用紙の種類 」 を参照してください。 |
| 用紙が詰まっている | 223 ページの 「用紙が詰まっている 」 を参照してください |
| 巻き取りリールで紙詰まりが発生している | 228 ページの 「巻き取りリールの紙詰まり 」 を参照してください |
| 巻き取りリールで巻き取ることができない | 229 ページの 「巻き取りリールで巻き取ることができない 」 を参照してください |

注記： 用紙に関する詳細情報は、35 ページの 「使用方法（用紙）」を参照してください。

付録B

# タスク4：インク システムの取り扱い

インク消耗品の残量が十分にあり、新しいジョブとキューになっている残りのジョブに足りていることを確認してください。インク消耗品の残量が低すぎる場合、必要に応じ、コンポーネントの交換と軸合わせを行ってから、印刷キューを再開します。

インク システムの取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立てるため、下の表に、このユーザーズ ガイドの該当するセクションを示します。

**表 B-3 使用方法（インクシステム）**

| タスク項目 | ユーザーズガイド対象セクション |
|---|---|
| インクカートリッジの情報を確認する | 95 ページの 「インクカートリッジのステータスを確認する 」 を参照してください |
| インクカートリッジを取り外す | 77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」 を参照してください |
| インクカートリッジを取り付ける | 79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」 を参照してください |
| プリントヘッドの使用状況を確認する | 96 ページの 「プリントヘッドのステータスを確認する 」 を参照してください |
| プリントヘッドを取り外す | 79 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」 を参照してください |
| プリントヘッドを取り付ける | 82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」 を参照してください |
| プリントヘッドの軸合わせ | 89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」 を参照してください |
| 保守カートリッジを取り外す | 92 ページの 「保守カートリッジを取り外す 」 を参照してください |
| 保守カートリッジを取り付ける | 93 ページの 「保守カートリッジを取り付ける 」 を参照してください |
| **トラブルシューティング** | **ユーザーズガイド対象セクション** |
| 内蔵Webサーバにアクセスできない | 246 ページの 「内蔵Webサーバにアクセスできない 」 を参照してください |
| インクカートリッジを取り付けられない | 232 ページの 「インクカートリッジを取り付けられない 」 を参照してください |
| プリントヘッドを取り付けられない | 233 ページの 「プリントヘッドを取り付けられない 」 を参照してください |
| プリンタがプリントヘッドを認識しない | 85 ページの 「プリントヘッドの電極をクリーニングする 」 を参照してください |

注記： インク システムに関する詳細情報は、73 ページの 「使用方法（インクシステム）」を参照してください。

付録B

# タスク5：印刷されるイメージの調整

印刷の品質を確認します。印刷されるイメージの調整に関する情報を素早く見つけるのに役立てるため、下の表に、このユーザーズ ガイドの該当するセクションを示します。

**表 B-4　使用方法（インクシステム）**

| タスク項目 | ユーザーズガイド対象セクション |
|---|---|
| 印刷品質の選択 | 100 ページの 「印刷品質の選択 」 を参照してください |
| ページ サイズを選択する | 101 ページの 「ページ サイズを選択する 」 を参照してください |
| マージン オプションを選択する | 103 ページの 「マージンとレイアウトのオプションを調整する 」 を参照してください |
| 印刷のサイズを変更する | 105 ページの 「印刷のサイズを変更する 」 を参照してください |
| 重なった線の処理方法を変更する | 114 ページの 「重なった線の処理方法を変更する 」 を参照してください |
| グレースケールで印刷する | 120 ページの 「グレースケールで印刷する 」 を参照してください |
| 切り取り線を印刷する | 106 ページの 「切り取り線を印刷する 」 を参照してください |
| イメージを回転させる | 107 ページの 「イメージを回転させる 」 を参照してください |
| カラー エミュレーション モードを選択する | 113 ページの 「カラー エミュレーション モードを選択する 」 を参照してください |
| 左右反転させて印刷する | 109 ページの 「左右反転させて印刷する 」 を参照してください |
| イメージの方向を選択する | 110 ページの 「イメージの方向を選択する 」 を参照してください |
| 上下の余白を削除する | 111 ページの 「上下の余白を削除する 」 を参照してください |
| アカウントIDを入力する | 112 ページの 「アカウントIDを入力する 」 を参照してください |
| **トラブルシューティング** | **ユーザーズガイド対象セクション** |
| 印刷品質に関する問題が発生している | 191 ページの 「トラブルシューティング（印刷品質）」 を参照してください |

**注記：**　印刷されるイメージの調整に関する詳細情報は、99 ページの 「印刷オプション」 を参照してください。

付録B

# C お使いのHP Designjet 5000シリーズ プリンタをHP Designjet Z6100プリンタに交換する

HP Designjet Z6100シリーズ プリンタは、HP Designjet 5000 プリンタの使用で得た知識を再利用できる次世代の大判プリンタです。Z6100の設計において、弊社のエンジニアは、5000シリーズの最高の機能と操作性を効果的に使用しながら、より信頼性が高く使用が簡単にできるものにしました。お使いの5000シリーズ プリンタからZ6100への移行は素早く直感的に行えるだけではなく、より優れた柔軟性、ジョブの信頼性、および印刷品質を大判印刷ビジネスにもたらします。

このシナリオでは、Z6100と5000シリーズ プリンタの間の主な違いに焦点を当てながら、大判印刷の基本操作の重要な部分を取り上げます。

# プリンタをセットアップする

Z6100は、5000シリーズ プリンタが占めていたスペースにちょうどいい具合にフィットします。プリンタの背面も5000シリーズに似ており、5000シリーズと同じ電源コード装置、およびプリンタをコンピュータとLANに接続するためのオプションがあります。

詳細については、以下のセクションを参照してください。


- 272 ページの 「物理的仕様 」
- 28 ページの 「プリンタをオン/オフにする 」
- 6 ページの 「プリンタの主なコンポーネント 」
- 15 ページの 「接続およびソフトウェア手順 」


## フロントパネル

Z6100は、主にフロントパネルから管理します。フロントパネルは、5000シリーズの使用で得た知識を効果的に利用できるように設計されており、デザインも改良されて使い勝手が向上しています。

Z6100では、フロントパネルに含まれるインタラクティブなアニメーションに従って、すべての基本操作を行うことができます。さらに、フロントパネルのメニュー構造、および高画質のテキストやグラフィックで、プリンタのさまざまな機能の設定と使用が容易に行えます。

フロントパネルについての詳細は、9 ページの 「フロントパネル 」を参照してください。

## プリンタ ソフトウェア

- WindowsおよびMac OS用プリンタ ドライバ
- 内蔵Webサーバ（5000シリーズではHP Designjet WebAccessと呼ばれます）で、印刷ジョブの管理、消耗品の残量の確認、およびプリンタ ステータスの確認が可能になります
- HP Easy Printer Care（Windows）およびHP プリンタユーティリティ（Mac OS）。プリンタのさまざまな機能と操作にアクセスできます

詳細については、以下のセクションを参照してください。


- 11 ページの 「プリンタ ソフトウェア 」
- 31 ページの 「内蔵Webサーバ設定オプション」
- 33 ページの 「HP Easy Printer Care（Windows）またはHP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）の設定オプション 」


『セットアップ手順』に沿って作業を行えば、印刷開始の準備が整います。

# 使用方法（用紙）

Z6100は、用紙の巻き戻し、用紙のセットと取り外し、および巻き取りリールの使用で必要な要件が、5000シリーズ プリンタと似ています。用紙の巻き戻しに関するすべての基本操作は、フロントパネルから開始します。

## 新しくなった用紙の巻き戻し

- Z6100 シリーズ プリンタには、スピンドル レバーがありません。スピンドルの取り外しは、フロントパネルに表示されたら、単にプリンタから持ち上げるだけです。
- 新しいハブのデザインで、用紙のセットと取り外しが改善されています
- 用紙をセットしている間、ウィンドウを開けたままにできます。
- 印刷物のラインアップが増えている一方、カット紙はZ6100でサポートされません。サポートされるのはロール紙のみです。

サポートされている用紙と注文できる用紙についての詳細は、以下のセクションを参照してください。


- 37 ページの 「サポートされている用紙の種類 」
- 67 ページの 「用紙について 」


## 用紙プロファイル

プリンタに新しいロール紙を取り付けると、取り付けた用紙の種類を選択して、ロール紙の長さを入力するように要求するメッセージがフロントパネルに表示されます。プロファイルに一覧表示されている用紙の種類ごとに、用紙プロファイル（ICCプロファイルが入っています）がプリンタ ソフトウェアにすでに保存されています。

フロントパネルに一覧表示されていない用紙を使用する場合、以下のオプションから1つ選択します。

- 使用する用紙に最も近い用紙をフロントパネルから選択します。
- インターネットからプロファイルをダウンロードします。ダウンロードしたすべてのプロファイルに対して、プリンタは自動的にカラー キャリブレーションと拡張精度キャリブレーションを実行します。

現在取り付けられている用紙の情報は簡単に参照できます。これを実行するには、フロントパネルでアイコンを選択し、次に［**用紙情報の表示**］を選択します。

詳細については、以下のセクションを参照してください。


- 58 ページの 「用紙に関する情報を表示する 」
- 61 ページの 「用紙プロファイルをダウンロードする 」
- 62 ページの 「HP純正以外の用紙を使用する 」
- 40 ページの 「ロール紙をスピンドルに取り付ける 」
- 43 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける 」


## 用紙情報の印刷機能

この機能は、5000シリーズでは［用紙長の検出］と呼ばれていました。［用紙情報の印刷］機能を有効にすると、利用可能なすべての用紙の情報が含まれたバーコードが、ロール紙を取り外す再に印刷

されます。以後、情報のバーコードが印刷されたロール紙を取り付けると、プリンタが自動的に用紙の種類を検出して該当するプロファイルをロードし、ロール紙に残っている用紙の量を測定します。

詳細については、以下のセクションを参照してください。

- 48 ページの 「プリンタからロール紙を取り外す 」
- 65 ページの 「用紙情報の印刷 」

## 巻き取りリール

Z6100の巻き取りリールは、形と機能が5000シリーズの巻き取りリールに似ていますが、改善されて使い勝手が向上しています。以下は改善された点の一部です。

- 2つの巻き付け方向 グラフィックが上向き（芯方向）または下向きになるように、印刷物の巻き付け方向を選択できます。
- 用紙送りの速度が向上し、設定時間が短縮
- 用紙をプリンタに取り付ける際のスキューチェックが改善され、スキューが減少

巻き取りリールについての詳細は、以下のセクションを参照してください。

- 6 ページの 「プリンタの主なコンポーネント 」
- 50 ページの 「巻き取りリールを使用する 」

# 使用方法（インクシステム）

Z6100 シリーズ プリンタには最先端のテクノロジが組み込まれており、大判印刷で得られる最高のイメージ品質をご提供します。保守カートリッジ（プリントヘッド クリーナに取って代わります）を除き、5000シリーズと同じ一般的な場所にインク システム コンポーネントがあることがわかります。また、インクカートリッジのドアが取り外されていることにも気づくはずです。このような合理化されたデザインによって、インクカートリッジに簡単にアクセスすることが可能になりました。

## 新しくなったインクシステム コンポーネント

- **インクカートリッジ**：Z6100は8つのインクカートリッジを使用します。インクは775mlカートリッジでのみ使用でき、より多くの印刷、簡単な取り付け作業、カートリッジ交換の頻度の減少が実現します。
- **プリントヘッド**：プリントヘッドのテクノロジが改善されたため、プリントヘッドの取り扱い要件が変更されました。プリントヘッドは、取り付ける前によく振ってから別の方法でクリーニングする必要があります。
- **保守カートリッジ**：5000シリーズのプリントヘッド クリーナで行われていたのと同じ機能が保守カートリッジで行われます。ただし、8つのすべてのプリントヘッドに対して保守カートリッジが1つのみであるため、保守の必要が減り、汚れたプリントヘッド クリーナの処理も少なくてすみます。保守カートリッジの交換が必要になると、プリンタがフロントパネルで知らせます。

**注記：** 保守カートリッジは、取り外す際に注意して取り扱い、インクが自分自身やプリンタに付着しないようにします。

**注記：** プリントヘッドを取り付ける毎に、Z6100は自動的にプリントヘッドの軸合わせを行います。プリントヘッドの軸合わせ中は、不透明の普通紙を使用する必要があります。カラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。

インクシステム コンポーネントについての詳細は、以下のセクションを参照してください。


- 6 ページの 「プリンタの主なコンポーネント 」
- 74 ページの 「インクシステム コンポーネント 」
- 76 ページの 「インク システムに関するヒント 」
- 77 ページの 「インクカートリッジを取り外す 」
- 79 ページの 「インクカートリッジを取り付ける 」
- 79 ページの 「プリントヘッドを取り外す 」
- 82 ページの 「プリントヘッドを取り付ける 」
- 89 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ 」
- 92 ページの 「保守カートリッジを取り外す 」
- 93 ページの 「保守カートリッジを取り付ける 」
- 85 ページの 「プリントヘッドをクリーニング（修復）する 」
- 85 ページの 「プリントヘッドの電極をクリーニングする 」

インク システムのステータスとプリンタの使用状況に関する情報を確認するには、以下のセクションを参照します。


- 94 ページの 「インク システムのステータスを確認する 」
- 95 ページの 「インクカートリッジのステータスを確認する 」
- 96 ページの 「プリントヘッドのステータスを確認する 」
- 96 ページの 「プリンタの使用状況に関する情報を確認する 」

# イメージ品質とカラーマネジメント

Z6100 シリーズ プリンタでは、お客様が大判プリンタに求める印刷品質のレベルが、今まで以上に簡単に得られます。

## 印刷品質

この機能は、5000シリーズで印刷モードと呼ばれていました。Z6100シリーズは、印刷スピードと印刷品質をバランスさせる印刷品質レベルをさらにもう１つ追加しました。以下の表は、5000シリーズの印刷モードとZ6100シリーズの印刷品質レベルの対応関係について示しています。

| プリンタ シリーズ | 印刷品質設定：最高速（左端）から高品質（右端）まで | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5000 | 最高速 | | 光沢 | 最高画質 |
| Z6100 | 高速 | 標準-高速 | 標準 | 高品質 |

## キャリブレーションおよび印刷品質

最高のイメージ品質の印刷が得られるようにZ6100シリーズに組み込まれている主な機能と操作を、以下の表に示します。

- 高い印刷解像度（フォト用紙を使用すると、印刷品質は［高品質］に設定され、［最大解像度］能が有効になります）
- 自動拡張精度キャリブレーション機能
- 自動カラー キャリブレーション
- ICCプロファイルなどの自動用紙プロファイリング（インターネットからのダウンロードが必要な未知の用紙を除く）
- 内蔵分光測光器：カラー パッチから反射する光の正確な構成を計測し、正確で一貫したカラー出力が得られる精密機器
- 幅広いカラー エミュレーション お使いの5000シリーズ プリンタからカラー パレットをエミュレートすることも可能です。

詳細については、以下のセクションを参照してください。


- 100 ページの 「印刷品質の選択 」
- 59 ページの 「拡張精度キャリブレーションを実行する 」
- 142 ページの 「カラーマネジメント プロセスの概要 」
- 144 ページの 「カラーキャリブレーション 」
- 146 ページの 「カラー プロファイリング 」
- 149 ページの 「カラーマネジメント オプション 」
- 156 ページの 「カラー エミュレーション モード」

## 用紙と消耗品の効率的な利用

Z6100 シリーズ プリンタでは、以下の機能が提供されているため、用紙と消耗品の使用を節約できます。

- プリンタの使用状況に関する情報
- ネスティング オプション
- 用紙とインクを節約して使用するためのヒント

詳細については、以下のセクションを参照してください。


- 126 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする 」
- 131 ページの 「用紙を節約する 」
- 132 ページの 「インクを節約する 」

# 保守およびトラブルシューティング

プリンタの保守および問題のトラブルシューティングに関する情報の詳細は、以下の章とセクションを参照してください。


- 173 ページの 「プリンタの保守」
- 191 ページの 「トラブルシューティング（印刷品質）」
- 231 ページの 「トラブルシューティング（インクシステム）」
- 221 ページの 「トラブルシューティング（用紙）」
- 241 ページの 「トラブルシューティング（その他）」
- 89 ページの 「プリントヘッドのステータス プロットを使用する 」
- 255 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ 」
- 259 ページの 「ヘルプ」

# 用語集

**Bonjour**　IETFのゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関するApple Computer株式会社の商標で、AppleのMac OS Xバージョン10.2以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。LAN（ローカル エリアネットワーク）で使用可能なサービスを検索するために使用され、当初はRendezvousと呼ばれていました。

**ESD**　静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れるとスパークしたり、衣服を張り付かせたりします。制御された静電気には役に立つ利点がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害の1つとなります。したがって、破損を防ぐには、製品を設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の1つは、静電気放電に敏感なデバイス（プリントヘッドまたはインクカートリッジなど）を扱う前に、製品の接地した箇所（主に金属部分）に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

**HP-GL/2**　Hewlett-Packard Graphics Language 2：HP社が定義するベクトル グラフィック描画用の言語。

**I/O**　入出力。デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

**ICC**　International Color Consortium（国際カラーコンソーシアム）の略語。カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体です。

**IPアドレス**　TCP/IPネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。4組の整数から構成され、各組はドットで区切られています。

**Jetdirect**　HP社のプリントサーバ シリーズの商品名。直接ローカル エリア ネットワークへ接続することが可能になります。

**LED**　発光ダイオード。電気的な刺激が与えられると発光する半導体機器です。

**MACアドレス**　Media Access Control address （メディアアクセス コントロール アドレス）の略。ネットワーク上で特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IPアドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスはMACアドレスおよびIPアドレスの両方を持つ場合があります。

**Rendezvous**　Apple Computer社のネットワーク ソフトウェアの元の名称。現在はBonjourと呼ばれます。

**TCP/IP**　伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

**USB**　Universal Serial Bus（ユニバーサル シリアル バス）の略語。コンピュータに接続するために設計された標準シリアル バスです。

**イーサネット**　ローカル エリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

**インクカートリッジ**　取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

**カッター**　プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

**ガモット**　プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能なカラーおよび濃度値の範囲。

**カラー スペース**　各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。多くの異なるカラー スペースが同じカラー モデルを使用できます。たとえば、通常、モニタはRGBカラー モデルを使用しますが、特定のRGB数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

**カラーの一貫性**　大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

**カラー モデル**　数値でカラーを想定したシステム。そのようなシステムの例として、RGBまたはCMYKがあります。

**カラー精度**　元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

**スピンドル**　印刷に使用されるロール紙を支えるための棒。

**ノズル**　プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

**ファームウェア**　プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます（アップデート可能）。

**プラテン**　プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

**プリンタ ドライバ**　生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

**プリントヘッド**　取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから1つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。

**用紙**　書いたり印刷したりすることを目的に製造される、薄くて平らな素材。用紙の多くは、繊維をパルプにしたり、乾燥または圧縮させて製造されます。

# 索引